滿洲日報
二月二十六日發行
發行所 滿洲日報株式會社

極東に對する軍需品輸出禁止案提出
イギリス代表エデン次官から
第一回諮問委員會

【ジユネーヴ二十五日發】二十四日の總會で決定した諮問委員會は二十五日午前十一時より三十五分間最初の第一回會合を開き米露招請を決定、ドラモンド總長から兩國に招請狀を發することゝし更に**英國代表エデン次官から極東に對する軍需品輸出禁止案につき各國代表の見解を求めた、**同代表は本問題を全般的に檢討するため特に關係國間に**分科委員會を設置し實行案を作成せしむべきことを主張し、これに對し各國代表はいづれも贊成**の見解を表明、次ぎの會議までに充分右提案を研究すべきを約したなほ招請に對し米國の參加は確實と見られる

コンミユニケ

【ジユネーヴ二十五日發】二十一國諮問委員會午前の會議後左の如きコンミユニケが發表された

日支紛爭事件を中止し且つ總會が規約第三條第三項の下における義務を遂行するのを援助する目的で昨日の總會より創設された諮問委員會は本日午前ボール、イーマンス議長の下に開會委員會は總會の決議に準據し米露に對し其事業に協力すべきことを要請するに決した、委員會は英政府が極東の武器輸送に關し其他の關係諸政府と交涉を開始した旨の通告に接した、委員はその事業に甚大なる關係あるべき右交涉經過につき絕えず通告を受くべきことを要請した、會議を司會したイーマンス氏は總會議長として右要請をなすものなる旨言明した、更に委員會はイーマンス氏の表明した一定見解に基き委員長問題は次回の會議まで未決定のまゝ留保に決した

米露に招請狀
米國受諾、ギルヴアー氏出席か
露はリ氏歸莫後回答

【ジユネーヴ二十五日發】廿一國諮問委員會の結果ドラモンド總長の名で直に米露に招請狀を發したが、米國政府は受諾と共にかつてオブザーヴアーとして一九三一年十月理事會に出席した壽府駐劄總領事ギルバー氏が代表として委員會に出席するだらう、またロシアは軍縮會議出席中のリトヴィノフ氏が二十六日壽府發モスクワに歸つたうへ回答する筈である

脫退通告は三月半ばころ
諮詢具體案作成に近く着手

【東京二十六日發】外務省は最近の機會において聯盟脫退に關し樞府に諮詢すべき具體案の作成に着手することになつた、而して右諮詢案は

一、聯盟脫退に關し聯盟事務局に提出すべき通告書
一、通告提出に伴ひ生ずべきヴエルサイユ條約改定の件
一、脫退通告後二年間帝國政府の負擔すべき事務
一、軍縮會議、國際勞働會議その他聯盟主催の國際會議措置の件

等に對する調書よりなる筈で、外務當局の見込みでは右完了には數日を要すると見てゐる、從つて政府が脫退を正式決定するのは三月五日前後となり聯盟に脫退通告をなす時期は三月十日乃至十五日頃となる模樣である

松岡代表壽府引揚げ

【ジユネーヴ二十五日發】松岡代表は四ケ月に亙る壽府滯在を終へ二十五日午後二時三十分思ひ出多き壽府を出發しパリに向つた、代表部の大半は今夜又は明朝壽府を發つが、佐藤、松平兩大使は軍縮會議との今後の協力問題に對する政府の訓令到着せざるため一兩日居殘ることゝなつた、松岡代表は兩日パリに滯在しその後の旅程を決めると

【ロンドン二十五日發】松岡代表は二十五日午後二時半ジユネーヴを出發したがロンドン着は三月八九日頃となるべくロンドン着後は一週間程滯在したうへワシントンに向ふ豫定、米國には更に二、三週間滯在し四月下旬淺間丸で歸朝することゝならう

「善意あるところ希望あり」
松岡代表語る

【ジユネーヴ二十五日發】松岡代表は二十五日午後零時半ドラモンド氏を事務局に訪問しその勞を謝し懇ろに挨拶、同四十五分事務局辭去に際し記者團に語る

日本代表部も聯盟を去られればならぬが事茲に至らざるを得ざらしめた宿命的なものを感じ一種の淋しさを感ずる、然し嚴かな氣持を感じさせられる、御別れの言葉として「善意あるところ常に希望あり」と諸君に告げる

長岡全權も壽府を出發

【ジユネーヴ二十五日發】ジユネーヴ引揚げの第二陣長岡大使、鹽崎、土田、松本各書記官ほか五名の一行は二十五日午後十時四十五分ジユネーヴ發パリに向つた、澤田公使ほか三名が出發せば我代表部は略引揚完了し佐藤、松平兩全權も二十八日出發せば殘る者は十名內外となる模樣である

壽府の對日本空氣惡くない

【ジユネーヴ二十五日發】松岡代表引揚げに際しジユネーヴの空氣は決して日本に對し特に惡感は示してゐない、殊に上海事變當時の反日的興奮狀態に比すれば雲泥の差で日本人記者に對しても外國記者が握手を求め「日本代表が再び來ることを希望す」等とお世辭ばかりとも見えない言葉を遣ひた、昨日午前の總會でのシヤムの棄權と午後の總會における顧維鈞のやり過ぎとが斷かる感情を呼び起すに力あるものであつた樣である

凌源の嶮を扼して日滿軍の進路阻止
張學良、反滿軍に嚴命

【奉天電話】張學良は日滿聯合軍の熱河に於る反滿破道軍を掃滅する爲朝陽、開魯、綏中方面から進擊を開始したとの報に承德、赤峰を飽くまで死守し、凌源の嶮を扼して日滿聯合軍の進路を阻止すべしと嚴命を下してゐる、しかして平津一帶の治安を維持する兵力は僅かに殘留のみで果して保持ができるかにつき焦躁し、謠言を放つて當面を糊塗してゐるが、若し滿洲軍が承德に入れば天津に亡命するために竊に貴重品を天津方面に移しつゝありといはれ、一方北支那一帶の抗日團、共產黨等を使嗾して青天白日抗日烈血團を組織せしめ滿洲の各地に散在せる小賊と糾合してこれと結び、後方攪亂の擧に出ん計畫である、然し學良の計畫は殆ど問題とならず、既に其の運命も旦夕に迫りつゝあり、民心は離叛し、僅かに抗日救國團の宣傳のみで漸く命をつないでゐる狀態である、なほ飛行機建造のために寄附金を強制募集してゐることも商民はこれを嫌惡してゐるといはれてゐるが、彼は承德に情報辦事處を設け各方面における日滿兩軍の狀況についてラヂオを通じ內容を知ることに努めてゐると

後方攪亂に備へ警備を固む
各省司令官に命令

【新京特電】滿洲國の討熱作戰軍は逐次熱河省內に進入しつゝあるが一方國內に對しては張學良の後方攪亂の企圖あるべきを察して軍政部では各省警備司令官に對し省內に嚴重なる警備を行ふべく命じた、卽ち奉天軍、洮遼留守軍、黑龍江軍に對しては反滿抗日兵匪の東方への脫退を防止せしめ尙奉天省軍に對しては右の外海邊の警備をも嚴重にし吉林軍に對しては國境に蠢動する敗殘兵匪に備へしめ又東邊道や三角地帶の殘匪にも細心の注意を拂ひ且つ新京、奉天等の主要都市は嚴重なる警備を行はしめる、恐らく馮占海の吉林省復歸、李海青の黑龍省復歸は全然その望みなかるべし、尙潛入する便衣隊や間者等も殆どその活潑なる活動をなす餘地はないであらう

凌源市內平穩

【新京電話】匪賊の偵察によれば凌源市內は通行人稀れで市街の陣地構築等もなく至極平穩である

は二十五日早朝より敵を攻擊し午前八時敵陣地を占據、更に退却する敵に對し追擊を行ひ多大の損害を與へた、この戰鬪に際し敵は朝陽附近の既設陣地を利用せずして退却した、同地附近の敵は約二千で我飛行機は二十五日朝より西南方凌源に向ひ退却する敵に對し爆擊を行ひ多大の損害を與へた

南下部隊
先鋒綏東着

【新京電話】關東軍司令部發表＝二十四日午前十一時開魯に進入せる茂木部隊は一部を同地に殘置し主力は東凌軍と共に興隆地に向ひ南進を續行し二十五日夕サセコト（開魯南方約五十キロ）に達せり、高田部隊は通遼出發後、途中微弱なる對抗を排除しつゝ薄力火燒廟を經て二十五日夕オンドロハラ（ハセコト南方約十キロ）に達し又神代部隊は同時刻ごろ綏東に進入せり

駒井參議經過良好

曩に內地に向ひ蓄膿症にて九州醫科大學病院に入院した滿洲國參議駒井德三氏は同院耳鼻咽喉科において二十六日午前十時久保博士の手によりて手術を行つたが經過頗る良好、十日餘にて退院し得る見込みであると

人事

▲山崎元幹氏（滿鐵理事）廿六日出帆うらる丸にて內地へ
▲岩井勘六氏（大連在鄉軍人聯合分會長）同上
▲小澤太兵衛氏（實業家）同上
▲栃內壬五郎氏（前農事會社專務）同上
▲增田義男氏（大汽專務）同上
▲宮塚鐵二氏（大阪商船東洋課旅客主任）同上

凌源に陣地を構築
正規軍が皇軍に備ふ

【奉天電話】北票、朝陽を後退した敵匪は目下續々と凌源に集結し凌源に待機中であつた三萬の劉芳九軍と二ケ旅の正規軍と合體し今や尨大なる防備線を十重八重に繞らし地雷を埋め嚴重なる陣地を構築して我軍の攻擊に萬全の防備を行つてゐる、凌源に集結の軍隊は精銳なる武器を多數擁し右正規軍の尨大なる編成が行はれてゐる

大正義をつらぬくもの、ふの譽
討匪第一線に起つ第○○團長
幕僚に悲痛の訓示

【錦州特電二十六日發】熱河討伐の第一線部隊を指揮する第○○團長は二十五日午後四時、卅餘名の幕僚と共に記念撮影をなし、次いで將軍は居並ぶ幕僚に向つて左の如き悲痛なる訓示をした

滿洲國の基礎工作たる剿匪行動の最後を飾る熱河の軍事行動に當り我部隊がそれを承つたことは諸君と共に光榮とするところである、我軍この度の行動は大正義を貫くためである、國際聯盟はもとより各國は猜疑の目を以て我等の行動を監視してゐる、我等は上至尊の御宸襟を安んじ奉り、下九千萬の同胞の期待に反かざるやう武夫の譽と潔く戰ふことを誓はねばならぬ、諸士宜しく我意を體し奮鬪努力せられんことを

隊員寂として聲なく嚴肅の氣場內を壓し武夫の出陣に相應しい劇的場面を現出した

朝陽附近で爆擊
敵匪步騎兵二千餘敗退

【錦州特電二十六日發】○○飛行隊は二十五日午前十一時ごろ朝陽と南方孫家灣鳳凰山に約三百の敵匪を發見これに爆擊を加へた、更に朝陽西方二十キロ飲馬家營子に步騎兵二千と敵匪を發見これを擊破敗退せしめ我空軍の威力を示した

食料品を提供皇軍大歡迎
南下沿道の居住民

【新京電話】通遼より行動を開始した我軍は一望千里白皚々たる曠野を南進しつゝあるが附近住民は地下に埋め兵匪の掠奪を免れてゐた白菜その他の食料品全部を提供して皇軍を大歡迎し、これがため我軍は無人の境を行くが如く兵匪を一蹴しつゝあり

右翼陣地を皇軍奪還

【奉天電話】朝陽附近における敵の右翼陣地は水口溝、石門子溝左翼陣地は桃花吐、桃花山の線なる朝陽より東方又は東北方に亙つてゐるがこの右翼陣地に對し我軍は二十四日午前十一時半から攻擊を開始し陣地前方にあつた二、三百の敵を擊退、陣地に接近し同日午後二時から日沒まで更に攻擊を續行し敵に多大の損害を與へ、日沒後完全に同地を奪還したこの戰鬪に於て前川大尉外十一名負傷した桃花山、桃花溝に向つた松尾部隊

皇軍の士氣振ふ
各地に敵匪を擊退前進

【錦州特電二十六日發】第○○聯隊發表＝一、鈴木部隊に屬する田中三宅兩部隊は二十四日午前十一時半頃牛營子南方地區において迫擊砲を有する二、三百の敵騎兵を擊退した

二、この敵は第四一五團の約一連及び騎兵第三六團の約一連にして午後石門子溝附近既設陣地において頑強なる抵抗を試み我早川部隊及び田中、三宅兩部隊は大凌河西岸地區よりこれを攻擊し日沒までに完全にこれを占領した

三、敵に與へたる損害は未だ不明なるも我が遺棄したる敵多數ある見込み、我損害負傷左の如し
▲早川部隊　步兵大尉前澤長重輕傷兵七名
▲田中部隊　兵四名

四、大凌河の結氷は到るところ諸隊の渡河に死傷なし、士氣頗る旺盛

五、鈴木部隊は二十五日早朝朝陽附近敵の主陣地に對する攻擊準備完了した

六、松田部隊は微弱なる敵を驅逐しつゝ前進、早川部隊は午前八時前後塔家溝附近に退却する若干の敵及びその收容する部隊を攻擊したが、田中部隊は敵の攻擊を受くることなく前進した

七、鈴木部隊は午前十一時乃至一時の間に朝陽に入城した

八、敵主力は既に遼河方面に向け退却せるものゝ如く我飛行隊は朝陽西方地區に退却中の約二千の步騎兵を爆擊した

宣撫班の活動　（上）傳單に見入る錦州市民　（中）錦州南門で宣撫　（下）街頭講演

蛇角

◇「善意あるところ常に希望あり」いうことはいうて涼しい松岡全權ジユネーヴにサラバ、サラバ。

◇正義の一票が尊い如く、たゞ一票の好意も亦尊い。

◇山田長政以來のシヤムに滿腔の敬意を表す。

◇過ぎたるは及ばざるが如し、ボイコットを公認した聯盟關係國にボイコット反噬の日あらん。

◇若しそれ、滿洲國が不承認國をボイコットした場合も、聯盟はこれを合法的手段と見るや否や。

◇正義の日滿軍、公道を熱地に士氣ます〳〵揮ふ。

◇熱河の魑魅魍魎、朝日の前の露と消え失せるも近し。

東天紅（6）
田中純作　林一三畫

ライラックの夜（六）

「しかし、君のやうな人が、よく日本なんぞに歸つて來る氣になりましたね」

神田がまた、言葉をついで訊いた。

「ええ。僕も大して歸つて來たくはなかつたのですが」

相良が初めて、氣のなさそうな返事をした。

「鎌倉には何か親戚でもおありになるのですか？」と、口髭の男が訊いた。

「いや、何もないですが、ちよつと賴まれた用事があつたものですから」

「それでわざ〳〵上海からゐらしたのですか？」

「いや、わざ〳〵と云ふわけでもないですが」

相良はちよつと曖昧に云ひよどんだが、すぐ、或る程度の事情を話さうと思つたらしく、

「實は、或る女から賴まれて、或る人のあとを蹤けて來たのですよ」と云つた。

「ほう―それはまた面白さうな話してすな」

「いや。別に面白い話しでもないですが……」

「その或る人と云ふのは誰です。この鎌倉に住んでる人ですか」

口髭の男が、性急に訊かうとするのを、神田が遮つた。

「まア〳〵、君、さう不遠慮に他人の私事に立ち入るものぢやないよ。この人と僕たちとは、まだ今夜初めて會つたばかりぢやないか」

「ふゝん、まア、さう言へばさうだが」

「いや、しかし、そんなに興味をお持ちになるほど面白い話しぢやないですよ。いづれ、そのうち、お話しする機會があるかも知れませんが」

「しかし、兎に角、さう言ふ面白い人を、僕たちの野球團に迎へるのは愉快だよ。――さうです、君もしばらく、この鎌倉に落ち着くことにしたら」

神田は、殘つて居るウイスキイを、ぐつと一息に飲み干して云つた。

「ええ。食べて行ける仕事さへあれば、僕何處へでも落ち着くんですが」

「食べるだけの仕事なら幾らでもありますよ。不景氣だとは云つても、鎌倉はこれで遊民の多いところですからね」

「では、一つ、明後日はうんと投げて貰ふことにして、今夜はこれで歸らうぢやないか。かれこれもう一時だぜ」

誰かが言つた。

「うむ、一時だ。歸らう」

みんながそろ〳〵と立ち上ると相良も一緒に卓子を離れた。

「今夜はどちらのお宿です」

「いや。これから寢床搜しです」

相良が言つたが、誰もまさか、この青年が今夜、海岸に野宿しようとしてゐるようなことは、疑つても見なかつた。

「では、兎に角、一緒に出ませう」

外は何時か、海岸地……深い霧になつてゐた。その霧の中を、彼等はぶら〳〵と電車道の方へ歩き出したが、十間ばかりも行くと、背後から、

「もし〳〵」と呼び止めるものがあつた「相良さんとかおつしやる方、お荷物が殘つて居りますよ」

見ると、お光が、相良のバスケットを持つて、薄暗い街燈の下に立つてゐた。

「あゝ、さうだ。有難う」

相良はすぐ引返して行つて、女からバスケットを受け取つた。その瞬間に、彼の別の手に、お光の柔かい手が押しつけられて、何かを握らされたのを感じた。

「何だい？」

言ひながら、見ると、それはくちや〳〵に丸められた十圓紙幣だつた。

「野宿なんぞしないで、何處かへお泊んなさい」

相良があつけに取られて居るうちに、お光はさう言つて、ついと硝子扉の中に逃げ込んで行つた。

けふ非常時大連市民大會
會する日滿人二萬 我等の決意披瀝
勇往邁進あるのみ

國際聯盟の脱退により未曾有の非常時國難に直面した日滿兩國民がその固き決意と覺悟を中外に闡明せんとする非常時大連市民大會は二十六日午後零時半から中央公園滿倶グランドにおいて開催された、この日早春の空や、曇り勝ちだが南風そよろに吹いて絶好の愛國日和さて永井民政署長、森本地方法院長、高柳中將、關東軍横山大佐、山西滿鐵理事、小川市長、大內、若月市會正副議長、張大連、羅小國子、許沙河口各商議會長を始め參加する者在鄕軍人聯合會、海軍協會大連支部、青年團各中等學校小學校生徒、日滿市民約二萬に達し會場中央には日滿兩國の大國旗を吊し周圍には紅白の幔幕を張り、合圖の煙花は沖天に轟き宛ら緊張と興奮の渦卷である、定刻先づ萬雷の如き拍手裡に迎へられ岡野助役登壇、開會の挨拶を爲し次いで莊重なる奏樂に伴ひ國歌「君が代」を二唱、滿場一致を以て小川市長を本大會の會長に推擧すれば白薔薇の大輪の徽章を胸に付けた小川市長はやをらマイクの前に立ち

今や我國は未曾有の國難に直面した、之れが打開の途は只建國の大精神に則り擧國一致勇往邁進あるのみ、帝國は滿洲國を扶け東洋平和を確保する爲め國土を賭し國民は身を挺して此の國難に赴かねばならぬ、幸ひ此機に際し滿洲國人は帝國の此の大精神を體し共に提携して正義の爲め國論を統一し以て非常時に善處せねばならない

と式辭を朗讀、次いで日本人側を代表し高田商工會議所會頭、滿洲國人側を代表し龐小國子商議會長の聲明あり、石本鏆太郎氏は三十萬市民の總意による左記日滿兩文の宣言決議文を朗讀し、その決議を俟つて福田顯四郎氏の閉會辭あり、後永井民政署長の發聲で日滿兩國の萬歲を三唱したが頗る盛會であつた、なほ右宣言決議文は首相、陸海兩相、外相、拓相、陸軍參謀總長、海軍々令部長、貴衆兩院議長、樞密院議長、武藤全權、鄭滿洲國々務總理あて打電された

宣言

國際聯盟は帝國の國權を輕侮し儼然たる滿洲國の獨立を否認し東洋の和平を阻害する暴戾なる勸告を敢てせり、斯くの如きは神人倶に許さゞる處吾人は國土を擧げ身命を賭し斷乎として之を排擊せざるべからず

茲に日滿兩國民の固き決意を披瀝し天佑の加護を仰ぎ東洋永遠の平和を確せむ事を宣す

決議

一、吾人は國際政局の危機に直面し斷乎として東亞平和の確保を期す

二、吾人は滿洲國の健全なる發達を擁護し以て我が皇道を世界に光被せん事を期す

三、吾人は身命を賭して非常時國難に膺らん事を期す

右決議す

三氏より祝電

二十六日出帆のうらる丸で上京した岩井少將、山崎滿鐵理事、小澤太兵衞の三氏は非常時大連市民大會に三氏連名を以て船中より左記電報を寄せた

われ等の決意を示し市民大會の盛會を祝す

非常時市民大會畫報

（上）大會々場と會衆の君が代合唱　（中）小川市長の式辭朗讀　（下）宣言決議文

矢崎參謀、戰を前にハモニカを樂しむ
綏中にて　五百旗頭特派員發

「三分の二は死を覺悟してゐるのだぞ」友達連のこの言葉に固い決心を決めながら綏中から○○方面に向ふ服部部隊に從軍するべく記者は二十三日午後一時錦州出發の軍用列車で綏中に向つた、この日朝來

錦州の街 は猛烈な吹雪またたく裡に全市を眞白に飾つてしまつた、從軍の出發にふさはしい雪降りではある

北風の唯中に　白雪踏んで
球蹴れば振ひ立つ
ラグビー早稻田

記者はこの母校ラグビー部の歌を思はず口ずさんでゐた、野戰病院の人々と一緒に綏中驛に降り立つた時は世界は全く夜となつてゐた吹く風も何かしら春を思はせる生温さ、雪もない綏中の町は錦州に比べて餘程の溫かさだ、停車場司令部で［illegible］聞き○○部に矢崎參謀を訪ふ驛から約五百米、野つ原の中を衝き拔けると漸く町に出る、思つたより立派な三層樓の

城門を入 ると右側にすぐと矢崎參謀の宿舍を見出した、矢崎參謀は折から政治工作員中澤、新貝兩氏と卓を圍んで杯を擧げてゐたが快よく記者を室內に招じ

「やあ、よくやつて來たね、娑婆に名殘の無いやうに思ひ切り飲んでゐますよ、君達も本當に覺悟をしてゐるのかね、うん、それなら良からう」

「然しまあ良く考へて決めるんだね、軍人は戰死をしても目的を達することが出來るが新聞記者は死んでは目的が達せられんからね」

慚愧のこもつた言葉に記者も默然と「兎に角私は

先頭部隊 に從軍させていたゞきます」と懇願した、記者の願は快く許された、戰ひを前にしての忙しい時に拘らず更に大崎參謀は當番の下士官に命じて記者のために寢所を心配までもして呉れた、何も飾りもなく戸棚の中に日本製らしい大黑樣が置かれた質素そのもの、部屋ではあるが何となく部屋全體が活氣に充ち充ちてゐる、折柄作戰の打合せに來た○○隊長をさらへた矢崎參謀は意氣だ、何も心配は要らん、意氣さへあれば勝てるのだよ」と強い決心を傳へてゐた「さあ寢給へ」と記者に促した參謀は一人自分の部屋に歿つてハーモニカを奏き始めた、軍艦マーチをはじめ軍歌の數々、巧な奏き振りである、ハーモニカもすむと今度は尺八の練習だ、記者はその音を聞いた時すぐと小學校時代に聞いた

八代艦長 の尺八吹奏の話を思ひ出した、戰死を覺悟の戰ひを前にしてのこの靜けさ「やるぞ」記者も思はず心の中でさう叫んだ、出發は近い、綏中到着の第一夜は物凄い靜けさの裡に更けて行つた、犬の遠吠がしみ入る（廿三日夜十一時綏中にて）（寫眞は五百旗頭特派員）

五百萬圓で新京に大歡樂境建設
松竹兩巨頭の計畫

【東京二十六日發】新興日本の映畫演劇界に君臨する松竹の兩巨頭大谷竹次郎、白井松次郎兩氏が松竹會社としてゞなく個人として資本金五百萬圓を投じ十ケ年計畫で滿洲國首都新京に東京の淺草、大阪の道頓堀、京都の新京極を綜合したやうな大歡樂境を建設すべく計畫を進めてゐる、歡樂地帶は約二千坪に大劇場二、映畫館三、溫泉ホテル、プール、スケート場等近代娛樂機關を網羅し淺草を含め新國家にふさはしい理想的歡樂境を建設するもので、場所の選定方は既に執政府に依賴濟みでこれが決定次第白井氏が渡滿し具體案を樹立する運びとなつてゐる

富岳の額贈呈　全權より執政へ

【新京電話】武藤軍司令官から三月一日の建國一周年記念慶祝のため執政に贈呈すべき日本精神を表徵する富岳の大額は二十五日午前十一時軍司令部第四課長坂田中佐が司令官代理として執政府に赴き贈呈した、執政は殊の外悦びこれを受納した

上住少佐平津へ

滿洲に於ける各戰蹟を視察中であつた全國香師團より選拔された現地視察團上住少佐以下十一名は二十六日出帆長平丸にて平津方面に向つた上住少佐は語る

熱河問題などで緊張した滿洲の旅行、軍隊教育には持つて來いの感動を得られた、北滿をはじめ各地の戰跡を見て感激したところだ、これから平津に廻つて歸るつもりだ、かうした視察團は時々來る必要がある

滿洲國協和會
全滿に動員して建國精神を作興
その數々の計畫內容

滿洲國協和會では建國一周年に際し建國精神作興のため全國に動員して日滿貿易品ならびに日滿教育品、建國寫眞等の展覽會を催し又は民族協和、同情週間の設定、幻燈、覗きの巡業、映畫、娘太鼓の巡回、その他の記念事業を行ひ更に雜誌「振亞」の建國記念號を發行し或はビラ、ポスター等を配布して

國民觀念 の涵養に資する事とした、卽ち日滿貿易品展覽會は六月中五日間奉天に於て開催し日滿兩國の貿易品と日滿兩國商人を一堂に會せしめ、商品の展示を爲すと共に商談を開始せしめ會期中に本年度後半期需要商品の取引を行はせるのが目的で、日滿教育品展覽會は建國記念日たる三月一日に奉天、新京、ハルビン、チチハル、撫順、鞍山、安東を標準とし一齊開催の計畫であるが開催不能の時は五月頃開催し日滿學童の童心を通じて「日滿親善」「民族協和」の際株とし兩者の學力向上を養成しやうと云ふのである、建國記念寫眞展覽會は三月十日より奉天、新京の二ケ所、日滿兩市街に於て開催し

建國前後 における寫眞を通じて擧ある今日を實現しやうといふのである、また民族協和週間は民族協和運動の指導により漸次自主的民族協和運動を馴致せしめんとする遠大な試みで、第一回は三月一日より十日迄十日間各地一齊にこれが工作を行ふ計畫で、また同情週間は建國の春に背き飢餓と寒氣に困憊せる極貧同胞に暖かい救濟の手を伸べ新國家の恩惠を享受せしむ可く寄附を募り貧困者多數居住する地域五ケ所を選定し三月一日より施與を開始しやうと云ふ試みである、更に建國精神の普及を圖り兼ねて協和會自體の宣傳をなすため幻燈、覗き、映畫を以つて各地を巡業しなほ一周年記念日當日には新京および奉天の二ケ所で

娘太鼓を 公開し專ら下層の民衆に建國一周年記念日たる事を知らしめ、その他綴方および一般論文を募集し或は大衆讀物を發行し三月一日を期して新聞、雜誌等を通じ建國寫眞の宣傳を行ひ「振亞」の建國記念號と相俟つてパンフレット、ポスター等を印刷配布し大々的宣傳を爲し王道樂土の工作徹底に努める筈である

けふの出船
多數の名士と話題を乘せて

春ぐもりの二十六日出帆うらる丸は各方面の知名士、話題多數をのせて離滿した、「內地からの招電に接し約一ケ月位の豫定で上京だ、用件は全然分らないが差當り大きな問題はないと思ふ」と夫人同伴の山崎滿鐵理事、「久しぶりの內地の海運界の樣子を見に行くのだ、それに船主協會方面から是非出て來いと電報があつたので態々行く、增船計畫などない、それに歸りに神戸の木材プールを一寸のぞいて來ようと思ふ」と內地各方面への航路開拓で一躍我國海運界で注目されてゐる大汽事務增田義男氏、二十四年間の滿洲生活から左樣ならをして歸鄕する前農事會社重役柄內壬五郎氏、いかめしいところで三月三日から東京において開かれる在鄕軍人役員會出席の岩井勘六少將、「いやこちらに來て滿洲の方々から色々承り參考になりました、これを無駄にしない樣にしたいと思つてます」と滿鐵案內事務打合會に出席中だつた大阪商船旅客主任宮塚鐵二氏、いづれも賑々しく乘船各等滿員で華々しく出帆した

男から女へ——慰藉料請求

之は又珍！性病と麻雀熱が原因の離婚訴訟　法律はどう裁いたか。其の他『世相を映す名裁判珍裁判物語』雜誌三月號にあり大評判

ドモリを苦にし選手の鐵道自殺
慶大競走部の松尾君

【熱海廿六日發】二十五日午後六時三十分熱海發上り列車が泉越トンネルを通過せんとした際、トンネル東口で列車目がけて飛込み無殘にも自殺を遂げた慶應大學の制服制帽の青年あり熱海署で檢視の結果、岡山縣津山市城代町松尾平五郎（二二）と宿帳に記し熱海越後屋旅館に二十二日から滯在してゐた慶應大學競走部ハードル選手と判明、同君は津山市の有力者松尾鐵一郎氏の令息、慶大新進のハードラーとして重きをなし、次のオリムピック選手候補として前途を囑望されてゐたもので遺書は父母及び知人に宛てた七通あり父母に宛てたものには「意志の弱い私には何も出來ません、私がドモリでなかつたらどんなに幸福だつたでせう、スパイクは私の無言の唯一の友でした云々」とあり同君は幼少の頃からそれを非常に苦痛として居たらしく之を諄々と愬へ最後に「私はドモリに苦しみ之に依つて死んで行く」とあつた

熱河軍政地區　軍事郵便取扱

【奉天電話】熱河省內における郵政事務を接收すると同時に地方治安の平定するまで奉天郵政管理局では軍政地區にたいし軍事郵便の取扱を行ふと

津田勇三氏　廿七日告別式

元本社編輯局員津田勇三氏は昨夏以來大連醫院に入院加療中のところ藥石効なく二十六日午前七時半遂に永眠した、享年三十三、氏は京都府の出身にて同志社を卒業し本社では滿鐵擔當記者として令名あり、又曾て朝鮮に在つた當時深く朝鮮における農業經濟に就いて研究し、その統計的事實を基礎とせる俊銳なる科學的論文は東大教授大內兵衞氏の極力推賞せるところで明敏の頭腦前途を囑望されてゐただけにその死去は知友間に惜まれてゐる、因に告別式は二十七日午後二時半より三時までの間に同醫院屍室において行ふ（寫眞は故津田氏）

各等滿員で二百餘名立往生
けふ門司發の香港丸

【門司特電二十六日發】二十六日門司を出帆する香港丸は各等滿員のため二百餘名の者が乘船出來ず非常な混雜を呈してゐる

速記者募集

速記の經驗ある者試驗の上採用す希望者は來る二十七、八兩日の中午後二時より三時までの間に履歷書持參來社ありたし

二月二十六日　滿洲日報社編輯局

天氣予報

二十七日　南の風（曇）驟雨模樣

各地溫度 廿六日午前十一時

大連零下二　奉天零下九
旅順　一　新京同　一七
營口零下六　新義州同　八

國難日本刀（255）

高桑義生作　京極佳夕畫

曙の勇士（十）

姥ケ岩の海上では——

逃げて行く淡路守の船を、目前に見ながら、海中に飛び込んだ瑠吉を見棄てることが出來ないので間宮は船を止めて、三人ひとしく月夜の海面に、瞳を凝らした。

瑠吉の姿は、水中に沒したまゝなか／＼浮んで來なかつた。

「やつぱり敵の手であつたのか」

と一人がいつた。心配さうに、

「大丈夫だらうか？」

「あの男に限つて間違ひはないがみす／＼淡路守を取逃がしてしまつたのは、殘念だ」

と間宮はいつた。

その時、

「あッ、浮んで來たぞ」

「瑠吉だ」

「おゝ、何か小脇に……」

「女だ」

「それッ」

と、漕ぎ寄せた。

たちまち双方から寄つた。瑠吉は見事な泳ぎ手練を見せて、まづお加代を船の人々に渡してから、輕々と船にあがつた。

お加代は正氣をうしなつてゐた。が、瑠吉の物馴れた手當は、すぐに彼女の意識を取戻した。水を飲んではゐなかつた。お加代は瑠吉と氣がつくと、夢のやうな氣がしたが、極度の喜びで、口をきくことも出來なかつた。

瑠吉は、

「話はあとです。お加代さん、だまつて、氣を落着けて……なあにはづかしいとなんかありません。そのまゝ……そのまゝじッと寢てゐて下さい」

お加代を船底に寢かして、同船の者の着物を借りて、彼女にかけてやつた。お加代はそれに全身をかくして、顏を包んで、涙にむせんだ。

瑠吉は裸體になつて、艫に飛んで行くと、強ひて櫓を押してゐる者とかはつた。船は急に矢のやうにすべり出した。

しかし、淡路守の船は見えなかつた。

間宮は瑠吉によびかけた。けれども、懸命な瑠吉の耳には入らなかつた。で、瑠吉の傍に寄つて行つて、

「もういゝ。君にばかり骨折をかけてすまない。山は見えてゐるのだ。お加代さんを取返しただけでも十分だ」

「ですが、殘念ですね」

「ひさ休みしてくれ。あんな者はいつでも懲すことが出來るのだから……」

「それはさうですが……」

「同志はあれからホールの住居に向つたはずだ。淡路守が何處へ行くか？わたしの考へでは、今夜は多分ホールの處か、或は本牧御殿に違ひない——と思ふ」

まもなく、彼等は船を向ふ岸に着けて、上陸した。おなじ場所に淡路守と傳次が乘り棄てたらしい一艘の船が漂つてゐた。

瑠吉は辭退するお加代を背負つた。誰も見るものもない。人家はあつても、燈火を消して、しいんと寢靜まつてゐる。幸ひ警備の役人にも遭はず、まもなく彼等は糸平——田中屋平八の家に引上げた。

一方、淡路守の役宅を襲つた群衆は、それからぐるッと廻つて、ホールの酒館を襲ひ、更に彼の住居を襲撃した。さうしてホールの姿を求めたが、すでに行方をくらましてゐた。安齋要藏は巨額の金を拐帶して、これも逐電してしまつた。

瑠吉や間宮や——四人がお加代をあづけて、糸平の宅を出ようとするところへ、お千が飛んで來た。

お千は弓之助の無事を告げた。

そして、

「勝の殿樣と、まもなく此方へお引上げになります」

瑠吉は狂喜した。そしてお加代も無事に救つた事を語つた。知らせを聞いたお加代の喜び！

本社特選 新棋戰（其七）

角落　八段△土居市太郎　四段▲志澤春吉

【圖は四四金迄の局面】

土居氏持駒 歩歩

▲五五歩　△同歩
▲四六歩　△二四歩
▲同銀　△八五歩
▲同桂　△二五桂
▲四七歩成

【土居八段講評】志澤君は一旦五五歩とつき、而して後に四六歩と打つて角の活動を圖つたのは含みある指手、上手敵の四六歩打に對し同銀では角に侵入され面白くないから二四歩以下桂の早逃げは局面上已むを得ない。

【萩原六段解説】志澤氏の五五歩は飛車の活用を廣くしてよかつた、土居八段の同歩は敵に五六歩と取られては八四角の偉力があつて全滅する故同歩と取つたのである、志澤氏の四六歩は八四角の活用を圖り好手である、志澤氏の二四同銀で同歩と取ると敵に二三歩又は二五歩と打たれて面白くないので同銀と取つたのである、土居八段の八五歩は何時でも桂の持てる様にして置いたものである續いて二五桂は敵の四七歩成を避けたものである、この二五桂で四八飛では敵に四四金と取られ同歩四七金と打たれて悪いのである。

また逢ふ日まで
松竹蒲田作品・中央映畫館

久しぶりの蒲田映畫の傑作品である、靜かに銀幕を見つめてゐると、各場面に盛られた人々の感情が胸に迫つて來る映畫である

たゞこれが上映に際して最も注意せねばならないことは、下手な解説をしてこの優れた心境映畫を新派悲劇たらしめないことである、一般のファンにこの作品の良さを知らす責任の大半は解説にあると言つても過言ではあるまい

……◇……

心境映畫作者として定評ある小津安二郎監督が野田高梧の良きシナリオを得て贅澤なキャストを以て會心のメガホンをとつてゐる

女の男に對する優しく悲しい心づかひ、男の女に對する感謝の思ひやり、子を思ふ親心、親に悲みを知らせまいとする子の心互に思ひやる兄妹愛、女同士の友情、すべて登場人物の息詰るやうな感情と感情が觸れ合つて銀幕から滲み出て來る、小津安二郎監督の俳優指導は素晴らしいもので傍系人物の友達にまで感情を立派に持たしてゐる

……◇……

主なる配役は岡田嘉子の女、岡讓二の男、奈良眞養の父、川崎弘子の妹で何れも全力を傾注して熱演してゐるのも近來珍しい緊張味を見せた作品となつてゐる【寫眞は岡田嘉子と岡讓二】

愛兒を片輪にする恐ろしい骨の病氣

發育の遲い子……榮養不良の子……腦の發育の惡い子……食べ物の好き嫌ひの多い子……眼の惡い子……齒の弱い子……は

どうすれば丈夫になるか？

如何に頭のよい天才兒でも、學校の成績の優れた子供でも、體が弱くては成功する事が出來ません。のみか、あたら英才を抱き乍ら遂には半途で早逝する例の多いのは人の知る通りで、折角愛撫して育て上げ、前途に多大の望みを掛けた親心に之れ位痛ましい事はありますまい。誠に身體の强弱は人間一生の運命を左右するもので、虚弱な爲に出世の出來ぬ人が親を怨むのも一面尤もであります。

重大な母の責任

虚弱な體質はどうして出來るかと申しますと、多くは、發育期の子供の時に母親の不注意から大切な我が子を虚弱者に仕立て上げるので、中には悲慘な片輪者にして、一生を暗黒にしてしまう事さへあるもので、母親の責任と云ふものが如何に重大であるかは解るのであります。では子供を育てるのに一番注意せねばならぬ事は何かと申しますと、それは先づ榮養であります。

粗食で百十九歳

然し榮養といふ言葉は多くの人が意味を穿き違へて居るやうで、御馳走を食べる事を榮養と思つて居たらそれは飛んでもない間違ひです。中流以上の家庭で毎日美味しい物を食べて居る子供に榮養不良が多いのは何を物語るものでありませうか。今回東京三越で開かれた延命長壽の展覽會で、日本一の長壽者と稱へられた百十九歳の倉平ハルさんは、子供の時から稗や麥を常食にして居たと云ひます。其他の百歳以上の長壽者も、皆殆んど一致して食物に好き嫌ひが

神經質な今の子供

無く、何でも食べて居る處から見れば、食物が一方に片寄らずに廣くいろ／＼な物を食べるのが良いといふ結論になります。然し昔と違ひ、文化の進むに連れて子供が一般に神經質になる結果、食物の好き嫌ひが多く、兎角一方に片寄る事になり、同時に日光に浴する時間が少ない爲にヴィタミンが不足して、知らず／＼の間に病氣の原因を作つて了うのであります。

四角頭と長頭

その中でも著しいのは、ヴィタミンDが不足する爲に骨が軟かくなつて佝僂病（セムシ）を起す事で、それが乳兒なれば頭のヒヨメキがいつ迄も塞がらず、頭の形が樣々に變つて四角頭や長頭、セルロイドのやうにペコ／＼になつたりします。また肋骨が軟かくなる爲に胸が彎曲し、或は鳩胸、中の凹んだ漏斗胸などになるのもあり、脊骨も足の骨も曲り、ベタ足ガニ股、O字脚、八字脚等になります。

ねあせをかく子

尤も右の樣な骨格の變化は病氣が大分進行してからの事で、初期には貧血のため顏色が蒼く、いつも不機嫌でメソ／＼とよく泣き、殊に乳兒では夜泣きをして中々やまず、寢あせをかいて枕を濡らし、又、足の立つのが遲く、齒の生えるのも遲れる上に多くは齲齒になり、腦の發育も遲くて低能兒になり易く、從つて學校の成績も惡く、更に肺病その他結核性の病氣に罹り易いと云ふ危險があるのです。

捨て、置けば盲目になる

次に、ヴィタミンAが不足すると、生長が止まり、貧血を起し、元氣が無くなり、特に眼がわるくなつて眼炎、角膜乾燥症、たゞれ眼、夜盲症などを起し、遂には哀れな盲目にもなるのです。また寄生蟲に冒され易く、恐ろしい傳染病や結核性の病氣に罹り易くなります。右の樣なヴィタミンAとDの不足から來る病氣を防ぐには、どうすれば良いかと云ひますと、それはヴィタミンAとDを服むより外に方法は無いのであります。

AとDを一緒に

然しAだけ、或はDだけを單獨に服むよりも、AとDを併せて服む方が効果が多いので、それには都合のよい事に、肝油の中に右のAとDとが共に多量に含まれて居るので、即ち肝油さへ飲めば完全にその目的が達せられるのであります。が、たゞ肝油は御承知の通り飲みにくい上に、胃腸を害したりするので、折角一瓶の肝油を買つても、十分の一も飲まずに捨てると云ふ不經濟な事になる場合が多いのです。

おやつ代りの榮養料

殊に肝油の品質はまち／＼で、ヴィタミンの量が少なかつたり一定して居なかつたり、といふ有樣なので、藥學博士河合龜太郎氏が根本的の研究を行つた結果、ヴィタミンA・Dの濃度が五十倍にも達する濃厚な肝油を發明して之を乳化した上、更に骨の發育を良くする燐とカルシウム、血を増す鐵、胃腸を強くするキナ及び酵母（ペーフエ）を加へ、脚氣を防ぐヴィタミンBをも含ませて、美味しいお菓子に造つたものが、即ちミツワ肝油ドロップスであります。

知らず／＼丈夫な體に

このミツワ肝油ドロップスは、肝油が完全に乳化されて居るので胃腸の吸收が良く、消化を害せず各成分の綜合作用によつて効めが非常に早い上に、子供がおやつの代りに喜んで食べるので、知らずの間に強い丈夫な體になると云ふ處から、多くの醫師にも家庭にも實驗されて其效果の確實な事を立證され、日本は元より米國、英國、佛國等の專賣特許にもなつて居ります。近來いろ／＼な肝油製劑が出て選擇に迷はせるので、やはり何と云つても河合博士のミツワ肝油ドロップスが一番安心確實である事を、御注意申上げて置きます。

皮膚病の新しい療法

近來獨逸の治療界では、子供によくできる濕疹、くさ、トビヒ等のおできは、多くは榮養不良でヴィタミンDが不足する爲に起るのであるから、根本の原因を考へないで、たゞ表面から癒さうとしても中々癒らぬ、之は亞鉛華硼酸軟膏などで患部を包み、同時にヴィタミンD劑を内服させれば早く癒ると云ふ説があつて、新しい療法として試みられて居る。

肝油は日本が世界一

十五滴で効く肝油　幼兒なら一二滴で充分

元來、肝油は世界でノールウエーが第一とされて居たのでありますが、今では日本の肝油が品質に於て世界第一位を占むるに至つたのは何と愉快ではありませんか。左に世界各國の肝油のヴィタミンA濃度を比較しますと（比色數）

國	比色數
米國品	七、〇
英國品	三、〇
ノールウエー	三、七
佛國品	七、〇
獨逸品	三、五
日本品平均	二〇〇、〇

右の通り日本品は外國品に比べて數倍の効力があるのですが、

特に

河合藥學博士の發明されたミツワ濃厚肝油はヴィタミンAが二〇〇、〇以上も含まれ、歐米の稀薄な肝油に比べると實に五十倍の強度に一定し、ヴィタミンDも之に伴つて極めて多量で、一般の肝油の標準から見れば遙に高い域に飛えて居るのであります。然し濃厚と云つても油が濃い譯ではないので、油は純粹な肝油そのまゝでヴィタミンAとDだけが多くなつて居るのであります。之は誠に

有益

な發明として十幾つの專賣特許を得て居りますが、右の樣にヴィタミンが多いから外の肝油のやうに一回に五グラムも十グラムも飲む必要は無いので、その十分の一、即ち、〇、五グラム（十五滴）か一グラムでよく、幼兒なら一滴か二滴を母親の乳首に塗つて與へれば充分に効果があるのですから、何な人でも平氣で飲み、量が少いから胃腸もこわさず、ゲップも出ず、下痢も起さぬ理想的の肝油であります。此濃厚肝油を用ひて作つたのが前に述べたミツワ肝油ドロップスで、弱い子供が強くなつた事實、一年に二貫目肥つた實例、白髪が黒くなつた實例などもあると云ふ事で、多くの醫師も推奨して居ります。

河合博士發明のミツワ肝油ドロップスは、五十顆入壹圓貳拾錢、百二十顆入貳圓貳拾錢、三百顆入四圓五拾錢、またミツワ濃厚肝油は百グラム壹圓貳拾錢で、丸見屋商店から發賣され、全國藥店百貨店で販賣して居りますが、萬一品切れの節は直接丸見屋に注文すれば送料本舗負擔で直に發送されます。

◎肝油ドロップス（文献説明書及び見本品）
◎濃厚肝油（文献説明書）
新聞名を記し御申込次第送呈
東京市日本橋區米澤町　丸見屋商店・藥品
◎ミツワ石鹸本舗

小兒の結核

早く治せば却つて免疫性になる

醫學博士　田村均

結核に罹り易い小兒の體質は、一般に痩形で、首は細く長く、胸は扁平で、厚味が足りず、或は鳩胸であつたり、これと反對の漏斗狀であつたり、胸圍が狹く、皮膚はザラザラして毛深く、顏色蒼白く頬にだけ赤味があつたりするのは結核に侵され易い體質で、醫者の言葉ではこれを無力性體質といひ、こんな體質の小兒は成人後によく胃の下垂症を起したり、その他總ての組織に緊張力が不足して居るものである。右のやうな體質の小兒は勿論丈夫な小兒でも麻疹百日咳等の後や、流感その他重病後の衰弱期には特に結核の豫防に留意しなければならぬ。小兒結核の治療法を簡單に述べるならば、一、榮養をよくすること。食物は片寄らぬやう、不消化物を避け滋養に富んだものを規則正しく與へること。榮養劑としては種々あるが、肝油は最も宜しく、殊に肝油ドロップスは自分の經驗上最も好適のものと思ふ。（中略）榮養劑は如何に學理的のものでも、これを小兒に持續して用ひ得ないものでは、實際上の役に立たない。この意味で肝油製劑中、幼兒には肝油ドロップスが最も適してゐる。（東京日日新聞（家庭欄）拔萃）

滿洲日報

滿洲問題の滿足な解決と東洋平和維持の方途

たゞ滿洲國の承認あるのみ

聯盟提出の我陳述書

【東京二十六日發】國際聯盟に提出した帝國政府の陳述書は二十六日、東京並にジュネーヴにおいて同時に公表されたが、全文二十數ページにわたる長文で、その要旨左の如し

第一部　日本の國際聯盟との協力

日本は聯盟の發達成功に對し十四年に亘り協力を與へ來れり、日支紛爭は支那の要求に依り聯盟理事會の審議に附せられたが日本の行動は支那側の攻擊に對する自衛のため餘儀なくせしめられたに過ぎず、聯盟と我方との見解の相違は聯盟が極東の事態に對し理解を缺如せるため生じたるものなり、日本は支那の現狀を諒解するやう調查委員會の派遣方を提議せり、然し委員會の報告書は眞相を傳ふるに足るものとなし得ざる憾み多かりき、よつて日本は昨年十一月十八日報告書に對する意見書を聯盟に提出したり、その後日本の同意無く任命したる十九國委員會は規約十五條三項により和協に關する決議及び理由書を起草せり、右に對し日本は滿洲に於ける現政權の維持及び承認を解決と認め難しとなす點全部の削除を要求せり、一方日本は聯盟との妥協點を發見するため最後まで折衝を續け種々提案せるも遂に何等の効無かりき、斯くて十九國委員會は第三項による和協を不可能とし第四項に依る報告書を起草し二月二十四日日本の反對投票に拘らず總會に於て右報告書を採擇せられたり

第二部　報告書の誤謬

報告書は紛爭の事實をリットン報告書を基礎とせるは遺憾なり報告書は九月十八日事件以後に於ける支那の對日ボイコットは報復手段の範圍に屬する事に同意し居るも右は支那に利害關係を有する各國に對し將來紛糾の種を播くものなり、又報告書は九月十八日事件は日本が自衛のための行動と認むるを得ずとなせり、日本政府は支那のボイコットが報復の部類に入るものなりとの報告書の結論を否認す、報告書は滿洲國の獨立が自發的のものにあらずとせるも右は調查委員會報告書の誤れる結論を採用せるものなり

第三部　實行不可能なる勸告

一、支那の如き全く變則なる事態に聯盟規約、パリ條約處理の基準としてその原則を適用するに當りては或程度の伸縮性を與ふる事必要なり

二、報告書は日本軍隊の撤收を勸告し居るが**日本軍隊の駐在は何等法的原則と矛盾するものにあらず**日本軍隊は日滿議定書に基き滿洲國內に於ける治安維持の任に當るべき責任を有するものなり

三、滿洲の主權が支那に屬する旨を述べてゐるが**滿洲は一九一六年以後は嘗て支那の權力に服したることなし**

四、(略す)

五、**交涉委員會設置の件は**滿洲問題に對し**如何なる第三者の介入もこれを許さずと爲す日本の主張に相反する**ものとして斯くの如き提案を**受諾する事絕對に不可能**なり

第四部　結論

日本政府は九、一八事件及其後に於ける日本軍隊の行動は何れも自衛手段としての範圍を脫せざる事及滿洲國は滿洲住民の自發的意思に基き成立せしことを確信す、從つて日本政府はその軍隊の行動も、また日滿議定書の締結も、また聯盟規約九國條約、パリ條約又は其他の如何なる國際條約をも侵害せざるものと思考す、滿洲國は迅速なる發達を遂げ外國人及滿洲國住民は一樣に利益を受け居れり、右は滿洲國の承認を以つて滿洲問題の滿足なる解決並に東洋に於ける平和維持の唯一の方途なりとする日本の主張が誤り居らざることを示す具體的證據なり

正に絕緣狀

わが陳述書の五點

【東京二十六日發】二十六日外務省より公表された帝國の陳述書は聯盟側の報告書を逐一粉碎するを目的とし同時に聯盟に對する絕緣狀を意味するもので、右により特に强調された左記五點は聯盟脫退理由を暗示せるものとして重視されてゐる

一、聯盟は滿洲國が迅速な發展を示し其の承認が東洋平和維持の唯一の方途なりとする我主張の具體的證據が眼前に展開しつゝあるに拘らず抽象法則の用語を一層重視せること

二、日滿議定書は規約廿一條の地方的諒解として承認さるべき性質のものなるに拘らず聯盟は之を聯盟規約に違反し獲得した協定と看做してゐること

三、聯盟の最大關心たる支那の共產化の危險に對し滿洲國は唯一の墻壁なる事實に聯盟は一顧だも與へ居らぬこと

四、國家の承認なる主權行爲に對し總會が聯盟國非聯盟國を拘束する如き提案を爲すは越權的行爲で斷じて許さるべきでない

五、聯盟は米國オブザーバー問題を手續き問題として多數決で決定したが日本は之を規約違反と確信す、聯盟が斯る決定を依然正當とするに於ては日本は聯盟を誤解し誤つて規約に批難したるものと認めるを得ざること

聯盟の結論に對し全般的に協調

米が發した覺書內容

【ワシントン二十五日發】米國務長官スチムソン氏が次期長官たるコーデル・ハル氏と打合せ聯盟宛發送した覺書左の如し

米國は聯盟が日本及び支那に對し紛爭の平和的解決のためその政策を一致せしめん事を求めたる訴への中に含まれたる結論に對し全般的に協調するものである、アメリカと聯盟は滿洲國不承認に關し共通の立場にあり、ドラモンド氏の勸說に對しては米政府は日支兩國間に進展した形勢に於て聯盟が可決した報告書中に表明された意見と全く同感なり、我等共同の目的は國際紛爭を平和手段に依り解決し平和を維持するにありアメリカは平和に對する聯盟の努力に對してはこれを援助すべく努力し來つた聯盟は日支兩國紛爭解決の原則を勸告したが米政府はその締結せる諸條約の下に適當なる限り右に對し全般的賛書を與ふるものである、米政府は永年善隣の關係にあつた日支兩國が今や明確に表明された世界輿論に鑑み國際紛爭を平和手段以外何物に依つても解決さる可らずとの國際團體の要求と希望にその政策を合致せしめん事を熱心に希望して止まない

山海關の上空に支那軍飛機出沒

人心漸く動搖の色

【山海關二十六日發】支那側は優秀なる飛行機數十臺をもつて山海關熱河方面の擾亂を策してゐるが二十五日山海關の遙か上空に得體の知れぬ軍用飛行機が時を定めず飛行しつゝある事實をみるも支那軍空軍力は決して侮り難きものあり山海關の人心は支那軍隊一線の緊張と軍用飛行機の飛來で動搖の色あり、我軍は萬一に備へ若し支那軍にして挑戰的に出づるに於ては直ちに支那軍の本據地に接近し且つ堅固なる直に出動これに對抗し得るやう嚴重警戒中である、因に我飛行機は從來偵察飛行をなせるが決して國境を越える事なく今のところ關內敵兵の實情は察知し難く山海關の防空には一方ならぬ苦心が拂はれてゐる

鐵路を破壞して陣地を構築

躍起の山海關支那軍

【山海關二十六日發】昨今支那紙は平津地方に於て日本の大軍が〇〇、〇〇方面に集結中と誇大に傳へられ灤州附近駐屯の支那軍の動靜頗る活氣を呈し來れる由なるが今日迄のところ山海關方面石河を隔てゝ兩軍對峙し居る附近で支那側に於て惡戲的挑戰を試み來れる外依然として變化なし、只鐵道方面の消息によれば石河右岸より秦皇島、長城鐵道交叉點まで約十五キロに亙り鐵道枕木、軌條等取はづされてゐる、枕木其他の鐵道材料は全部陣地構築に當てられクロス地點は念入りにも麻繩を以て完全に閉鎖されてゐる

山海關西方支那軍緊張

【山海關二十六日發】山海關西方に駐屯する支那軍は二十六日朝來非常な緊張を呈しつゝあり今朝十時記者(辻騎馬通特派員)が六三寺に登つて西方を眺めたるに支那軍の第一線は昨日に比し兵力增大

張作相愈よ承德へ

【北平二十六日發】熱河の戰漸く擴大し兩軍の衝突愈々本舞臺に移らんとしつゝあり、學良は二十五日夜緊急將領會議を開き各將領に

五千の敵正規軍

灤州から界嶺口に移動

【奉天電話】丁喜春指揮の學良正規軍第一〇八師は十九日以來北平より臨時列車にて灤州に移動されつゝあつたが、二十五日より長城線の界嶺口に向け移動しつゝありこの正規軍は兵力五千餘、砲數十門を有する有力部隊である、これは熱河にある反軍が交代の場合省城の線によつて防禦するものとして重大視されてゐる

山西軍既に增援準備

【奉天電話】山西軍は平漢、北平綏線に列車を準備し何時でも增援の出來るやうに用意してゐると

張學良直系軍熱河へ增援

【奉天電話】北平にありし張學良直系の第百八師は二月十九日以來灤州附近に移動せるも二十三日界嶺口を經て熱河に歸りつゝあるが熱河における反滿軍の增援と見られてゐる

學良の飛行機出動準備

【錦州二十六日發】我〇〇隊の〇〇機が齎した情報によれば張學良の幕下に待機中の飛行機數は北平南苑飛行場に戰鬪機三、偵察機一、練習機戰鬪機五、北平郊外清華鎭に學生練習機二、米國製戰鬪機四、佛國製戰鬪機二、乘用機一、偵察機一、また海陽鎭に練習機、永平飛行場に戰鬪機と偵察機と取混ぜ十二機あり何れも出動準備中であるとの情報に接した、我〇〇隊は敵飛行機が何時現れて來るやも知れずと緊張を呈し若し現れた場合には一機殘らず射ち落してくれんと腕を撫してその時を待つてゐる

怨嗟の聲

熱河省に漲る　蕫將軍玉麟

【錦州二十六日發】苛斂誅求多年熱河全省民の骨の骨までしやぶり盡した湯玉麟に對する怨嗟の聲は今や全熱河の山野に滿ちみち最近質朴な熱河民衆の間にこんな民謠が非常な勢ひで流行してゐる

早去一天、天睜眼
晚去一天、地無皮

苦惱の態

張學良頗る

馮玉祥相手にならず

【山海關二十六日發】張學良は馮玉祥が張家口にありて熱河問題に關して馬耳東風を極め込んでゐるに業をにやし使を以て屢々其の出馬方を懇請しつゝあるが、當の馮玉祥は依然として動かず却て熱河は勿論退却だが山海關の奪回は一體どうなつてゐるのか、目前の山海關を拋棄して熱河問題をいくら騷いでも國民の意思を鼓舞することは出來ないと皮肉を並べてゐる、萬一の場合は平漢線も行詰つて居り今又唯一の退路なる平綏線には馮玉祥の頑張るあり進退の學良も昨今頗る苦惱の態である

馮占海匪軍の最後も近し

日滿軍の疾風的前進により留守居の部下大狼狽

【新京電話】關東軍司令部發表＝疾風迅雷的の皇軍の進出により嘗て一大勢力をなしてゐた馮占海匪軍も頭目馮の不在中の事とて早くも總崩れにならんとする形勢を示すに至つた馮占海は一萬有餘の部下を有し興隆地一帶の地方に蟠居し匪軍中の一勢力を形成してゐるので學良もこれに多大の期待をかけ軍費、軍需品の補給等相當の財力を擁つてゐた、馮占海は過般張學良が宋子文、張作相を引具して湯玉麟の所に來た時を利用して親しく指令を受けるため承德に行つたその不在中偶々日滿兩軍が疾風の勢ひを以て開魯、朝陽に進出したために歸路を遮斷されるに至つた狼狽したのは殘された部下で突然頭目を失つた上に周圍の匪軍が續々として滿洲國に歸順するので早く逃げ腰となつてゐるから名題の馮占海匪軍の最後も見越しがついたわけである、又湯玉麟も最近關內の變化に退却準備を始めたといふことである

朝陽南方退却の敵匪を爆擊

徹底的打擊を與ふ

【新京電話】二十六日午前十時關東軍司令部發表＝朝陽に向へる鈴木部隊及び松田部隊は二十四日大白咬、石門子溝附近(朝陽東方約十キロ)の既設陣地に據り敵を擊退し二十五日午前十一時ごろその先遣隊を以て朝陽に進入せり、また同時刻飛行隊は朝陽南方約十二キロ馬飲池營子附近を建平方向に退却中約二千の敵に對し爆擊を加へ徹底的打擊を與へた

わが米山先遣隊熱河街道を北進す

勇名轟く古强者

【綏中二十六日發】行動開始の命令に接した服部部隊はいよいよ二十六日午前八時三十分決河の勢ひで進擊を開始した、東邊道討伐、滿洲里占領等に勇名を轟かせた古强者揃ひの服部部隊だけに全軍將兵の意氣正に天を衝くの慨がある

【綏中二十六日發】行動を開始した服部部隊の榮ある先鋒を承つた米山先遣隊は〇〇臺の軍用自動車に分乘、敵が難攻不落と恃む天然の要害〇〇〇〇を一氣に突破すべく轟々たるエンジンの音を寒空に響かせながら綏中熱河街道を一路北進する、時に二十六日午前八時三十分、先頭の自動車には米山先遣隊長と並んで滿洲里一番乘りの殊勳者矢崎鬼參謀のごつしりした巨軀が見える、記者が「又今度もうんとやつて下さい」といへば「うん見てゐて呉れ、ウンとやるよ」とニツコリほゝ笑みながら自信に滿ちた眼を光らせる、米山先遣隊も必ず目覺しい働きをするに相違ない、行く手には雲霞の如き鄭桂林軍及精銳を誇る孫德荃軍が天嶮に據つて日本軍いざこい來れと頑張つてゐる

壯烈な遭遇戰展開

【綏中二十六日發】午前七時半綏中を出發した服部部隊の米山先遣部隊は午前九時半〇〇〇〇〇においての有力部隊に遭遇壯烈なる遭遇戰を展開目下激戰中

我空軍掩護

【綏中二十六日發】〇〇〇〇〇

第〇〇團朝陽入城

【奉天電話】第〇〇團は二十六日午後一時久しく駐屯してゐた錦州を出發朝陽に威風堂々入城したと

朝陽市內警戒

入城の鈴木部隊

【朝陽二十六日發】朝陽に入城せる鈴木部隊は直に市內の警備につくと共に敵匪の動靜を凝視しつゝ極めて冷靜なる待機の姿を執つてゐる

茂木先遣部隊カツタイラ占領

【開魯二十六日發】當方面より西進中の茂木部隊は昨二十五日正午ハンガアイラスを通過して前進中である、本部隊の先遣隊は逃げ遲れた六、七百の匪軍を追擊して今日午後四時半カツタイラを占領した、なほその他の友軍も續々進軍中である

白雪を點々紅に染む

朝陽附近の戰鬪

【錦州特電二十六日發】第〇團發表＝鈴木部隊は二十五日拂曉正面の敵を驅逐した、この戰鬪は李家口北方高地より其の南方大凌河より南岸高地に亘る線に展開し、敵の主力陣地を攻擊した、井上部隊の主力は二十五日早朝より桃花園東方地區に集結中の敵匪を包圍攻擊しこれを追擊しつゝ朝陽西方の地區に迫つた、一方橋本部隊は蟒牛營子を二十五日拂曉出發、早川田中、三宅三部隊の戰鬪員に協力し主力をもつて分頭營子附近の陣地を占領し、早川部隊と協力しつゝ前進中である、三宅部隊は鳳凰山南方地方より敵の主力を攻擊し敵を壓迫しつゝあり、二十四日以來の戰鬪における我損害は前川大尉戰傷、下士以下七名負傷、田中部隊負傷下士以下五名砲兵下士一名であつた

秦皇島の邦人引揚げ

【山海關二十六日發】秦皇島在留邦人は事件突發以來職を失ひ其の日の生計おぼつかなき狀態にあるが更に最近熱河討伐開始さるゝに至つてその困窮益々甚だしく在留民は協議の結果一時北平及び天津方面に引揚げに決した

【山海關二十六日發】既報の北平天津地方に引揚げのやむなきに至つた秦皇島在留民は同方面への船便を待つてゐたが、二十六日山海關から船便を得たので、これに乘り同日午後當地に到着の豫定

この統帥者にしてこの軍隊

熱河の反滿軍討伐と河北政權

宋子文は十一日北平に到着以來張學良を激勵し積極的抗日を行はしむるために東北熱河後援協會を組織し義勇軍に供給するために平津銀行家を召集して一千萬元の公債受諾を强要し一面英米公使を籠絡して日本の熱河土匪討伐を牽制せしむる策動をなす等、八面六臂の手腕を揮ひ、抗日に大なる役割を演じ、最後に自身並に張學良、張作相、朱慶瀾一行の熱河入りまで漕ぎつけ、そして十八日附で張學良、張作相、湯玉麟、馮占海、孫殿英等二十七名連名して「率師自衛」の通電を發して、滿洲國に反抗を表明した

×

張學良は河北保全に極度の執着を有するところから熱河に對してはその成算なきに鑑み、自己がその責に任ずることを極力回避し「中國をして戰を轉じて强さなさんとするには唯一戰あるのみ、但しこの重大責任は軍人のみでは無く、政府と人民が聯絡して共同進行するを必要とする、上海より來た諸君は經驗の組織と方法とを以て援助と指導を與へられんことを希望す」と共同責任を高調して通辯をもうけてゐる、そして宋子文からやうやく熱河に赴き、又通電にも勢ひ連署せざるを得なかつたが直系の王樹常、于學忠等を除いた熱河義勇軍はその數十五萬の多きを數へるが、全く烏合の衆に過ぎず、義勇軍の將領湯玉麟、馮占海、孫殿英、沈克、馮庸、劉桂堂(既に滿洲國に歸順)丁錦鑌、劉月庭、邢占清、崔新五、張從雲、黃顯聲、劉香九、害春、石文華、孫德荃、于兆麟、王永盛、陳貫流等で鶏鳴狗盜の雄に過さない

そして、その間何等の統一なく、將領間に意思の疏通無く、隨意行動をなしてゐるから張作相を棟梁に仰いで辛うじて統一を保たせんとするのである

×

張學良として成算ある答なく、幸にして成れば固より我河山を復し、莫大の恥辱を雪ぎ得る、若し不幸にして成らざるも亦我軍の譽を振興し民族の精神を發揚し得ると通電し自ら成らざるを豫期してゐる、統帥者が斯かる爲體であるから、その軍隊たるや思ひ半ばに過ぎるものがあらう、一度皇軍の掃蕩にあへば疾風に捲かるゝ枯葉の如く一たまりもなく崩潰する運命にある

×

しかしながら、彼等は十九路軍の上海における以上に抵抗と犧牲を誇張して「民族解放」を宣揚するところだけは間違ひなく、そこへ一條の活路を見出さんとするであらう。茲に注意すべきは陸海空軍總司令たる蔣介石の態度で、彼は南昌に納まつて、北方局面に風馬牛の風を裝ひ、之に對して文官たる宋子文が北方で抗日の采配をふるひ「蔣は安內に、宋は攘外」の任務を遂行するさ、支那側が傳へつゝあることである。蔣は日本と直面するを避け、熱河問題發生後首鼠兩端的態度を取るに便ならしめるものであらう

×

そして熱河掃蕩後の河北における張學良の運命については種々の觀測が下されてゐる

(A)張學良の勢力は熱河義勇軍の掃蕩を以て終焉とする、彼の軍隊は潰滅するから勢ひ彼は亡命の他無い

(B)直屬軍を全うして保定の線か綏遠へ退却する

(C)彼は直屬軍を全うして飽くまで平津の地盤を固守せんとする等々であつて、張學良勢力の潰滅を前提として河北政權の推移には

(A)河北は蔣介石の手に歸する、何應欽或はその他の直系將領が河北を接收する

(B)馮玉祥、宋哲元等舊西北系か或はそれが熱河よりの敗軍を糾合して接收する

(C)閻錫山を主體とする山西系の手に歸する

(D)段祺瑞を首班とする北洋系勢力が蔣介石と合流して善後措置に當る

の何れかに歸着するであらう

×

たゞ張學良としてはその直系軍を維持して今日の如く蔣介石と合流し、その實力の堪へ得る限り河北地盤維持に執着するであらう。北寧線に退くにしても、せいぜい平綏沿線では二ケ師の兵しか養ひ得ぬ、しかも今日山西系軍が其處に頑張つてゐる。河南は劉峙が地盤を固守し保定以南へ近寄せんとしないであらう。八方塞がりであるから政權を維持せんとせば軍ひ平津に據る以外方法は無いから

×

今日熱河省內に入つた張學良の直屬軍隊は四ケ旅であるが、彼等は皇軍の進出とともに戰はずして原駐地に引揚げる計畫であり、熱河長城近くにある軍隊は勿論日本軍との接觸を恐れ回避するであらうし、平津方面にある王樹常、于學忠の軍隊は平津以外に移動を欲してゐないから結局熱河には雜軍のみ押込んだ形である。熱河からの多數の敗殘軍が平津方面撤退の狀態如何？同時に反蔣張派の合流如何で平津方面局面變化のファクターとなる事も考へられる。そして戰爭に際し局面は意外のところから破綻を生ずるから學良がその執着するが如く平津に依然蟠踞し得るか否か、しばらく局面の推移を觀察する必要がある(北平にて風間特派員發)

す、又腺病質な弱いお子様には小兒の強壯薬として有名な「宇津救命丸」などを與へて榮養をよくし、からだを強くして置くことが何よりと思はれます。

宇津救命丸は皆様御承知の通り昔から有名な子育て薬でカン、ムシケ、チエネツ、ヒキツケ、百日咳、胎毒、消化不良による青便等にすぐれたキヽメがあり、特にからだの弱い子供を丈夫にし、抵抗力を強め、呼吸器官を健全にする薬として有名です。小粒でのみ易く、小兒薬として理想に近いものでございます。

育兒のメモ

□總じて子供はあまり可愛がりすぎて我儘に育てゝも、さうかと言つても嚴重すぎてもいけません。殊に神經質の子供は多くは體質も虚弱ですから、その手加減が餘程大事だと思はれます。

□俗に疳が強くてムシの起り易い子供は神經質ですから、成べく刺戟を與へないやうにすることです、又一般の家庭で最も楽しい食事の時に叱言を仰言る御主人がありますが、あれは榮養上からばかりでなく幼兒の神經を尖らせますから甚だよくない事で氣持よく食事をさせることが必要です。

□又常々子供の顔色に注意してやることも肝心です。

□丸々と肥つてゐても血色のわるい子供はどこか身體に悪い部分があるものですから、時々「宇津救命丸」のやうな小兒強壯薬を與へて、體質を改造してやるべきです。

□「宇津救命丸」は和漢薬の粋を集めた優秀な小兒薬で、その主治効能はカン、ムシケ、智恵熱、胎毒、百日咳、メマヒ、ヒキツケ、消化不良による青便、虚弱小兒の強健化等に優れた効目があります。

赤ちゃんの健やかな生育とより健康が望まるるお母様の忘れてならぬ子育て薬として評判を頂いて居ります。

可愛い幼兒の生命を蝕むヂフテリヤが年を逐ふて増加して參ります。昭和元年には東京市内で罹病千四百名死亡者四百名内外に過ぎなかつたのが、昨年度は約三倍の四千名以上に達し、然もその症状も漸次惡性となり死亡率も非常に増進して居ります。

一月から四月頃がもつとも多いのですが、今年も又早くもヂフテリヤ蔓延の兆が現れ、昨今かなり重症なものが流行して居ります。罹病者も昨年より一層多數に上つてゐるのは寒心すべきことです。

この重症なのは單にヂフテリヤ菌が傳染するばかりでなく連鎖状球菌が混合して來るのですから油斷がなりません。又ヂフテリヤが治つてもそのヂフテリヤ菌の毒素のために心臓を冒され、一寸したショックを受けただけで斃れて仕舞ふことがあります、一二歳の赤ちゃんから六歳位迄のお子様をお持ちになるお母様には恐ろしい敵です。

チフテリヤの症状は初期には三十八度位の熱が出て次第に四十度位に上り、身體がだるく、食慾が進まず、咽喉が痛みます。次いで扁桃腺が赤く腫れ、白い斑點又は線状のものが見えて、これが後に厚い義膜となります。これが咽頭「ヂフテリヤ」の大體の經過であります。

かうした怖ろしいヂフテリヤに愛兒が脅かされぬ用心には、まづ身體を平常から丈夫にして置くことが第一です。お天氣のよい時にはなるべく日光に當らせ、適當な運動をさせること、皮膚を丈夫にするために、乾いたタオルで毎朝起きた時に摩擦してやることも大變よろしいのであります。

小兒の命取り　痛ましい百日咳

◇手當と豫防法について

嚴寒から早春にかけて乳幼兒を冒すもつとも悲惨な病氣は百日咳でありませう。毎年一月から二月三月は百日咳の最も旺盛を極める時であります、一度この病氣に罹ると經過が長く、その苦しさは側の見る眼も痛々しく、殊に夜になつてからひどく咳が出るので睡眠不足になり勝です、かうして次第に衰弱して悲惨な結果を見ることも少くありません、百日咳は恐ろしい小兒の命取りです。

百日咳はホルデー・ジャング氏が發見した百日咳菌から起るものです生後第一日からでも罹ることがあり七八歳以上になると餘り冒されません、潜伏期には何の異状もなく、カタル期になると日に二三回の咳をします。段々咳の數が殖え、また強くなります、しかしまだこの時は熱もなく普通の氣管支カタルと間違へる位ですが、日を経るに従つて咳は夜分に多く出るやうになり、なほ咳の性質がコン／＼と長く續き同時に顔を赤くするやうになります此時は最早疑ひなく百日咳の痙咳期に入るものと見なければなりません。

「こ」のやうな咳を十日も續けてゐる間に一種獨特の咳の發作が起ります。その發作の有様はたてつづけに出る咳で、その間は殆ど呼氣、即ちつく息のみで、吸氣、即ちひく息がないのですから小兒の苦しみは想像以上です。顔や頸は全く暗赤色に口唇は紫色になり、目からは涙が流れ、食物を吐いたりします。

今すぐにでも息をひき取るのかとハラハラしてゐる中に、咳がすむと平氣な顔をしてゐるのです。

以上の如き發作が二三週間もつゞいて輕快期に入ります。段々咳も減つて來ますが、この時です、恐ろしい餘病を併發するのは――特に體質の弱いものや榮養不良の小兒は百日咳で身體の抵抗力がスッカリなくなりますから、其處につけ込んでカタル性肺炎や小兒結核が起るのです。

「こ」のやうに百日咳は小兒を苦しめ、又親達の心を苦しめるものですが、未だこの病氣に百パーセントの特效薬はありません。只家庭で治療するには昔から有名な小兒薬として宇津救命丸などが多く用ひられて居ります。

この薬は小兒の神經興奮を鎭めて、咳の發作を少くする效果があり、榮養になりますから、身體の抵抗力の減退を防ぐ作用があります、しかしもつと有效な方法はかういふ優秀な保育薬を常に與へて小兒を丈夫にし百日咳などに罹らぬ用心をするに如くはないのです、又さうした豫防的な意味で用ひるなら、宇津救命丸などは最もすぐれたキキメを見せる譯であります。

（宇津救命丸は定價二拾錢、三拾錢、五拾錢、一圓、二圓、三圓、五圓その他で藥店デパートでお求め下さい）

お母さまへの福音

わが子を健かに賢く育てることは母に課せられた大きな責務です。この責務を完全に果す爲には正しい育兒の智識が必要です。さうした育兒の正しい智識と愛兒の發育の状態の記録を兼ねた母の相談相手があつたらどのやうに便利でせう。さういふ意味で編輯されたのがこの「育兒日記」です、この日記は赤ちゃんの生れた時いつからでもつけられる新形式の日記です。お子様のあるご家庭や最近赤ちゃんの生れるお母様には無二の育兒羅針盤でしやう。

（この日記は宇津救命丸一圓以上お買上げになつた方にだけ薬店から無代で差上げることになつて居ります）

滿日各地版

綏東王府の蒙古王 赤峰進撃を願出づ 部下一千名を率ゐて

【奉天】開魯に入城した第〇團の先遣部隊騎兵は豫定の方向に進撃中であるが、蒙古各府の王族は皇軍の勇姿を認めていづれも歡喜してゐる、蒙古民族が舊軍閥から眞に解放される秋が來たと喜び、綏東王府の蒙古王は部下一千を率ゐて赤峰進撃の先陣たることを願出た、今や成吉思汗來久しく漢民族のために壓迫されてゐた彼等は王道主義の滿洲國家實現に苟安の夢から覺めた、既に〇〇〇名の蒙古軍は赤峰に向け進發したと

阿片暴騰 熱河動亂で

【撫順】當地滿人間に愛用されてゐる阿片は西土を初め東土及關東廳專賣局の紅皮子土等各種あるが最近は吸食者增加せる一方熱河の動亂で西土の大手筋密輸入が杜絶したため、俄然相場暴騰し先頭までは一兩(十匁)三、四圓程度であつたのが昨今は七、八圓臺に上り恐慌をきたへてゐる

滿洲國教育行政に力を注ぐ

【奉天】奉天省教育廳では各縣の縣立學校は縣教育局にて直轄せしめ省立は教育廳が統轄するが主として教育行政に力を注ぐことになつた、尚ほ日滿教育者代表會議には教育體系とその方針に關する意見を提案するため目下起案中である

通化縣民の建國記念日催し 大に王道政治に謳歌

【奉天】反滿抗日軍の根據地であつた通化もその後全く治安維持回復し縣民は王道政治を謳歌してゐるが來る三月一日の建國記念日は左の如き催しを盛大に擧行すると

一、縣下各民家にある青天白日旗を押收し官民環視の下に燒却式を行ふ
二、午前十時より縣公署に於て各機關各校聯合して擧式
三、旗行列
四、各戸に國旗掲揚
五、各門縣公署前庭電燈裝飾を設備
六、旗行列に參加せる兒童に菓子を與ふ
七、祝賀宴開催

尚記念事業として通化、奉天間の航空路開設の諸願書を提出すること縣道路中の幹線を修造することになつた

建國記念に日語學校開設

【奉天】滿洲國協和會通化辦事處では建國一周年記念日の三月一日建國精神普及並に記念祝賀の傳單及びパンフレットを配布し日語學校生徒を旗行列に參加せしめ、第二日目には慶祝式典に參加した村長を招待し座談會を開き國際聯盟等に對する要求を聞き新國家について講演をなす事になつてゐる尚當日は元唐聚五の指揮下にあつた遼寧民衆自衛軍婦人宣傳隊長張首賢女史を隊長として婦人宣傳隊二班を組織し一日から三日間街頭講演をなさしめる事になつてゐる因にこの建國記念事業として二十五日日語學校を開設したと

小匪賊を撃退

【鐵嶺】二十三日午前七時半頃開原縣城西方三十支里第五區八寶屯において滿人劉某は長銃携帶十二人組の匪賊に襲はれ馬三頭を強奪されたが、急報により同地自警團は非常召集を行ひ賊團を追跡昌圖縣境に於て發見交戰一時間の後撃退したが、調査の結果右賊團は昌圖縣第二區自警團長馬子耀を首領とする一味なる事判明し、開原自警團は馬の實弟子良を逮捕縣城に押送取調べ中である

建國一周年を前に各種宣傳物の發送に忙しい滿洲國協和會

奉中卒業式 廿五日に擧行

【奉天】奉天中學校第十回卒業證書授與式は二十五日午前十時から同校講堂に於て擧行されたが來賓として粟野地方事務所長、總領事代理、天谷守備隊長、增田憲兵隊長、鈴木中佐、石田地方委員議長、閻奉天市長、韋教育廳長、黄省長代理、各學校長その他多數父兄の出席があり着席、一同敬禮、勅語捧讀後、卒業生八十四名に對し卒業證書並に優等生、皆勤者等に夫々賞品賞状が授與され名和校長の式辭が終つて粟野所長は滿鐵總裁の告辭を代讀し、來賓總領事代理天谷守備隊長、閻奉天市長等の祝辭があり向坊隆君は在校生總代として送辭を又山上丈夫君は卒業生總代として答辭を朗讀し山上氏の卒業生父兄總代の挨拶に次ぎ校歌を合唱して正午頃終了したなほ當日賞品賞状を受けたものは左の通りである

品行方正學術優等につき總裁賞を受けたもの山上丈夫、總領事賞を受けたる竹本益重、學校長賞を受けたもの山上丈夫、竹本益重、布施志乃夫、藤岡小太郎、武田勝治、朴英秀、柴田英三、學業の進歩顯著なるを以て褒賞を受けたもの小島三郎、光井雄、加藤博美、日野傳三郎、秋永滿、五ケ年間皆勤を以て褒賞を受けたもの百崎健太郎、級長功勞賞状を受けたる竹本益重

小學生を先生に滿洲國歌を練習 日系官吏は何回もやり直し 國務院官吏が退廳後

【新京】鄭總理の力作になる滿洲國國歌が愈々作曲成り政府は之が普及に努め既に二十萬枚の印刷物を全國各地の官廳、學校、音樂會、會社及日本軍樂隊等に發送し各方面で練習されて居るが、國務院では來る三月一日迄には全官吏に覺え込ませる様二十五日から向ふ三日間退廳直後國務院會議室に全員集合し、公學校からオルガンを借入れ音樂教員や早くも覺え込んだ公學校生徒の來院を求め小さな生徒を先生に(天地内有了新滿洲)と猛練習を開始した、曲は明るい如何にも新興國歌らしい感じのものであつて滿洲人諸君は大喜び、さすがに言葉はお國のものだけに進境も亦一段とすばらしい之に反して日系官吏は宇佐美顧問、阪谷廳長、三宅局長等その發音に最も苦しみ小さな先生に何回も何回もやり直しさせられてゐる、皆川秘書處長辨はやらぬ前から完全にカナをふつてゐる何といつても成績の良いのはタイピスト孃で本譜をスラ／＼とよみこなす所取つた杵づか斷然ものをいつてゐる

「非常時日本」の奉天市民大會 二十六日奉中講堂で

【奉天】既電――全國民の血を沸かしめた國際聯盟脱退と非常時日本の現状に勇憤した奉天市民大會は二十六日午後六時から奉天中學校講堂において左記プログラムにより大會を開催した

一、開會の辭、一、君が代合唱、一、座長の推薦、一、座長の挨拶、一、宣言及決議の審議決定其れより帝國萬歳を三唱の後各地よりの代表者の演説會に移る

鐵嶺の一周年記念建國祝賀

【鐵嶺】來る三月一日の滿洲建國第一周年記念祝賀會日本側の行事を確定する爲め、二十五日午後一時より地方事務所樓上に於て時局後援會理事、各機關代表幹部有力者相寄り第二回協議の結果左の如く盛大な祝賀を催すに決定した、尚當日は溥儀執政と武藤長官に祝電を發する筈

△午前九時、滿洲側祝典參列(招待を受けたる者のみ)
△午後零時三十分 鐵嶺神社に集合(官民全般)報賽祭參列
△午後一時 忠魂碑參拜、同一時十分 旗行列出發
(往路)松島町、櫻町、敷島町、大手町、縣政府
(歸路)大手町、五條通、領事館前にて解散
△午後三時 公會堂に日滿官民合同祝賀宴(執行委員石塚領事、縣長)

なほ右の外五條通り松島町角には日滿大國旗を交叉して商店は國旗その他の方法により出來得る限り裝飾すること、旗行列には各戸必ず一人以上參加すること等を申し合せた

北平在留邦人引揚説は無根

【奉天】北平の在住邦人天津引揚げ説に關し右は全然無根なる旨北平公使館より奉天總領事館へ入電があつた

驚くべき殘忍な罪惡の數々 奉天を荒し廻つた十五人組の强窃盗團

【奉天】附屬地から城内外を股にかけて荒してゐた殘忍なる强盜團馬賓金(三九)以下十四名は奉天署の必死的大活動により一網打盡に逮捕されたことは既報の通りであるが引續き取調べの結果、左の如き驚くべき犯行を逐一自白したので身柄は二十五日午後三時滿洲國警務廳に送つた

この一團は更に二、三人づゝ小團を組織し各組それ／＼完全なる連絡を保ち警戒陣を尻目にかけて神出鬼沒してゐた、その巧妙なる手段には驚かされてゐるが彼等は二月六日江ノ島町一番地高子修、二月二日八幡町片桐三郎、一月十五日彌生町村田倫輔方に侵入し拳銃等で脅迫し金品を强奪せる外一月三日青葉町二十番地雜貨商王茂林、一月二十日末廣町附近辻强盜、昨年十一月十九日皇姑屯毛織會社に通ずる道路上で日吉町麥粉商店員同春林を射殺、昨年十月十四日八幡町六番地陸慨折、同夜柳町八番地劉玉民、昨年九月一日信濃町二十一番地鄭德三郎、同四月二十三日稻葉町宇治田宗七、同四月二十一日橘立町田中勘左衛門、同一月二十六日奉天驛構内機關庫詰所、同六月南市場、同十一月三日皇姑屯某糧米舖、本年一月十七日民業市場雜貨店、同一月二十二日郵店、一月十三日皇姑屯雜貨店等に侵入し金品を强奪逃走せる犯行も全部彼等の仕業であることが判明した、この外滿洲國側の犯行を加へると實に五十餘件の多きに達する有様である

靖安遊撃隊に獨立生徒隊

【奉天】靖安遊撃隊では第一軍内に士官候補生日滿人百三十三名を採用して目下教育中なるが來る三月一日更に百名の少年隊員を採用入隊せしめて日本式の軍事教練を施し將來獨立生徒隊を編成すべく計畫中にて生徒隊の兵舎は舊東北講武堂が充てられる筈である

奉山線列車に警乘員

【奉天】奉天省城警察廳では奉山線により學良系の便衣隊潜入の危險あるので二十五日から奉山線旅客列車に數名の警乘員を乘車せしめることにした

鄭垂氏追悼會 執政、扁額を贈り專使を派す

【新京】故鄭垂氏の追悼會は滿洲國航空會社並に各方面の親友の發起に依り二十六日午後二時より西四馬路般若寺内で施行せられた、當日執政は故人の生前の功績殊に建國當時の偉業を認められ賢志入冥の扁額を贈り、又特に專使を會場に派し冥福儀式を以て故人を追悼するの好遇を以てしたが、冥福儀式は最も功勞者たるもののみの特別の儀式にてその專使たる執政府官吏は最初に祭祀を行ひ直に執政府に歸り、旨を執政に報告するを要する等格式重きものにして之は執政が如何ばかり故人の偉業を追念せらるゝの重さ表れである

南滿中學堂卒業式

【奉天】南滿中學堂では二十八日午前十時から卒業證書授與式を擧行するがその式次第は左の如し

一同着席、式辭、學事報告、卒業證書授與、賞品授與、學堂長訓辭、總裁告辭、來賓祝辭、在學生總代送辭、卒業生總代答辭

旅順高公中學部卒業式

【旅順】旅順高等公學校中學部第一回卒業證書授與式は二十五日午前十時から同校講堂に於て擧行、橋本校長からそれ／＼卒業證書並に賞状授與を行ひたるのち一場の訓示を與へ參列の田邊學務課長は長官代理として告辭を述べ、次で來賓より米岡市長、張大連市商會長、關西商會長の祝辭あり、保護者總代、在校生總代の挨拶送辭の後卒業生一同を代表孫德信君の答辭を以て閉會した、今回の卒業生は十九名にて此内優等生は孫德信(金州)王文閣(普蘭店)孫玉藏(瓦房店)孫長津(金州)閻家深(金州)の五君にて卒業生の志望を見ると山口高商一名、名古屋高工一名、就職十名、旅順工大豫科一名、奉天醫大一名、同大學二名、早大鐵道教習所一名、同大學二名、東京商大二名、尚第四學年修了生は六名で、旅順工大へ五名、奉天醫大へ一名入學する

小關、大木兩氏送別宴

【旅順】警察官練習生第二期から專心劍道教士として全滿警察界の恩師である小關教政氏並に多年柔道教士として小關教士と共に滿洲武道界の双璧とうたはれた大木園治氏兩君は今回退職する事となつたが、在旅子弟は二十五日夜新花月において送別宴を催し大木教士に對しては目下病氣引籠り中なので記念品を贈呈の筈であると

養女を虐待 燃える薪木で所嫌はず毆る

【鞍山】鞍山南四番町一丁目七二ノ二農業鄭毅林(四八)は昭和七年一月十八日撫順平康里居住の妾相榮から金六十圓にて次女鄭寶貞(一三)を養女として貰ひ受け、將來は長男義鳳の妻とすべく養育して居たが毅林の妻徐氏(三七)は日頃から邪慳な風評があり、二十一日朝養女寶貞が云ふ事を聽かぬからと無法にも燃えつゝある薪木をもつて泣き叫ぶ養女寶貞の兩足、腓腸部及手、背、親指、人差指等に一錢銅貨大の火傷を負はせる等毎日の如く虐待して居る事實が判明したので、二十四日鄭夫婦を呼出し嚴重說諭する處あつたが今後養女に對し虐待を續行する時は嚴重處分する方針であると

千代田通の三人組强盜

【奉天】去る二十二日夜市内千代田通り十四番地吳服雜貨商老泰豐鮮事許承有方に侵入せる三人組强盜に關しては奉天署に於て嚴探中二十四日午前十一時ごろ北市場鮮人質店興源當方に贓品入質に來た滿人あるを聞きこみ奉天署から時を移さず後藤警部補以下現場に急行し逮捕したが、この奴は河北省生れ寶玉明(二三)と稱し自白により彼の連累者山東省生れ臨祥元(二七)が市内鹽町一番地に潜伏してゐることが判り同日正午頃彼の居所を包圍し顧みる隙も與へず彼に組みつき大格鬪の上逮捕した、嚴重取調べの結果、千代田通りの强盜犯人であることを自白したので引續き餘罪取調中であるが、彼等が强窃盜を働いてゐた贓品及び兇器支那刀二挺も臨祥元方に隱匿してゐたゝめ全部之を押收し引揚げた

興津領事來奉

【奉天】新京の全滿領事館會議に出席し二十四日はさて來奉した通化の興津領事は語る

會議に列した者は間島から滿洲里に到る二十一名のものであるが、今回の會議により關東軍と外務省關係の連絡事務上の統制のみならず吾等に與へられた精神上の圓滿なる關係が一層これによつて徹底するに至るよい結果を齎すことができると思はれた、大使と軍司令官、關東長官の三位一體の實がこれにより一層徹底することになつた、各地領事からは色々の意見も出たが今後は新京の大使を中心として各地出先の領事とが所謂協力一致、事務の連絡と統一をはかる隔意のない討議が行はれたことは實際意義ある會議であつたなほ會議の席上齋藤博士の講演は非常によい參考となつた

鐵嶺卓球大會 五日開催

【鐵嶺】鐵嶺體育協會主催の下に來る三月五日小學校講堂に於て全鐵嶺卓球大會を開催しチーム戰、個人戰の選手參加を歡迎する由、試合方法左の如し

チーム戰 一チーム五名三名勝者を出した組を勝とす
個人戰 全員を數組に分ち其勝者のみのリーグ戰を行ふ
ルール 神宮卓球ルールによる
サーヴ一本、五回ゲーム
會費 一人廿錢(賞品準備費)
試合開始 五日午前十時
申込期限 三月三日まで
申込場所 地方事務所社會係

窃盗の鐵工御用

【奉天】市内彌生町七番地鐵工張成三(三四)は藤浪町七番地杉山繁方物置の施錠を破壞し板二十枚、鐵棒二本を窃取し逃走中平安廣場に於て警邏中の安田巡査に發見せられ平安通り十六番地先で逮捕されたが餘罪ある見込み

社員會撫順聯合會選擧

【撫順】社員會撫順聯合會幹事は評議員會に於て互選の結果左の諸氏當選就任した

△會長伊藤清△幹事伊藤清、加藤作三郎、藤井勇、兼安長左衛門、田崎淺次郎、松本重平、川上榮五郎

レヴィツカヤ夫人の門下生試演會

【奉天】レヴィツカヤ夫人の門下生試演會は二十六日午後七時から千代田町小學校講堂に於て開催されるが入場無料で多數來聽を歡迎すると

鐵嶺大同汽車公司營業繼續

【鐵嶺】二十四日不慮の失火によつて全燒せる城内大同汽車公司は幸ひ運轉中の自動車二臺が災厄より免れ、且つ補充自動車も交渉が纏まつたので從前通り法庫門往復の營業を續ける由尚事務室全燒のため乘車券代賣は當分の間向ひ側の世合堂に於て取扱ふと

旅順放送

▲伴民政署長は左記日割に依り管內初度巡視を行ふ
▲三月二日方家屯▲三日日本驪業、山頭會▲六日水師營▲七日三澗堡▲九日營城子▲十日王家店
▲旅順民政署庶務課長として貔子窩より來任する平井齊三氏は家族同伴二十七日午後二時十分旅順驛着列車にて着任する
▲貔子窩へ轉任した篠田前地方主任は二十八日午前九時三十五分發列車にて出發する
▲米岡市長は廿八日午後五時から昭和園に於て旅大官民約三百餘名を招じ市長就任披露宴を催す
▲過日燒死した衛戍病院附故角田武雄氏の遺骨は三月三日午後一時三十分旅順驛發列車にて郷里へ護送される事となつた

船首をへしまげ 濟通丸歸る

大汽所有天津ライン就航の濟通丸(船長久保田吉緯氏千三十七噸)は去る二十三日白河を天津へ逆航の途恐ろしい北風に見舞はれ、天津の下流二十哩の地點において折柄附近航行中の支那汽船日昌號(千三百噸)と衝突、濟通丸は船首をグサツと日昌號の船腹に割込んだので、目下日昌號はサルベーヂその他の手によつて復舊救助作業が續けられてゐる、一方濟通丸は二十六日午後二時、第二埠頭二十番バースに繫留された、無殘にも船首が「く」の字を二つ續けたやうにヘシ曲げられ船内から穴にあてた絆創膏の様に見えみじめな

有様だ久保田船長は恐縮して語る
酷い風でしたが、ぶつちが惡いなんて云ふ事も、又どの位で修理出來るなんて云ふ事も私には今云へません、只いつもパイロットなしでやつてゐたので時局柄會社の方の命令もありパイロットを乘せたんでしたがその最初の航海に飛んだ事をやつたものです、何しろ相手船には千餘名のデッキパッセンヂャーが居るので萬一の事があつてはと懸念しましたが、幸ひ一名の怪我人もなかつた事が不幸中の幸ひだと思つてゐます、いづれ海事審判に移されるでせうが御心配を掛けて濟みません(寫眞はゆがめられた同船船首)

骰子は投げられた 聯盟脱退に心躍る 巷の聲を聽く

ルビコン河は渡らざるべからず

骰子は投ぜられたり、ルビコン河は渡らざるべからず——松岡代表は反對の一票を手榴彈のやうに投げつけ聯盟脱退は「鏡の間」の鏡のやうに明となつた日、あたかも熱河進軍の號外がガリヤ戰記のやうな情熱をもつて巷の心を躍らした、どこへ行つても非常時の非常談ばかりだ

事態は三番叟だ 先づ内を固めよ

河本滿鐵理事語る

日本は日清戰爭以來、世界に甘やかされて大きくなつて來た、しかしやがて一億にもならうといふ大國家になると先進國から憎まれるのは當然で、日本もこゝらで裸一貫、世界に一人立ちして見るのもよいことだ、しかし事態は未だ三番叟で本統のところはこれからだ河本理事の意見によると既に戰爭にでもなりさうな危機は一九三六年の海軍條約更改期か一九三七年のソウエートの第二次五箇年計畫完成期にある、故にそれまでの期間は日本が滿洲と共に準備をする大事な時期だといふのである

一とすれば國民は擧つて膺懲すべきである、先日我等が主催したダンス排擊演說會もこの意味からの主催に外ならない

兩立せぬ封鎖と資本主義

濱尾保氏談

日本海員組合大連支部濱尾保氏の話

脱退、正義日本としては當然な出方でせう、影響、萬一經濟封鎖なんて事になればともかくですが現在の如き資本主義國家の集まりではそんなことは出來つこない、一部強硬論者がいくら頑張つても結局は資本家達がその不可能を說くであらう、資本主義時代といふのはそんなものだ、隨つて我々海員も覺悟は極めなくてはならぬが、[illegible]

大和魂再認識の絶好の機會

小野實雄氏談

この間に日本は中堅階級を基礎とした實力のある清新な分子が政治の局に當るんだね、そして資本主義も社會主義も解消して眞の擧國一致でガッチリと内を固めて突進するんだ、さうすれば世界に恐ろしいものは何もないよ

聯盟脱退に因る名譽ある世界の孤立は失ひかけた大和魂の再認識を興べる絶好の機會として吾人は寧ろ其の結果を恐れない、その恐れないといふ事は國民の非常時に對する覺悟が用意されて居る事を確信してゐるからである、若しこの[illegible]

正義には敵はぬ

小川大連市長語る

國際聯盟が何と言はうと日本は東洋永遠の平和のため最善の策を採つた迄である、之が日本の國是でもあり正義の行爲である以上絶對に他の容喙を許さない、脱退によつて經濟封鎖等の杞憂も傳へらるゝが容易に斯くの如き事は行はるべきでなく、萬一最惡の場合が來たとしても日本は飽くまで正義を楯とし堂々對抗して行くばかりである、正義の前に敵はない、日本人は何時でも正義の爲めなら擧國一致の用意と覺悟がある、今後種々なる難局に遭遇するとも動ぜず之れに善處すべきである

甘い追憶と苦い追憶

錢莊での饒舌

ある錢莊で拾つた銀ながはる人達の話
「聯盟は見飽かぬながい材料でした、おかげで相當儲けました、聯盟にしろ當事國にしろ日每夜每宣傳や空威張りに終始しただけに、さういふ場合毫の意味を讀んでなまじつか利口ぶらず、吹く笛について行つたのが良かつたんでせう脱退も當然だよ、私はこうなると初めから睨んでゐました、脱退し

てみれば聯盟クソ喰へでもう用はありません、殘るは甘い追憶位のものでさあ」
「フフン、私は曲りましたよ、スチムソンといふ出しやばり者が文句をつけたのが私にとつてもケチのつき初めさなり、リットンでも隨分苦勞したよ、どうも聯盟は苦手で聯盟のレの字も嫌になつて今日か明日かと待ちこがれた脱退だから人一倍嬉しかつた、それは國民としての私の非常時感激だが、同時に私の相場もこれでサッパリして氣が直るらしい」

聯盟よ米國よ 勝手にし給へ

店員の氣焰

滿連町の某洋品店の店員の怪氣焰
これで氣が晴れぐくします、聯盟の低氣壓で一喜一憂する氣苦勞も大變なものでした、もうこうなれば聯盟がどう言はうと問題ではない、勝手に吠えさせておけばよい經濟封鎖なんて六ケ敷いことはわからないが、今後滿洲國と堅い握手をして行けば世界にどこも恐れるところはないアメリカがお節介いふなら言はせておけばいゝ、最

滿洲人側も別に驚かぬ

遲子祥氏談

滿洲側では最初日本の聯盟脱退を氣にした向もあつたが、最近の情勢では到底免れないといふ事が判つてゐましたからいよく脱退が決定しても別に驚いた風もありません、只脱退後日本に對し列國が經濟封鎖をやるかどうかが問題であるが、一般滿洲側は結局經濟封鎖などはあり得ないと觀測してゐる向が多いので今の處非常に平穩な人氣にあるやうです、熱河問題

後の解決は病の問題、何もアメリカなんか恐れることはない

も支那軍は到底日滿軍の敵ではないから問題ではないが矢張り事件中は一般に氣迷ひ商賣が出來ないから早く平定される事を希望してゐます

經濟封鎖OK

特産屋の決意

わからずやの揃つた聯盟なんかさつさと脱退した方が宜いですよ、經濟封鎖やるならやつたつて一向差支へませんれ、向ふで特産物を買はんといふなら自然相場も下りませうし、値段さへ安くなつたら何處へだつて賣捌く方法はいくらでもありますよ、少しも心配いりませんれ

成層圏

日記帳から金鑛

亡き父の古い日記から金鑛を發見したといふ夢のやうな話——神戸市新宮町向井熊彦氏の實父正吉氏は鑛山に趣味を持ちあちらこちらと鑛山を踏査して昨年十一月三重縣南牟婁郡尾呂志村の山中で慘死を遂げたが最近熊彦氏が父の古い日記を整理したところその中に南牟婁郡神川村と西山村の境界山脈に金鑛のある旨が記載してあるので、熊彦氏は夢かとばかり喜び同町小瀬清成氏の後援で實地踏査をしたが神川村の不動山中にそれらしいものを發見、試掘をその筋へ願ひ出た

琵琶湖から陸地

大藏省の五ケ年計畫、官有地の調査のために滋賀縣長濱稅務署員が琵琶湖岸を見廻つたら東淺井郡大郷村大字南濱地方に三萬坪、坂田郡六莊村大字田村地先に三萬坪、以上六萬坪が陸地に干上つてゐるのを發見、素晴らしい財源が降つてわいたと大喜びだ

紅茶嗅き商賣

日本には「酒嗅き」と云つて酒の種類や等級を味はひ分ける人がありますが、これは英國のマーガレット・アーヴィング孃と云ふ「紅茶嗅き」とでも云ふべき人です、彼女は何百種と云ふ紅茶を味はひ分けるのが職業ですが、これは英國でも唯一人しかなく、この爲めに同孃は月俸一千ポンド(一萬四千圓弱)の高給を享けてゐるとは一寸羨ましいではありませんか!

肛門で密輸入

肛門から二千圓の金塊……文字通りお尻がばれたゴールドラッシュ時代の密輸ナンセンス……、新義州から安東に向ふ三等列車に擧動不審の朝鮮婦人客があるので乘込の警官が取調べた處此の女は平壤倉田里康承明の妻鄭成實(三七)で百

六十匁時價約二千圓の金塊を肛門に挿込んで密輸を企て一儲けせんとしたがお尻がばれてその儘御用

神都皇紀運動

三重縣桑名郡西桑名町では大成小學校の兒童家庭が相呼應して「神都皇紀運動」をやりだした、つまりカレンダーの西暦年を全部塗りつぶして一々紀元二千五百九十三年と書改める運動

畑から勾玉

三重縣度會郡東外城田村字東原農口野彦造が自己所有の畑を開墾中地下數尺のところから古刀、鉾、勾玉など二十餘點を發掘し山田署へ屆出たが神宮司廳大西源一氏の鑑定によれば一千數百年を經過したものである

佳木斯移民團 匪賊を蹴ちらす

【ハルビン特電二十六日發】チャムス移民團の一部百七十名は去る二月十七日以來農場建設に赴き本年の播種準備をしてゐるが、附近を荒してゐる頭目周萬青の率ゐる賊は十二日農場を襲撃せんとして駝達子に集結したので移民團は十三日積極的に攻擊し追散らした敵の遺棄死體警長以下十名、我損害戰死一名を出した

の調査に來滿したのですが、三千萬の民衆を有する滿洲には一萬人に一人としても三千人の販賣人を置かなくてはならないが三、四月頃には實現に着手も度いと思つてゐる

恨みの一撃 人違ひ

二十六日午前二時五十分ごろ沙河口仲町一三二番地酒釀造業李鑫明方に肉切庖丁を携へた一名の怪漢が表戸を破壞し闖入、就寢中の陳四伍(三二)の頭部その他數ケ所に重傷を負はせ逃走したが、同日午後四時半所轄沙河口署の手で市内萬歲街三二番地張洪福方に潛伏中の山東省青州縣生れ現住所市内裡野町番外地無職李步福(三一)を逮捕、證據物件により嚴重取調べた結果遂に包み切れず一切を自白した
犯人李步福は李鑫明外一名と小洋三千圓を出資、前記の場所に於て支那酒の釀造を始めたところ意見の衝突から犯人李步福を除名その出資一千圓の中九百二十圓だけ返却したが犯人は右除外は李鑫の明使用せる書記李洪臣の所爲なりとして恨みをいだき殺害せんとさせる寢所を變へてゐたゝめ陳四伍が犧牲となつた事判明、被害者は生命に別條ないと

滿鐵社員會の幹事選擧

滿鐵社員會の第二回幹事選擧は十二選擧箇所より二名づつ選出し三月五日までに本社にまとめ六日發表する筈でこれによつて四十八名の全幹事が揃ふこと、なるものである

弔慰金一萬元 改めて會社へ

鄭總理贈る

【奉天電話】曩に逝去せる滿洲航空輸送會社々長鄭垂氏に對し同社では其の功績を偉として弔慰金國幣金一萬元を贈つたが、これに對して嚴父鄭國務總理は同會社成立未だ間日淺く斯の如き金員を贈らるべきでないとて鄭垂氏遺族一同の名を以て改めて航空會社へ附託して今後滿洲航空事業による死傷者のため有益に資したいと申出があつたので、同社では捧くその德をたゝへて右金員を滿洲中央銀行へ預金とし鄭垂氏航空事故者慰助資金として其の利子をもつて今後の滿洲航空事業の犧牲者に對して有益に使ふこととなつた

海軍機墜落

福森大尉慘死

【東京二十六日發】海軍省公表=帝國航空母艦鳳翔乘組海軍大尉福森義雄氏は二十五日午前九時四十分九州豐後水道で飛行訓練中墜落慘死した

小火 二十六日午後三時四十分市内彌生町二十六番地小川太兵衛方の炊事場から出火し天井に燃え移りあはや大事に至らんとしたが消防隊の出動が早かつたゝめ直に消止めた、損害約十圓

建國日のお祝に 人形を贈呈

執政夫人に全權夫人が

【新京電話】曩に全滿婦人團體聯合會の會長に就任した武藤大將夫人は三月一日滿洲建國紀念日を卜して執政夫人に人形を贈呈し建國のお祝ひと會長就任の挨拶をなすことゝなつた、人形は大將夫人が東京三越に命じて謹製せしめ大連婦人團體聯合會に送り、二十六日關東軍司令部と事務打合せのため來京した滿鐵總務部長石本憲治氏がこれを携帶して新京婦人團體聯合會に渡した、人形は高さ二尺純日本風の振袖を着た美しい娘の立姿で、同役員の手から執政夫人に贈呈の手續をする筈である、因に全滿婦人團體聯合會は全滿各地の日本婦人團體の大同團結であつて滿洲事變の勃發以來出動軍隊、警官などの慰問、罹災鮮滿人の救濟その他に全力を擧げ現に奉天、新京ハルビンの各地に兵士ホームを作り、家鄉を離れた兵士のため母となり姉となつて慰安を與へ、又近く奉天に國保館を建て、育兒、出產、助產など鮮滿難民のため溫かい手を伸ばさうとしてゐる

牛骨肥料を整理中 雷管爆發して慘害 埠頭で苦力一名即死

二十六日午後二時半、埠頭構内東部野積場第二詰所側の廣場において市内西公園町十七天心洋行雇人閻錫範(三七)外苦力三名で

アンペラ 掛け牛骨肥料の整理中、麻袋入り牛骨の中から眞鍮の金屬を發見、苦力馬某が拾ひ上げもてあそんでゐる瞬間該金物は轟然と爆發し馬某は頭部胸部を粉碎即死、同じく苦力張志純(三九)は顔面に負傷、周圍は鮮血で至々しく彩られ牛骨は四散して二目と見られぬ慘狀を呈した、當時同所に居合はした前記閻錫範外趙某は聞ひ怪我なくこの椿事に仰天して埠頭詰所水上署に急報水上署よりは時を移さず福田高等係主任をはじめ各係員が出動取調べたが、それによると

該貨物は 二十二日奉天から積み出され一日吉[illegible]に依車二十輛下に二十六日朝より麻袋中の骨の選分けをしてゐたところ馬が眞鍮の金屬を三個拾ひあげ「妙なものがある」といぢつてゐる内爆發したもので、調査の結果、同金屬は砲彈用の雷管で骨中に混つてゐたらしく高等係員は奉天の同牛骨の出所を調査する事となつたが、或は一緒に運ばれて來た他の袋中にも雷管が混つてゐるのではないかといはれ、萬一船積後この椿事が惹起したら飛んでもないと麻袋骨を積み一同戰々兢々としてゐる

港橋附近 のルンペン苦力一方即死した馬某等苦力は一件を重大視して天心洋行主吉本常一氏等に仕入先その他につき取調べるところあつた(寫眞は慘狀の現場×は死體)

いぢり廻してゐる中に爆發

負傷した苦力張志純(三九)は語る「二十五日のお晝ごろ港橋でゴロゴロしてゐると闇と云ふ人が雇ひに來たので自分と死んだ男と趙と云ふ男と三人雇はれたのだ、自分が骨を麻袋に移す役で馬がそれを受ける役、冗談を交しながら仕事をしてゐると馬が金物を拾ひ出し自分も一緒になつていぢくつてゐるうちに恐ろしい勢で爆發したので氣が遠くなつた」

殘る麻袋を檢査

牛骨入り麻袋の爆發で萬一他の麻袋にも混つてゐるかも知れぬと懸念があるので二十七日改めて水上署では他の全部の牛骨入麻袋を檢[illegible]

左樣なら榊丸 淋しい船姿できのふ内地へ

去るに去り兼ねてゐた大連におなじみの榊丸、賣られて行く彼女はその後漸く諸般の準備をとゝのへ二十六日午後一時頃靜かに、淋しげな船姿をひきずる様にして出帆した、ボウボウと出帆汽笛がはかない、顧みれば長い滿洲生活だ、神戸の船具商宮地商店の手によつて轉て大阪木津川工場でバラバラに解體されるのであらうが、曾ては義勇艦隊に所屬してそのスピードの點で鳴らした彼女だ、併しよる年波は爭はれない「左樣なら」「左樣なら榊丸」だ

販賣店を設く

星一氏離滿談

【安東電話】滿洲の實業狀況視察中であつた星製藥會社々長星一氏は廿四日午前過安南行したが語る 滿洲に私の會社の指定販賣店を[illegible]

事變傷痍軍人後援會の活動

昨年三月一日設立された支那事變傷痍軍人後援會は堀内文次郎氏を會長とし慰問資金募集に不斷の努力を續けると共に一面傷痍軍人を勞るといふ觀念を全國民に普及徹底せしめたが之等の費用は森永製菓會社において負擔し、資金はキャラメル空函及チョコレート包裝紙を集めたる金額を貯へてゐるが最近までの主なる事業を擧ぐれば全國主要都市五十七ケ所において大講演會を開き又地方的に小講演會を開きたる事四百五十三回、又は全國二百六十五回に亙り「映畫の講演の夕」を開き滿洲事變、上海事變の映畫及實戰談によりて世人をして痛切に戰士の辛苦を知らしめ其他チラシ、ポスター等によつて負傷戰士慰問の宣傳廣告をなしたが、近くは陸軍省を中心とする全國傷痍軍人會設立に對してはその設立資金として金三千圓を寄附し各地衛戍病院、海軍病院にある傷病兵に對しては常に慰問をなし、來る三月十日陸軍記念日には全國滿洲、朝鮮、關東州衛戍病院並に[illegible]

安樂椅子

いかめしい中にもユウモアあり、さる閑人が、關東廳警務局管下高等警察官の族稱色別について調べた處によれば……
まづ四十七士若くは新選組を聯想さるゝ名前に奉天警察高等主任の伊藤角太氏を初めとし引地源治兵衛(瓦房店)宇和田源藏(營口)岡本多郎兵衛(營口)寺尾壯吾(警務課)門傳半右衛門(保安課)の諸君がある。
次に僧侶出身かと思はるゝ者には、警務課の小松流祥主任を筆頭に島田智果(奉天)中村智全(鐵嶺)藤島宣法(高等課)鈴木尚賢の諸君あり、更に御與警風のものに空閑俊範(高等課)大津爲楠(奉天)沖賢翠(大連)の諸君などがある。
かと思へば按摩——イヤ失禮、かの鶯坂の澤市君を連想さるゝ者に開原署長の加藤庄市、奉天の平川高市、親子富の伏見正市瓦房店の原壽市の諸君あり、さ

公告

左記船荷證券紛失の旨出荷主より屆出により爾今無効たる事公告候
一、昭和七年五月十日門司積大連渡揚
一、船名　照國丸
一、船荷證券番號　參拾六番
一、荷印品名數量　㋖キング 園ノ森 澁返紙壹個
一、出荷主　角　次郎殿　受荷主 ㊉林洋行殿　以上
照國丸船主　原田汽船株式會社
昭和八年二月二十六日

海と空と（123）

高杉晋一郎作　橋本清史畫

明暗（十一）

暢は深く首垂れたまゝ何も云はなかつた。裏も長くは兄を見てゐる事が出來なかつた。

暫く沈默が重く續いてゐた。

「ありがたう」

突然、兄は口を切つた。彼は恥入つた中にきつぱり決心した表情を見せてゐた。

「そんな、禮を云ふのは止めて下さい」

瑞枝の接吻に應じたかどうかも辯解がましくは口に出さなかつたのに、さう云つて來た暢に裏は初めて喜んだ。と同時に彼は立上つて、時計を見た。

これで濟んだのだ。矢張今夜去らう。

「出るのか?」

兄は少し涙をためてゐた。

「えゝ――多分永久に」

「……」

「大袈裟かな」

自嘲的に裏はふつと笑つて、出てゆく自分、それからの自分を想像してみた。決して大袈裟ではなかつた。再びはこの家庭へ歸つて來ることはないだらう――。

「さう。最後にお願ひしませうか旅費をひとつ」

「旅費?ぢや大連にもゐないつもりか?……何處へ……」

「訊かないで下さい」

暢は暫く沈默した。さうして默つて背いた。彼は、また父を説き伏せてゐるらしい母の處へ行かうとした。

「あ」

と裏は止めた。

「お母さんの處ですか。それは止して下さい」

母に遠い旅立だとは思はせたくなかつた。

「兄さんのお小遣ひ位でいゝんです。三等旅費です」

兄も母の事は悟つたが、そのまゝ留まつて、書棚の方から貯金してゐたらしい十圓札の束を取出して來た。

「今これだけしか殘つてないんだけど」

數へて見ると丁度百圓あつた。

「えゝ、結構です。これで充分です」

二人は默つて顔を見合せた。感謝も別れも總ての言葉を眼だけが語つた。

裏は靜かに自分の部屋へ行つた。

暫くぶりの自分の部屋だつた。[illegible]が少し様子が變つてゐたが、歸郷の當時しみじみと感じた此の裏好みの部屋。彼は暫時扉口に立つて眺めた。それから靜かに机に近寄つて行つた。獨りになると、直ぐ思ひ出されるのはポールの事だつた。逸見の事だつた。

逸見にはもつとよく自分の心を説明してから去りたい氣持は山々だつたが、再び逸見と顔を合せればどんな事になるかゞ心配だつた。

逸見のことだからきつとポールを自分に託さうなどゝ云ひ出すだらう。それが厄介だつた。今朝組合に行つて聞いた話では彼は此の一週間ほど顔を出さないと云ふ。苦しんでゐるのだらう。或ひは何か手紙が來てゐるかも知れない。

彼は机の脇に溜つてゐる留守中の手紙の束を一寸不安に探つて見た。然し逸見のはなかつた。全部今更讀まなくともいゝものばかりだつた。

よし、ぐづ〳〵してはゐられない。逸見の事は自分が去りさへすればよくなるだらう。彼は部屋の隅からトランクを引き出した。何にも持つて出ないつもりだつた。然し身の廻りの必需品だけはトランクへ詰め始めた。

彼は遠く去る前に、旅順へ寄つて谷に逢ふつもりでゐた。谷にだけはどうしても逢ひたかつた。谷はきつと、此の自分の「生活への門出」を喜んで呉れるだらう。

窓の外には雪が頻に降つてゐた。もう窓の外ぶちに溜つてゐる雪の背が硝子を通してほの白く見えるほどだつた。

彼は忙しく時計を見た。旅順への終列車に間に合ひたい。

そこへ喪神したやうな母のみちが入つて來た。

けふの放送　大連 JQAK

二月廿七日

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二

▲午前七時　ラヂオ體操第一

▲午後六時　ニュース

▲滿洲國々歌練習（六時三十分）大同技藝學校生徒、仲春村樹樂童

▲放送舞臺劇「敵討噂高松」揚鼓（第一景）丸龜濱の場（第二景）大師堂前の場（第三景）同本堂の場（第四景）西光寺門前の場（第五景）西光寺和尚部屋の場（第六景）同裏手の場（第七景）高松仇討の場（以下内地中繼、七時）田郡上運平（市川若猿）參詣の客（中村吉三）守山辰次（中村吉之丞）[illegible]の亭主（中村吉十郎）[illegible]（市川紅若）坊主才念（坂東太三郎）[illegible]九一郎（中村傳門）（尾上梅笑）[illegible]（中村七三郎）比良井才次郎（中村吉之進）和尚[illegible]（中村又藏）捕手頭有坂又之進（尾上多賀藏）捕手一（中村播次）同二（中村吉丸）鳴物連中杵屋社中、解説大橋秀花

▲講談（七時五十分）仇討傳の四「伊賀越仇討」神田伯治（以下大連放送局より八時三十一分）

▲職業紹介事項

▲ニュース

▲氣象通報

ジョセフイン・ベーカー　川畑文子孃

ジョセフイン・ベーカーとしての川畑文子孃はアメリカ第三世の一女性だ、同孃はロスアンゼルスでラム・スタンデウエルに舞踊を學び一躍して琥珀色のジョセフイン・ベーカーの名を恣にした、同孃の唄はデイートリツヒと張りの名手でコロンビア、レコードに「いつあかり」「三日月孃」「南京豆賣」を吹込んだ、舞踊家として又歌手として同孃の出現は普藝術界の偉才だ

電機學校の制度と設備

東京、神田、錦町所在の財團法人電機學校は創立二十五周年記念として水力發電實驗室を新設して陣容を完備し、目下晝、夜間電氣科及び夜間機械科生徒の募集中である、同校は既に二萬四千七百九十一名の卒業者と遞信省電氣事業主任技術者試驗合格者四千一百二十七名を有してゐる、同校の特長現代に適應した學制の下に短期間に有爲の電氣及び機械技術者を作り上げた事を以て專一として居る、なほ同校には校外生の制度があり高等及び初等電氣講義録の二種を發行してゐる、詳細は同校に規則書を申込まれよ

社交ダンス教授　サトウ舞踏研究所（電氣遊園裏大黒町二十七）出張教授場（聖德街一丁目三）申込隨時　公認舞踏教師 佐藤和子

幼年倶樂部（三月號）

◇卷頭の特別ページ「漫畫のお國」記事讀物にも嚴選主義が充分に徹底し、附録の「子供繪芝居」は一寸紙芝居に似せたもので、子供達の關心を覗つたもの、いつもながら、この雜誌編輯者の手に入つた編輯ぶり、子供達に親切で行屆いた注意ぶりに非常に快よいものを感じさせる

現代（三月號）

◇滿鐵、安田、明糖、三菱、日本麥酒、報知、三井、内務省の新採用方針を述べ「社會各界採訪記」は結婚媒介所を探る、丸ビルの解剖、國際遊歩場ダンスホールなど特種があり、新歸朝鶴見祐輔氏の「風雲兒ヒットラーの聲を聽く」や「太平洋をめぐる列國の魂膽」「帝國陸海軍明日の巨星」「驕兒張學良」「非常時帝都を護る警視廳の陣容」等ガッチリした所を見せてゐる

雄辯（三月號）

◇「世界の旅より歸りて祖國日本の將來を想ふ」鶴見祐輔「生存上に於ける三つの鬪ひ」永井柳太郎二つの特輯「人氣者、人氣者を語る」「世相を映す名裁判珍裁判物語」等「滿洲に跳梁する匪賊馬賊の群」「政黨の萎縮と今期議會の形相」「次々に起る小問題大問題」「フイリッピン獨立案の正體」等々は時節柄名記事「就職戰線探訪記」「初對面に於ける話方」「座談會」「式辭挨拶卓上演説例」「全國青年雄辯大會」があり「雄辯研究室」は例によつて安藤季雄氏の親切な解答が光つてゐる

滿洲日報

二月二十六日發行
發行人 鈴木 昇
編輯人 橋本 喜代治
印刷人 村本 武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

極東に對する軍需品輸出禁止案提出

イギリス代表エデン次官から

第一回諮問委員會

【ジュネーヴ二十五日發】二十四日の總會で決定した諮問委員會は二十五日午前十一時より三十五分間最初の第一回會合を開き米露招請を決定、ドラモンド總長から兩國に招請狀を發することゝし更に**英國代表エデン次官から極東に對する軍需品輸出禁止案につき各國代表の見解を求めた、**同代表は本問題を全般的に檢討するため特に關係國間に**分科委員會を設置し實行案を作成せしむべきことを主張し、これに對し各國代表はいづれも贊成**の見解を表明、次ぎの會議までに充分右提案を研究すべきを約したなほ招請に對し米國の參加は確實と見られる

コンミユニケ

【ジユネーヴ二十五日發】二十一國諮問委員會午前の會議後左の如きコンミユニケが發表された

日支紛爭事件を中止し且つ總會が規約第三條第三項の下における義務を遂行するのを援助する目的で昨日の總會より創設された諮問委員會は本日午前ボール、イーマンス議長の下に開會委員會は總會の決議に準據し米露に對し其事業に協力すべきことを要請するに決した、委員會は英政府が極東の武器輸送に關し其他の關係諸政府と交渉を開始した旨の通告に接した、委員はその事業に甚大なる關係あるべき右交渉經過につき絶えず通告を受くべきことを要請した、會議を司會したイーマンス氏は總會議長として右要請をなすものなる旨言明した、更に委員會はイーマンス氏の表明した一定見解に基き委員長問題は次回の會議まで未決定のまゝ留保に決した

米露に招請狀

米國受諾、ギルヴアー氏出席か 露はリ氏歸莫後回答

【ジユネーヴ二十五日發】廿一國諮問委員會の結果ドラモンド總長の名で直に米露に招請狀を發したが、米國政府は受諾と共にかつてオブザーヴアーとして一九三一年十月理事會に出席した壽府駐劄總領事ギルバー氏が代表として委員會に出席するだらう、またロシアは軍縮會議出席中のリトヴイノフ氏が二十六日壽府發モスクワに歸つたうへ回答する筈である

脱退通告は三月半ばころ

諮詢具體案作成に近く着手

【東京二十六日發】外務省は最近の機會において聯盟脱退に關し樞府に諮詢すべき具體案の作成に着手することになつた、而して右諮詢案は

一、聯盟脱退に關し聯盟事務局に提出すべき通告書
一、通告提出に伴ひ生ずべきヴエルサイユ條約改定の件
一、脱退通告後二年間帝國政府の負擔すべき事務
一、軍縮會議、國際勞働會議その他聯盟主催の國際會議措置の件

等に對する調書よりなる筈で、外務當局の見込みでは右完了には數日を要すると見てゐる、從つて政府が脱退を正式決定するのは三月五日前後となり聯盟に脱退通告をなす時期は三月十日乃至十五日頃となる模樣である

松岡代表 壽府引揚げ

【ジユネーヴ二十五日發】松岡代表は四ケ月に亘る壽府滯在を終へ二十五日午後二時三十分思ひ出多き壽府を出發しパリに向つた、代表部の大半は今夜又は明朝壽府を發つが、佐藤、松平兩大使は軍縮會議との今後の協力問題に對する政府の訓令到着せざるため一兩日居殘ることゝなつた、松岡代表は兩日パリに滯在しその後の旅程を決めると

【ロンドン二十五日發】松岡代表は二十五日午後二時半ジユネーヴを出發したがロンドン着は三月八九日頃となるべくロンドン着後は一週間程滯在したうへワシントン

「善意あるところ希望あり」

松岡代表語る

【ジユネーヴ二十五日發】松岡代表は二十五日午後零時半ドラモンド氏を事務局に訪問しその勞を謝し懇ろに挨拶、同四十五分事務局辭去に際し記者團に語る

日本代表部も聯盟を去られねばならぬが事茲に至らざるを得ざらしめた宿命的なものを感じ一種の淋しさを感ずる、然し嚴かな氣持を感じさせられる、御別れの言葉として「善意あるところ常に希望あり」と諸君に告げる

に向ふ豫定、米國には更に二、三週間滯在し四月下旬淺間丸で歸朝することゝならう

長岡全權も 壽府を出發

【ジユネーヴ二十五日發】ジユネーヴ引揚げの第二陣長岡大使、鹽崎、土田、松本各書記官ほか五名の一行は二十五日午後十時四十五分ジユネーヴ發パリに向つた、澤田公使ほか三名が出發せば我代表部は略引揚完了し佐藤、松平兩全權も二十八日出發せば殘る者は十名内外となる模樣である

壽府の對日本空氣惡くない

【ジユネーヴ二十五日發】松岡代表引揚げに際しジユネーヴの空氣は決して日本に對し特に惡感は示してゐない、殊に上海事變當時の反日的興奮狀態に比すれば雲泥の差で日本人記者に對しても外國記者が握手を求め「日本代表が再び來ることを希望す」等とお世辭ばかりとも見えない言葉遣ひだ、昨日午前の總會でのシヤムの棄權と午後の總會における顧維鈞のやり過ぎとが斷かる感情を呼び起すに力あるものであつた樣である

凌源の嶮を扼して日滿軍の進路阻止

張學良、反滿軍に嚴命

【奉天電話】張學良は日滿聯合軍の熱河に於る反滿破道軍を掃滅する爲朝陽、開魯、綏中方面から進擊を開始したとの報に承德、赤峰を飽くまで死守し、凌源の嶮を扼して日滿聯合軍の進路を阻止すべしと嚴令を下してゐる、しかして平津一帶の治安を維持する兵力は僅かに殘留のみで果して保持ができるかにつき焦躁し、謠言を放つて當面を糊塗してゐるが、若し滿洲軍が承德に入れば天津に亡命するために竊に貴重品を天津方面に移しつゝありといはれ、一方北支那一帶の抗日團、共產黨等を使嗾して靑天白日抗日烈血團を組織せしめ滿洲の各地に散在せる小賊を糾合してこれと結び、後方擾亂の擧に出ん計畫である、然し學良の計畫は殆ど問題とならず、既に其の運命も旦夕に迫りつゝあり、民心は離叛し、僅かに抗日救國團の宣傳のみで漸く命をつないでゐる狀態である、なほ飛行機建造のために寄附金を强制募集してゐることも商民はこれを嫌惡してゐるといはれてゐるが、彼は承德に情報辦事處を設け各方面における日滿兩軍の狀況についてラヂオを通じ內容を知ることに努めてゐるさ

凌源に陣地を構築

正規軍が皇軍に備ふ

【奉天電話】北票、朝陽を後退した敵匪は目下續々と凌源に集結し凌源に待機中であつた三萬の劉芳九軍と二ケ旅の正規軍と合體し今や尨大なる防備線を十重八重に繞らし地雷を埋め嚴重なる陣地を構築して我軍の攻擊に萬全の防備を行つてゐる、凌源に集結の軍隊は精鋭なる武器を多數擁し右正規軍の尨大なる編成が行はれてゐる

凌源市內平穩

【新京電話】匪賊の偵察によれば凌源市內は通行人稀れで市街の陣地構築等もなく至極平穩である

後方攪亂に備へ警備を固む

各省司令官に命令

【新京特電】滿洲國の討熱作戰軍は漸次熱河省內に進入しつゝあるが一方國內に對しては張學良の後方攪亂の企圖あるべきを察して軍政部では各省警備司令官に對し省內に嚴重なる警備を行ふべく命じた、即ち奉天軍、洮遼留守軍、黑龍江軍に對しては反滿抗日兵匪の東方への脱退を防止せしめ尙奉天省軍に對しては右の外海邊の警備を嚴重にし吉林軍に對しては國境に蠢動する敗殘兵匪に備へしめ又東邊道や三角地帶の殘匪にも細心の注意を拂ひ且つ新京、奉天等の主要都市は嚴重なる警備を行はしめる、恐らく凋占海の吉林省復歸、李海靑の黑龍省復歸は全然その望みなかるべし、尙潜入する便衣隊や間者等も殆どその活潑なる活動をなす餘地はないであらう

南下部隊

先鋒綏東着

【新京電話】二十六日午前十一時關東軍司令部發表=二十四日午前十一時開魯に進入せる茂木部隊は一部を同地に殘置し主力は東凌軍と共に興隆地に向ひ南進を續行し二十五日夕サセコト(開魯南方約五十キロ)に達せり、高田部隊は通遼出發後、途中微弱なる對抗を排除しつゝ薄力火燒廟を經て二十五日夕オンドロハラ(ハセコト南方約十キロ)に達し又神代部隊は同時刻ころ綏東に進入せり

は二十五日早朝より敵を攻擊し午前八時敵陣地を占據、更に退却する敵に對し追擊を行ひ多大の損害を與へた、この戰鬪に際し敵は朝陽附近の既設陣地を利用せずして退却した、同地附近の敵は約二千で我飛行機は二十五日朝より西南方凌源に向ひ退却する敵に對し爆擊を行ひ多大の損害を與へた

駒井參議經過良好

量に內地に向ひ蓄膿症にて九州醫科大學病院に入院した滿洲國參議駒井德三氏は同院耳鼻咽喉科において二十六日午前十時久保博士の手によりて手術を行つたが經過頗る良好、十日餘にて退院し得る見込みであると

人事

▲山崎元幹氏(滿鐵理事)廿六日出帆うらる丸にて內地へ
▲岩井勘六氏(大連在鄕軍人聯合分會長)同上
▲小澤太兵衛氏(實業家)同上
▲栃內壬五郎氏(前農事會社專務)同上
▲增田義男氏(大汽專務)同上
▲室塚藏二氏(大阪商船東洋課旅客主任)同上

大正義をつらぬくものゝふの譽

討匪第一線に起つ第○○團長 幕僚に悲痛の訓示

【錦州特電二十六日發】熱河討伐の第一線部隊を指揮する第○○團長は二十五日午後四時、卅餘名の幕僚と共に記念撮影をなし、次いで將軍は居並ぶ幕僚に向つて左の如き悲痛なる訓示をした

滿洲國の基礎工作たる剿匪行動の最後を飾る熱河の軍事行動に當り我部隊がそれを承つたことは諸君と共に光榮とするところである、我軍この度の行動は大正義を貫くためである、國際聯盟はもとより各國は猜疑の目を以て我等の行動を監視してゐる、我等は上至尊の御宸襟を安んじ奉り、下九千萬の同胞の期待に反かざるやう武夫の譽として潔く戰ふことを誓はねばならぬ、諸士宜しく我意を體し奮鬪努力せられんことを

隊員寂として聲なく嚴肅の氣場內を壓し武夫の出陣に相應しい劇的場面を現出した

朝陽附近で爆擊

敵匪步騎兵二千餘敗退

【錦州特電二十六日發】○○飛行隊は二十五日午前十一時ごろ朝陽と南方孫家灣鳳凰山に約三百の敵匪を發見これに爆擊を加へた、更に朝陽西方二十キロ飲馬家營子に步騎兵二千と敵匪を發見これを擊破敗退せしめ我空軍の威力を示した

食料品を提供 皇軍大歡迎

南下沿道の居住民

【新京電話】通遼より行動を開始した我軍は一望千里白皚々たる曠野を南進しつゝあるが附近住民は地下に埋め兵匪の掠奪を免れてゐた白菜その他の食料品全部を提供して皇軍を大歡迎し、これがため我軍は無人の境を行くが如く兵匪を一蹴しつゝあり

右翼陣地を皇軍奪還

【奉天電話】朝陽附近における敵の右翼陣地は水口溝、石門子溝左翼陣地は桃花吐、桃花山の線なるがこの右翼陣地に對し我軍は朝陽より東方又は東北方に亘つて二十四日午前十一時半から攻擊を開始し陣地前方にあつた二、三百の敵を擊退、陣地に接近し同日午後二時から日沒まで更に攻擊を續行し敵に多大の損害を與へ、日沒後完全に同地を奪還したこの戰鬪に於て前川大尉外十一名負傷した桃花山、桃花溝に向つた松尾部隊

皇軍の士氣振ふ

各地に敵匪を擊退前進

【錦州特電二十六日發】第○○團發表=一、鈴木部隊に屬する田中三宅兩部隊は二十四日午前十一時半頃魚牛營子南方地區において迫擊砲を有する二、三百の敵騎兵を擊退した

二、この敵は第四一五團の約一連及び騎兵第三六團の約一連にして午後石門子溝附近既設陣地において頑强なる抵抗を試み我早川部隊及び田中、三宅兩部隊は大凌河西岸地區よりこれを攻擊し日沒までに完全にこれを占領した

三、敵に與へたる損害は未だ不明なるも我軍の遺棄したる敵多數ある見込み、我損害負傷左の如し
▲早川部隊 步兵大尉前澤長重輕傷兵七名
▲田中部隊 兵四名

四、大凌河の結氷は堅きところ諸隊の渡河に死傷なし、士氣頗る旺盛

五、鈴木部隊は二十五日早朝朝陽附近敵の主陣地に對する攻擊準備完了した

六、松田部隊は微弱なる敵を驅逐しつゝ前進、早川部隊は午前八時前後塔家溝附近に退却する若干の敵及びその收容する部隊を攻擊したが、田中部隊は敵の攻擊を受くることなく前進した

七、鈴木部隊は午前十一時乃至一時の間に朝陽に入城した

八、敵主力は既に遼河方面に向け退却せるもの〻如く我飛行隊は朝陽西方地區に退却中の約二千の步騎兵を爆擊した

蛇角

◇「善意あるところ常に希望あり」といふことはいうて涼しい松岡全權ジユネーヴにサラバ、サラバ。

◇正義の一票が尊い如く、たゞ一票の好意も亦尊い。

◇山田長政以來のシヤムに滿腔の敬意を表す。

◇過ぎたるは及ばざるが如し、ボイコットを公認した聯盟關係國にボイコット反噬の日あらん。

◇若しそれ、滿洲國が不承認國をボイコツトした場合も、聯盟はこれを合法的手段と見るや否や。

◇正義の日滿軍、公道を熱地に士氣ますます揮ふ。

◇熱河の魑魅魍魎、朝日の前の露と消え失せるも近し。

宣撫班の活動

(上)傳單に見入る錦州市民 (中)錦州南門で宣撫 (下)街頭講演

東天紅 (6)

田中純作
林一三畫

ライラックの夜(六)

「しかし、君のやうな人が、よく日本なんぞに歸つて來る氣になりましたね」

神田がまた、言葉をついで訊いた。

「ええ。僕も大して歸つて來たくはなかつたのですが」

相良が初めて、氣のなささうな返事をした。

「鎌倉には何か親戚でもおありになるのですか?」と、口髭の男が訊いた。

「いや、何もないですが、ちよつと賴まれた用事があつたものですから」

「それでわざ〳〵上海からゐらしたのですか?」

「いや、わざ〳〵と云ふわけでもないですが」

相良はちよつと曖昧に云ひよどんだが、すぐ、或る程度の事情を話さうと思つたらしく、

「實は、或る女から賴まれて、或る人のあとを蹤けて來たのです」

神田は、殘つて居るウイスキイを、ぐつと一息に飲み干して云つた。

「ええ。食べて行ける仕事さへあれば、僕何處へでも落ち着くんですが」

「食べるだけの仕事なら幾らでもありますよ。不景氣だとは云つても、鎌倉はこれで遊民の多いところですからね」

「では、一つ、明後日はうんと投げて貰ふことにして、今夜はこれで歸らうぢやないか。かれこれもう一時だぜ」

誰かが言つた。

「うむ、一時だ。歸らう」

みんながぞろ〳〵と立ち上ると相良も一緒に卓子を離れた。

「今夜はどちらのお宿です」

「いや。これから寢床搜しです」

相良が言つたが、誰もまさか、この靑年が今夜、海岸に野宿しようとしてゐるようなことは、疑つても見なかつた。

「では、兎に角、一緒に出ませう」

よ」と云つた。

「ほう！それはまた面白さうな話ですな」

「いや。別に面白い話しでもないですが……」

「その或る人と云ふのは誰です。この鎌倉に住んでる人ですか」

口髭の男が、性急に訊かうとするのを、神田が遮つた。

「まア〳〵、君、さう不遠慮に他人の私事に立ち入るものぢやないよ。この人と僕たちとは、まだ今夜初めて會つたばかりぢやないか」

「ふゝん、まア、さう言へばさうだが」

「いや、しかし、そんなに興味をお持ちになるほど面白い話しぢやないですよ。いづれ、そのうち、お話しする機會があるかも知れませんが」

「しかし、兎に角、そう言ふ面白い人を、僕たちの野球團に迎へるのは愉快だよ。——さうです、君もしばらく、この鎌倉に落ち着くことにしたら」

外は何時か、海岸地……深い霧になつてゐた。その霧の中を、彼等はぶら〳〵と電車道の方へ步き出したが、十間ばかりも行くと、背後から、

「もし〳〵」と呼び止めるものがあつた「相良さんとかおつしやる方、お荷物が殘つて居りますよ」

見ると、お光が、相良のバスケツトを持つて、薄暗い街燈の下に立つてゐた。

「あゝ、さうだ。有難う」

相良はすぐ引返して行つて、女からバスケツトを受け取つた。とその瞬間に、彼の別の手に、お光の暖かい手が押しつけられて、何かを握らされたのを感じた。

「何だい?」

言ひながら、見ると、それはくちや〳〵に丸められた十圓紙幣だつた。

「野宿なんぞしないで、何處かへお泊んなさい」

相良があつけに取られて居るうちに、お光はさう言つて、ついと硝子扉の中に逃げ込んで行つた。

けふ非常時大連市民大會
會する日滿人二萬
我等の決意披瀝
勇往邁進あるのみ

國際聯盟の脱退により未曾有の非常時國難に直面した日滿兩國民がその固き決意と覺悟を中外に闡明せんとする非常時大連市民大會は二十六日午後零時半から中央公園滿倶グランドにおいて開催された、この日早春の空やゝ曇り勝ちだが南風そよろに吹いて絶好の愛國日和さて永井民政署長、森本地方法院長、高柳中將、關東軍橫山大佐、山西滿鐵理事、小川市長、大内若月市會正副議長、張大連、龐小岡子、許沙河口各商議會長を始め參加する者在郷軍人聯合會、海軍協會大連支部、青年訓練所、修養團大連青年團各中等學校小學校生徒、日滿市民約二萬に達し會場中央には日滿兩國の大國旗を吊し周圍には紅白の幔幕を張り、合圖の煙花は沖天に轟き宛ら緊張と興奮の渦巻である、定刻先づ萬雷の如き拍手裡に迎へられ岡野助役登壇、開會の挨拶を爲し次いで莊重なる奏樂に伴ひ國歌「君が代」を二唱、滿場一致を以て小川市長を本大會の會長に推擧すれば白薔薇の大輪の徽章を胸に付けた小川市長はやをらマイクの前に立ち

今や我國は未曾有の國難に直面した、之れが打開の途は只建國の大精神に則り擧國一致勇往邁進あるのみ、帝國は滿洲國を扶け東洋平和を確保する爲め國土を賭し國民は身を挺して此の國難に赴かればならぬ、幸ひ此機に際し滿洲國人は帝國の此の大精神を體し共に提携して正義の爲め國論を統一し以て非常時に善處せねばならない

と式辭を朗讀、次いで日本人側を代表し高田商工會議所會頭、滿洲國人側を代表し龐小岡子商議會長の聲明あり、石本鏆太郎氏は二十萬市民の總意による左記日滿兩文の宣言決議文を朗讀し、その決議を俟つて福田顧四郎氏の閉會辭あり、後永井民政署長の發聲で日滿兩國の萬歳を三唱したが頗る盛會であつた、なほ右宣言決議文は首相、陸海兩相、外相、拓相、陸軍參謀總長、海軍々令部長、貴衆兩院議長、樞密院議長、武藤全權、鄭滿洲國々務總理あて打電された

宣言

國際聯盟は帝國の國權を輕侮し儼然たる滿洲國の獨立を否認し東洋の和平を阻害する暴戻なる勸告を敢てせり、斯くの如きは神人倶に許さゞる處吾人は國土を擧げ身命を賭し斷乎として之を排撃せざるべからず

茲に日滿兩國民の固き決意を披瀝し天佑の加護を仰ぎ東洋永遠の平和を確保せむ事を宣す

決議

一、吾人は國際政局の危機に直面し斷乎として東洋平和の確保を期す

二、吾人は滿洲國の健全なる發達を擁護し以て我が皇道を世界に光被せん事を期す

三、吾人は身命を賭して非常時國難に膺らん事を期す

右決議す

三氏より祝電

二十六日出帆のうらる丸で上京した岩井少將、山崎滿鐵理事、小澤太兵衛の三氏は非常時大連市民大會に三氏連名を以て船中より左記電報を寄せた

われ等の決意を示し市民大會の盛會を祝す

矢崎參謀、戰を前に
ハモニカを樂しむ
綏中にて　五百旗頭特派員發

錦州の街

は猛烈な吹雪またたく裡に全市を眞白に飾つてしまつた、從軍の出發にふさはしい雪降りではある

北風の唯中に　白雪踏んで　球蹴れは振ひ立つ　ラグビー早稲田

記者はこの母校ラグビー部の歌を思はず口すさんでゐた、野戰病院の人々と一緒に綏中驛に降り立つた時は世界は全く夜となつてゐた吹く風も何かしら春を思はせる生温さ、雪もない綏中の町は錦州に比べて餘程の温かさだ、停車場司令部で、…聞き〇〇部に矢崎參謀

「三分の二は死を覺悟してゐるのだぞ」友達連のこの言葉に固い決心を決めながら綏中から〇〇方面に向ふ服部部隊に從軍するべく記者は二十三日午後一時錦州出發の軍用列車で綏中に向つた、この日朝來

を訪ふ隊から約五百米、野つ原の中を衝き拔けると漸く町に出る、思つたより立派な三層樓の

城門を入

ると右側にすぐと矢崎參謀の宿舍を見出した、矢崎參謀は折から政治工作員中澤、新貝兩氏と卓を圍んで杯を擧げてゐたが快よく記者を室内に招じ

「やあ、よくやつて來たね、娑婆に名殘の無いやうに思ひ切り飮んでゐますよ、君達も本當に覺悟をしてゐるのかね、うん、それなら良からう」

「然しまあ良く考へて決めろんだね、軍人は戰死をしても目的を達することが出來るが新聞記者は死んでは目的を達せられんからね」

と情味のこもつた言葉に記者も默然と

死に角私は

先頭部隊

に從軍させていたゞきますと懇願した、記者の願は快く許された、戰ひを前にしての忙しい時に拘らず更に大崎參謀は當番の下士官に命じて記者のために寢所を心配までもして呉れた、何も飾りもなく戸棚の中に日本製らしい大黑樣が置かれた質素そのもの、部屋ではあるが何となく部屋全體が活氣に充ち充ちてゐる、折柄作戰の打合せに來た〇〇隊長をさらへた矢崎參謀は「意氣だ、何も心配は要らん、意氣さへあれば勝てるのだよ」と強い決心を傳へてゐた「さあ寢給へ」と記者に促した參謀は一人自分の部屋に殘つてハーモニカを奏き始めた、軍艦マーチをはじめ軍歌の數々、巧な奏き振りである、ハーモニカもすむと今度は尺八の練習だ、記者はその音を聞いた時すぐと小學校時代に聞いた

八代艦長

の尺八吹奏の話を思ひ出した、戰死を覺悟の戰ひを前にしてのこの靜けさ「やるぞ」記者も思はず心の中でさう叫んだ、出發は近い、綏中到着の第一夜は物凄い靜けさの裡に更けて行つた、犬の遠吠がしみ入る（廿三日夜十一時綏中にて）（寫眞は五百旗頭特派員）

五百萬圓で新京に
大歡樂境建設
松竹兩巨頭の計畫

【東京二十六日發】新興日本の映畫演劇界に君臨する松竹の兩巨頭大谷竹次郎、白井松次郎兩氏が松竹會社としてゞなく個人として資本金五百萬圓を投じ十ケ年計畫で滿洲國首都新京に東京の淺草、大阪の道頓堀、京都の新京極を綜合したやうな大歡樂境を建設すべく計畫を進めてゐる、歡樂地帶は約二千坪に大劇場二、映畫館三、溫泉ホテル、プール、スケート場等近代娯樂機關を網大洩さず含め新國家にふさはしい理想的歡樂境を建設するもので、場所の選定方は既に執政府に依頼濟みでこれが決定次第白井氏が渡滿し具體案を樹立する運びとなつてゐる

富岳の額贈呈
全權より執政へ

【新京電話】武藤軍司令官から三月一日の建國一周年記念慶祝のため執政に贈呈すべき日本精神を表徴する富岳の大額は二十五日午前十一時軍司令部第四課長坂田中佐が司令官代理として執政府に赴き贈呈した、執政は殊の外悦びこれを受納した

上住少佐平津へ

滿洲に於ける各戰蹟を視察中であつた全國各師團より選拔された現地視察團上住少佐以下十一名は二十六日出帆長平丸にて平津方面に向けた上住少佐は語る

熱河問題などで緊張した滿洲の旅行、軍隊教育には持つて來いの感動を得られた、北滿をはじめ各地の戰跡を見て感激したところだ、これから平津に廻つて歸るつもりだ、こうした視察團は時々來る必要がある

滿洲國協和會

全滿に動員して
建國精神を作興
その數々の計畫内容

滿洲國協和會では建國一周年に際し建國精神作興のため全國に動員して日滿貿易品ならびに日滿教育品、建國寫眞等の展覧會を催し又は民族協和、同情週間の設定、幻燈、覗きの巡業、映畫、娘太鼓の巡回、その他の記念事業を行ひ更に機關誌「振亞」の建國記念號を發行し或はビラ、ポスター等を配布して

國民觀念

の涵養に資する事とした、即ち日滿貿易品展覧會は六月中五日間奉天に於て開催し日滿兩國の貿易品と日滿兩國商人を一堂に會せしめ、商品の展示を爲すと共に商談を開始せしめ會期中に本年度後半期需要商品の取引を行はせるのが目的で、日滿教育品展覧會は建國記念日たる三月一日に奉天、新京、ハルビン、チチハル、撫順、鞍山、安東を標準とし一齊開催の計畫であるが開催不能の時は五月頃開催し日滿學童の童心を通じて「日滿親善、民族協和」の階梯とし兩者の學力向上を養成しやうと云ふのである、建國記念寫眞展覧會は三月十日より奉天、新京の二ケ所、日滿兩市街に於て開催し

建國前後

における…

真を通じて樂ある今日を慶祝しやうさいふのである、また民族協和運動は民族協和運動の指導により漸次自主的民族協和運動を馴致せん遠大な試みで、第一回は三月一日より十日迄十日間各地一齊にこれが工作を行ふ計畫で、また同情週間は建國の春に背き飢餓と寒氣に困憊せる極貧同胞に暖かい救濟の手を伸べ新國家の恩惠を享受せしむ可く寄附を募り貧困者多數居住する地域五ケ所を選定し三月一日より施粥を開始しやうと云ふ試みである、更に建國精神の普及を圖り重ねて協和會自體の宣傳をなすため幻燈、覗き、映畫を以て各地を巡業しなほ一周年記念日當日には新京および奉天の二ケ所で

娘太鼓を

公開し尚ら下層の民衆に建國一周年記念日たる事を知らしめ、その他新聞、雜誌社を通じ建國寫眞の懸賞募集や一般論文を募集し或は大衆讀物を發行して三月一日を期して新聞、雜誌等を通じて機關誌「振亞」の建國記念號を發行してパンフレット、ポスター等を印刷配布し大々的宣傳を爲し王道樂土の工作徹底に努める筈である

慰藉料請求
男から女へ

之は又珍！　性病と麻雀熱が原因の離婚訴訟　法律はどう裁いたか。其の他『世相を映す名裁判珍裁判物語』雜誌三月號にあり大評判

各等滿員で
二百餘名立往生
けふ門司發の香港丸

【門司特電二十六日發】二十六日門司を出帆する香港丸は各等滿員のため二百餘名の者が乘船出來ず非常な混雜を呈してゐる

多數の名士と
話題を乘せて
けふの出船

春ぐもりの二十六日出帆うらる丸は各方面の知名士、話題多數をのせて離滿した、

「内地からの招電に接し約一ケ月位の豫定で上京だ、用件は全然分らないが差當り大きな問題はないと思ふ」と夫人同伴の山崎滿鐵理事、「久しぶりの内地の海運界の樣子を見に行くのだ、それに船主協會方面から是非出て來いと電報があつたので態々行く、增船計畫なぞない、それに歸りに神戸の木材プールを一寸のぞいて來ようと思ふ」と内地各方面への航路開拓で一躍我國海運界で注目されてゐる大連汽船專務增田義男氏、二十四年間の滿洲生活から左樣ならをして歸郷する前農事會社重役栃内壬五郎氏、いかめしいところで三月三日から東京において開かれる在鄕軍人役員會出席の岩井少將、「いやこちらに來て滿洲の方々から色々承り參考になりました、これを無駄にしない樣にしたいと思つてます」と滿鐵案内事務所打合會に出席中だつた大阪商船旅客主任室塚鐵二氏、いづれも賑々しく乘船各等滿員で華々しく出帆した

ドモリを苦にし
選手の鐵道自殺
慶大競走部の松尾君

【熱海廿六日發】二十五日午後六時三十分熱海發上り列車が泉越トンネルを通過せんとした際、トンネル東口で列車目がけて飛込み無殘にも自殺を遂げた慶應大學の制服制帽の青年あり熱海署で檢視の結果、岡山縣津山市城代町松尾平五郎（二三）と宿帳に記し熱海區後屋旅館に二十二日から滯在してゐた慶應大學競走部ハードル選手と判明、同君は津山市の有力者松尾鐵一郎氏の令息、慶大新進のハードラーとして重きをなし、次のオリムピック選手候補として前途を囑望されてゐたもので遺書は父母及び知人に宛てた七通あり父母に宛てたものには「意志の弱い私にはなにも出來ません、私がドモリでなかつたらどんなに幸福だつたでせう、スパイクは私の無言の唯一の友でした云々」とあり同君は幼少の頃からそれを非常に苦痛として居たらしく之を諄々と愬へ最後に「私はドモリに苦しみ之に依つて死んで行く」とあつた

熱河軍政地區
軍事郵便取扱

【奉天電話】熱河省内における軍事郵便は熱河省内に於ける郵政事務を接收すると同時に地方治安の平定するまで奉天郵政管理局では軍政地區にたいし軍事郵便の取扱を行ふと

津田勇三氏
廿七日告別式

元本社編輯局員津田勇三氏は昨夏以來大連醫院に入院加療中のところ藥石効なく二十六日午前七時半遂に永眠した、享年三十三、氏は京都府の出身にて同志社を卒業し本社では滿鐵擔當記者として令名あり、又曾て朝鮮に在つた當時深く朝鮮における農業經濟に就いて研究し、その統計的事實を基礎させる俊鋭なる科學的論文は東大教授大内兵衛氏の極力推賞せるところで明敏の頭腦前途を囑望されてゐただけにその死去は知友間に惜まれてゐる、因に告別式は二十七日午後二時半より三時までの間に同醫院屍室において行ふ（寫眞は故津田氏）

速記者募集

速記の經驗ある者試驗の上採用す希望者は來る二十七、八兩日の中午後二時より三時までの間に履歴書持參來社ありたし

二月二十六日

滿洲日報社編輯局

天氣豫報

二十七日

南の風（曇）驟雨模樣

各地溫度　廿六日午前十一時

大連零下二　奉天零下一九
旅順一　新京同一七
營口零下六　新義州同八

非常時市民大會畫報

（上）大會々場と會衆の君が代合唱（中）小川市長の式辭朗讀（下）宣言決議文

CURIOUS Shop

國難日本刀 (255)

高桑義生作
京極佳夕畫

曙の勇士 (十)

姥ケ岩の海上では——

逃げて行く淡路守の船を、目前に見ながら、海中に飛び込んだ瑠吉を見棄てることが出來ないので間宮は船を止めて、三人ひとしく月夜の海面に、瞳を凝らした。

瑠吉の姿は、水中に沒したまゝなかなか浮んで來なかつた。

「やつぱり敵の手であつたのか」

と一人がいつた。心配さうに、

「大丈夫だらうか?」

「あの男に限つて間違ひはないが……みすみす淡路守を取逃がしてしまつたのは、殘念だ」

と間宮はいつた。

その時、

「あッ、浮んで來たぞ」

「瑠吉だ」

「おゝ、何か小脇に……」

「女だ」

「それッ」

と、漕ぎ寄せた。

たちまち双方から寄つた。瑠吉は見事な泳ぎ手練を見せて、まづお加代を船の人々に渡してから、輕々と船にあがつた。

お加代は正氣をうしなつてゐた。が、瑠吉の物馴れた手當は、すぐに彼女の意識を取戻した。水を飲んではゐなかつた。お加代は瑠吉と氣がつくと、夢のやうな氣がしたが、極度の喜びで、口をきくことが出來なかつた。

瑠吉は、

「話はあとです。お加代さん、だまつて、氣を落着けて……なあにそのまゝ……そのまゝじッと寢てゐて下さい」

お加代を船底に寢かして、同船の者の着物を借りて、彼女にかけてやつた。お加代はそれに全身をかくして、顔を包んで、涙にむせんだ。

瑠吉は裸體になつて、櫓に飛んで行くと、强ひて櫓を押してゐる者とかはつた。船は急に矢のやうにすべり出した。

しかし、淡路守の船は見えなかつた。

間宮は瑠吉によびかけた。けれども、懸命な瑠吉の耳には入らなかつた。で、瑠吉の傍に寄つて行つて、

「もういゝ。君にばかり骨折をかけてすまない。山は見えてゐるのだ。お加代さんを取返しただけでも十分だ」

「ですが、殘念ですね」

「ひと休みしてくれ。あんな者はいつでも懲すことが出來るのだから……」

「それはさうですが……」

「同志はあれからホールの住居に向つたはずだ。淡路守が何處へ行くか? わたしの考へでは、今夜は多分ホールの處か、或は本牧御殿に違ひない——と思ふ」

まもなく、彼等は船を向ふ岸に着けて、上陸した。おなじ場所に淡路守と傳次が乘り棄てたらしい一艘の船が漂つてゐた。

瑠吉は辭退するお加代を背負つた。誰も見るものもない。人家はあつても、燈火を消して、しいんと寢靜まつてゐる。幸ひ警備の役人にも遭はず、まもなく彼等は糸平——田中屋平八の家に引上た。

一方、淡路守の役宅を襲つた群衆は、それからぐるッと廻つて、ホールの商館を襲ひ、更に彼の住居を襲撃した。さうしてホールの姿を求めたが、すでに行方をくらましてゐた。安齋要藏は巨額の金を拐帶して、これも逐電してしまつた。

瑠吉や間宮や——四人がお加代をあづけて、糸平の宅を出ようとするところへ、お千が飛んで來た。

お千は与之助の無事を告げた。そして、

「勝の殿樣と、まもなく此方へお引上げになります」

瑠吉は狂喜した。そしてお加代にも無事に救つた事を語つた。知らせを聞いたお加代の喜び!

本社特選 新棋戦 (其七)

角落 八段 △土居市太郎
四段 ▲志澤春吉

【圖は四四金迄の局面】

土居氏持駒歩歩歩

志澤氏持駒歩

▲五五歩 △同歩
▲四六歩 △二四歩
▲同銀 △八五歩
▲同桂 △二五桂
▲四七歩成

【土居八段講評】志澤君は一旦五五歩とつき、而して後に四六歩と打つて角の活動を圖つたのは含みある指手、上手敵の四六歩打に對し同銀では角に侵入され面白くないから二四歩以下桂の早逃げは局面上已むを得ない。

【萩原六段解說】志澤氏の五五歩は飛車の活用を廣くしてよかつた、土居八段の同歩は敵に五六歩と取られては八四角の偉力があつて全滅する故同歩と取つたのである、志澤氏の四六歩は八四角の活用を圖り好手である、志澤氏の二四同銀で同歩と取ると敵に二三歩又は二五歩と打たれて面白くないので同銀と取つたのである、土居八段の八五歩は何時でも桂の持てる樣にして置いたものであるが續いて二五桂は敵の四七歩成を避けたものである、この二五桂で四八飛では敵に四四金と取られ同歩四七金と打たれて惡いのである。

「また逢ふ日まで」
松竹蒲田作品・中央映畫館

久しぶりの蒲田映畫の傑作品である、靜かに銀幕を見つめてゐると各場面に盛られた人々の感情が胸に迫つて來る映畫である

たゞこれが上映に際して最も注意せねばならないことは、下手な解說をしてこの優れた心境映畫を新派悲劇たらしめないことである、一般のファンにこの作品の良さを知らす責任の大半は解說にあると言つても過言であるまい

……◇……

心境映畫作者として定評ある小津安二郎監督が野田高梧の良きシナリオを得て贅澤なキャストを以て會心のメガホンをとつてゐる

女の男に對する優しく悲しい心づかひ、男の女に對する感謝の思ひやり、子を思ふ親心、親に悲みを知らせまいとする子の心、互に思ひやる兄妹愛、女同士の友情、すべて登場人物の息詰るやうな感情と感情が觸れ合つて銀幕から滲み出て來る、小津安二郎監督の俳優指導は素晴らしいもので傍系人物の友達にまで感情を立派に持たしてゐる

……◇……

主なる配役は岡田嘉子の女、岡讓二の男、奈良眞養の父、川崎弘子の妹で何れも全力を傾注して熱演してゐるのも近來珍しい緊張味を見せた作品となつてゐる【寫眞は岡田嘉子と岡讓二】

愛兒を片輪にする恐ろしい骨の病氣

發育の遲い子……榮養不良の子……腦の發育の惡い子……食べ物の好き嫌ひの多い子……眼の惡い子……齒の弱い子……は

どうすれば丈夫になるか?

如何に頭のよい天才兒でも、學校の成績の優れた子供でも、體が弱くては成功する事が出來ませんのみか、あたら英才を抱き乍ら遂には半途で早逝する例の多いのは人の知る通りで、折角愛撫して育て上げ、前途に多大の望を掛けた親心に之れ位痛ましい事はありますまい。誠に身體の強弱は人間一生の運命を左右するもので、虚弱な爲に出世の出來ぬ人が親を怨むのも一面尤もであります。

重大な母の責任

虚弱な體質はどうして出來るかと申しますと、多くは、發育期の子供の時に母親の不注意から大切な我が子を虚弱者に仕立て上げるので、中には悲慘な片輪者にして、一生を暗黒にしてしまう事さへあるもので、母親の責任と云ふものが如何に重大であるかは解るのであります。では子供を育てるのに一番注意せねばならぬ事は何かと申しますと、それは先づ榮養であります。

粗食で百十九歳

然し榮養といふ言葉は多くの人が意味を穿き違へて居るやうで、御馳走を食べる事を榮養と思つて居たらそれは飛んでもない間違ひです。中流以上の家庭で毎日美味しい物を食べて居る子供に榮養不良が多いのは何を物語るものでありませうか。今回東京三越で開かれた延命長壽の展覽會で、日本一の長壽者と稱へられた百十九歳の倉平ハルさんは、子供の時から稗や麥を常食にして居たと云ひます

神經質な今の子供

其他の百歳以上の長壽者も、皆殆んど一致して食物に好き嫌ひが無く、何でも食べて居る處から見れば、食物が一方に片寄らずに廣くいろ/\な物を食べるのが良いといふ結論になります。然し昔と違ひ、文化の進むに連れて子供が一般に神經質になる結果、食物の好き嫌ひが多く、兎角一方に片寄る事になり、同時に日光に浴する時間が少ない爲にヴイタミンが不足して、知らず/\の間に病氣の原因を作つて了うのであります。

四角頭と長頭

その中でも著しいのは、ヴイタミンDが不足する爲に骨が軟かくなつて佝僂病(セムシ)を起す事でそれが乳兒なれば頭のヒヨメキがいつ迄も塞がらず、頭の形が樣々に變つて四角頭や長頭、セルロイドのやうにベコ/\になつたりします。また肋骨が軟かくなる爲に胸が彎曲し、或は鳩胸、中の凹んだ漏斗胸などになるのもあり、脊骨も足の骨も曲り、ベタ足ガニ股O字脚、八字脚等になります。

ねあせをかく子

尤も右の樣な骨格の變化は病氣が大分進行してからの事で、初期には貧血のため顔色が蒼く、いつも不機嫌でメソ/\とよく泣き、殊に乳兒では夜泣きをして中々やまず、寢あせをかいて枕を濡らし又、足の立つのが遲く、齒の生えるのも遲れる上に多くは齲齒になり、腦の發育も遲くて低能兒になり易く、從つて學校の成績も惡く更に肺病その他結核性の病氣に罹り易いと云ふ危險があるのです。

「捨て、置けば盲目になる」

次に、ヴイタミンAが不足すると、生長が止まり、貧血を起し、元氣が無くなり、特に眼がわるくなつて眼炎、角膜乾燥症、たゞれ眼、夜盲症などを起し、遂には哀れな盲目にもなるのです。また寄生蟲に冒され易く、恐ろしい傳染病や結核性の病氣に罹り易くなります。右の樣なヴイタミンAとDの不足から來る病氣を防ぐには、どうすれば良いかと云ひますと、それはヴイタミンAとDを服むより外に方法は無いのであります。

AとDを一緒に

然しAだけ、或はDだけを單獨に服むよりも、AとDを併せて服む方が効果が多いので、それには都合のよい事に、肝油の中に右のAとDとが共に多量に含まれて居るので、即ち肝油さへ飲めば完全にその目的が達せられるのであります。が、たゞ肝油は御承知の通り飲みにくい上に、胃腸を害したりするので、折角一瓶の肝油を買つても、十分の一も飲まずに捨てると云ふ不經濟な事になる場合が多いのです。

肝油は日本が世界一
十五滴で効く肝油 幼兒なら一二滴で充分

元來、肝油は世界でノールウエーが第一とされて居たのでありますが、今では日本の肝油が品質に於て世界第一位を占むるに至つたのは何と愉快ではありませんか。左に世界各國の肝油のヴイタミンA濃度を比較しますと(比色數)

米國品 七、〇
英國品 三、〇
ノールウエー 三、七
佛國品 七、〇
獨逸品 三、五
日本品 二〇、〇
平均

右の通り日本品は外國品に比べて數倍の効力があるのですが、

特に 河合藥學博士の發明されたミツワ濃厚肝油はヴイタミンAが二〇〇、〇以上も含まれ、歐米の稀薄な肝油に比べると實に五十倍の強度に一定し、ヴイタミンDも之に伴つて極めて多量で、一般の肝油の標準から見れば遙に高い處に達えて居るのであります。然し濃厚と云つても油が濃い譯ではないので、油は純粹な肝油そのまゝでヴイタミンAとDだけが多くなつて居るのであります。之は誠に

有益 な發明として十幾つの專賣特許を得て居りますが、右の樣にヴイタミンが多いから外の肝油のやうに一回に五グラムも十グラムも飲む必要は無いので、その十分の一、即ち、〇、五グラム(十五滴)か一グラムでよく、幼兒なら一滴か二滴を母親の乳首に塗つて與へれば充分に効果があるのですから、何な人でも平氣で飲み、量が少いから胃腸もこわさず、ゲップも出ず、下痢も起さぬ理想的の肝油であります。此濃厚肝油を用ひて作つたのが前に述べたミツワ肝油ドロップスで、弱い子供が強くなつた事實、一年に二貫目肥つた實例、白髮が黒くなつた實例などもあると云ふ事で、多くの醫師も推奬して居ります。

おやつ代りの榮養料

殊に肝油の品質はまち/\で、ヴイタミンの量が少なかつたり一定して居なかつたり、といふ有樣なので、藥學博士河合龜太郎氏が根本的の研究を行つた結果、ヴイタミンA・Dの濃度が五十倍にも達する濃厚な肝油を發明して之を乳化した上、更に骨の發育を良くする燐とカルシウム、血を増す鐵、胃腸を強くするキナ及び酵母(ヘーフエ)を加へ、脚氣を防ぐヴイタミンBをも含ませて、美味しいお菓子に造つたものが、即ちミツワ肝油ドロップスであります。

知らず/\丈夫な體に

このミツワ肝油ドロップスは、肝油が完全に乳化されて居るので胃腸の吸收が良く、消化を害せず各成分の綜合作用によつて効めが非常に早い上に、子供がおやつの代りに喜んで食べるので、知らず知らずの間に強い丈夫な體になると云ふ處から、多くの醫師にも家庭にも實驗されて其効果の確實な事を立證され、日本は元より米國英國、佛國等の專賣特許にもなつて居ります。近來いろ/\な肝油製劑が出て選擇に迷はせるので、やはり何と云つても河合博士のミツワ肝油ドロップスが一番安心確實である事を、御注意申上げて置きます。

皮膚病の新しい療法

近來獨逸の治療界では、子供によくできる濕疹、くさ、トビヒ等のおできは、多くは榮養不良でヴイタミンDが不足する爲に起るのであるから、たゞ表面から癒さうとしても中々癒らぬ、之は根本の原因を考へないで、たゞ表面から癒さうとしても中々癒らぬ、之は亞鉛華硼酸軟膏などで患部を包み、同時にヴイタミンD劑を内服させれば早く癒ると云ふ說があつて、新しい療法として試みられて居る。

小兒の結核
早く治せば却つて免疫性になる

醫學博士 田村均

結核に罹り易い小兒の體質は、一般に痩形で、首は細く長く、胸は扁平で、厚味が足りず、或は鳩胸であつたり、これと反對の漏斗狀であつたり、胸圍が狹く、皮膚はザラザラして毛深く、顔色蒼白く頰にだけ赤味があつたりするのは結核に侵され易い體質で、醫者の言葉ではこれを無力性體質といひ、こんな體質の小兒は成人後によく胃の下垂症を起したり、その他總ての組織に緊張力が不足してゐるものである。右のやうな體質の小兒は勿論丈夫な小兒でも麻疹百日咳等の後や、流感その他重病の衰弱期には特に結核の豫防に留意しなければならぬ。小兒結核の治療法を簡單に述べるならば

一、榮養をよくすること、食物は片寄らぬやう、不消化物を避け滋養に富んだものを規則正しく與へること。

榮養劑としては種々あるが、肝油は最も宜しく、殊に肝油ドロップスは自分の經驗上最も好適のものと思ふ。(中略)榮養劑は如何に學理的のものでも、これを小兒に持續して用ひ得ないものでは、實際上の役に立たない。この意味で肝油製劑中、幼兒には肝油ドロップスが最も適してゐる。(東京日日新聞(家庭欄)拔萃)

滿洲日報

聯盟の結論に對し全般的に協調
米が發した覺書内容

【ワシントン二十五日發】米國務長官スチムソン氏が次期長官たるコーデル・ハル氏と打合せ聯盟宛發送した覺書左の如し

米國は聯盟が日本及び支那に對し紛爭の平和的解決のためその政策を一致せしめん事を求めたる訴への中に含まれたる結論に對し全般的に協調するものである、アメリカと聯盟は滿洲國不承認に關し共通の立場にあり、ドラモンド氏の勸說に對しては米政府は日支兩國間に進展した形勢に於て聯盟が可決した報告書中に表明された意見と全く同感なり、我等共同の目的は國際紛爭を平和手段に依り解決し平和を維持するにありアメリカは平和に對する聯盟の努力に對してはこれを援助すべく努力し來つた聯盟は日支兩國紛爭解決の原則を勸告したが米政府はその締結せる諸條約の下に適當なる限り右に對し全般的裏書を與ふるものである、米政府は永年善隣の關係にあつた日支兩國が今や明確に表明された世界輿論に鑑み國際紛爭を平和手段以外何物に依つても解決さる可らずとの國際團體の要求と希望にその政策を合致せしめん事を熱心に希望して止まない

山海關の上空に支那軍飛機出沒
人心漸く動搖の色

【山海關二十六日發】支那側は優秀なる飛行機數十臺をもつて山海關熱河方面の擾亂を策してゐるが二十五日山海關の遙か上空に得體の知れぬ軍用飛行機が時を定めず飛行しつゝある事實をみるも支那軍空軍力は決して侮り難きものあり山海關の人心は支那軍隊一線の緊張と軍用飛行機の飛來で動搖の色あり、我軍は萬一に備へ若し支那軍にして挑戰的に出づるに於ては如何に支那軍の本據地に接近し且つ堅固なるも直に出動これに對抗し得るやう嚴重警戒中である、因に我飛行機は從來偵察飛行をなせるが決して國境を越える事なく今のところ關内敵兵の實情は察知し難く山海關の防空には一方ならぬ苦心が拂はれてゐる

山海關西方 支那軍緊張

【山海關二十六日發】山海關西方に駐屯する支那軍は二十六日朝來非常な緊張を呈しつゝあり今朝十時記者（江崎國通特派員）が六三寺に登つて西方を眺めたるに支那軍の第一線は昨日に比し兵力增大し宿舍の煙も盛んに立上つてゐる騎兵隊はこの間を盛んに活躍しつゝ近來にない緊張振りである

張作相愈よ承德へ

【北平二十六日發】熱河の戰禍漸く擴大し兩軍の衝突愈々本舞臺に移らんとしつゝあり、學良は二十五日夜緊急將領會議を開き各將領に最後の激勵をなし防備に就かしめ一方第二集團軍總司令張作相に前線出動命令を發し作相は二十五日直に承德に向け出發した

山西軍既に增援準備

【奉天電話】山西軍は平漢、北寧、平綏線に列車を準備し何時でも增援の出來るやうに用意してゐると

張學良直系軍 熱河へ增援

【奉天電話】北平にありし張學良直系の第百八師は二月十九日以來灤州附近に移動せるも二十三日界嶺口を經て熱河に歸りつゝあるが熱河における反滿軍の增援と見られてゐる

五千の敵正規軍 灤州から界嶺口に移動

【奉天電話】丁喜春指揮の學良正規軍第一〇八師は十九日以來北平より臨時列車にて灤州に移動されつゝあつたが、二十五日より長城線の界嶺口に向け移動しつゝあり

この正規軍は兵力五千餘、砲數十門を有する有力部隊である、これは熱河にある反軍が交代の場合省城の線によつて防禦するものとして重大視されてゐる

銀野進軍（朝陽目差す早川部隊）

この統帥者にして支那にこの軍隊
熱河の反滿軍討伐と河北政權

宋子文は十一日北平に到着以來張學良を激勵し積極的抗日を行はしむるために東北熱河後援協會を組織し義勇軍に供給するために平津銀行家を召集して一千萬元の公債募集を強要し一面英米公使を籠絡して日本の熱河討伐を牽制せしむる運動をなす等、八面六臂の手腕を揮ひ、抗日に大なる役割を演じ、最後に自身並に張學良、張作相、朱慶瀾一行の熱河入りまで漕ぎつけ、そして十八日附で張學良、張作相、湯玉麟、萬福麟、孫殿英等二十七名連名して「中外に自衛」の通電を發して、滿洲國に反抗を表明した

×

張學良は河北保全に極度の執着を有するところから熱河に對してはその成算なきに鑑み、自己がその衝に任ずるを極力回避し「中國の重大責任は軍人のみでは無く、政府と人民が聯絡して共同進行するを必要とする、上海より來た諸君は總統の組織と方法とを以て援助と指導を與へられんことを希望す」と共同責任を高調して遁辭をもうけてゐる、そして宋子文から鞭打たるゝやうにしてやうやく熱河に赴き、又通電にも勢ひ連署せざるを得なかつたが直系の王樹常、于學忠等を除いた

熱河義勇軍はその數十五萬の多きを數へるが、全く烏合の衆に過ぎず、義勇軍の將領湯玉麟、孫殿英、沈克、馮占海、李海青、鄧文、檀自新、彭振國、劉震東、馮庸、劉桂堂（既に滿洲國に歸順）丁幹執、劉月庭、邢德喜、崔新五、張從雲、盧振亭、劉香九、富春、石文華、孫德荃、于兆麟、王永盛、鄭德清等で鷄鳴狗盜の雄に過ぎない

そして、その間何等の統一なく、將領間に意思の疎通無く、隨意行動をなしてゐるから張作相を棟梁に仰いで辛うじて統一を保たせんとするのである

×

張作相とて成算ある筈なく幸にして成れば固より我河山を復し、莫大の恥辱を雪ぎ得る、若し不幸にして成らざるも亦我軍擧を振興し民族の精神を發揚し得ると通電し自ら成らざるを豫期してゐる、統帥者が斯かる態度であるから、その軍隊たるや思ひ半ばに過ぎるものがあらう、一度皇軍の掃蕩にあへば疾風に捲かるゝ枯葉の如く一たまりもなく崩潰する運命にある

×

しかしながら、彼等は十九路軍の上海における以上に抵抗と戰鬪を誇張して「民族解放」を叫ぶことだけは間違ひなく、そこへ一條の活路を見出さんとするであらう。殊に注意すべきは陸海空軍總司令たる蔣介石の態度で、彼は南昌に縮まつて、北方局面に風馬牛の態を裝ひ、之に對して文官たる宋子文が北方で抗日の采配をふるひ「蔣は安内に、宋は攘外」の任務を遂行するといふ、支那側が稱へつゝあることである。蔣は日本と直面するを避け、熱河問題發生後首鼠兩端的態度を取るに便ならしめるものであらう

×

そして熱河掃蕩後の河北における張學良の運命については種々の觀測が下されてゐる

（A）張學良の勢力は熱河義勇軍の掃蕩を以て終焉とする、彼の軍隊は消滅するから勢ひ彼は亡命の他無い

（B）直屬軍を全うして保定の線か綏遠へ退却する

（C）彼は直屬軍を全うして飽くまで平津の地盤を固守せんとする

等々であつて、張學良勢力の潰滅を前提として河北政權の推移には

（A）河北は蔣介石の手に歸する、何應欽或はその他の直系將領が河北を接收する

（B）馮玉祥、宋哲元等舊西北系か或はそれが熱河よりの敗軍を糾合して接收する

（C）閻錫山を主體とする山西系の一手に歸する

（D）段祺瑞を首班とする北洋系勢力が蔣介石と合流して善後措置に當る

の何れかに歸着するであらう

×

たゞ張學良としてはその直系軍を維持して今日の如く蔣介石と合流し、その實力の堪へ得る限り河北地盤維持に執着するであらう。蓋し綏遠に退くにしても、せいぜい平綏沿線では二ケ師の兵しか養ひ得ぬ、しかも今日山西系軍が其處に頑張つてゐる。河南は鄭州が地盤を固守し保定以南へ近寄せんとしないであらう。八方塞がりであるから政權を維持せんとせば勢ひ平津に據る以外方法は無いから

×

今日熱河省内に入つた張學良の直屬軍隊は四ケ旅であるが、彼等は皇軍の進出とともに戰はずして原駐地に引揚げる計畫であり、熱河長城近くにある軍隊は勿論日本軍との接觸を恐れ回避するであらうし、平津方面にある王樹常、于學忠の軍隊は平津以外に移動を欲してゐないから結局熱河には雜軍のみ押込んだ形である。熱河からの多數の敗殘軍が平津方面に潰退の狀態如何？同時に反蔣派の合流如何で平津方面局面變化のファクターとなる事も考へられる。そして戰爭に際し局面は意外のところから破綻を生ずるから學良がその執着するが如く平津に依然蟠踞し得るか否か、しばらく局面の推移を觀察する必要がある（北平にて風間特派員發）

下士官の教育に力をそゝぐ
遊擊隊の美崎大佐談

【奉天電話】奉天綏安遊擊隊總司令部美崎大佐は語る

遊擊隊は執政直系軍政部の指揮を受け國防上の軍事行動を整へねばならぬから熱河討伐には第一線に立つ責任があるが今の處では出動はしない、寧ろ下士官の教育に力を注ぎ優秀なる人材を養成せねばならず、遊擊隊に少年隊を組織するとの說が傳へられたが、あれは虛言で既に少年隊は組織されてゐるから今後少年隊下士官、士官候補生の訓育を如何にするかの問題である何れ機會を見て遊擊隊が世間から誤解されてゐる點を闡明にしたいと思つてゐる、隊員は滿洲人であるが文字を知らぬ者は一名もゐない、全く素質の惡い者と世間では見られてゐるがこれも一掃したい、部隊の改變に遊擊隊としての任務を主張し名譽を回復する覺悟である

わが米山先遣隊熱河街道を北進す
勇名轟く古强者

【綏中二十六日發】行動開始の命令に接した服部部隊はいよいよ二十六日午前八時三十分決河の勢ひで進擊を開始した、東邊道討伐、滿洲里古領等に勇名を轟かせた古强者揃ひの服部部隊だけ全軍將兵の意氣は正に天を衝くの槪がある

【綏中二十六日發】行動を開始した服部部隊の榮ある先鋒を承つた米山先遣隊は〇〇臺の軍用自動車に分乘、敵が難攻不落と賴む天然の要害〇〇〇〇を一氣に突破すべく轟々たるエンジンの音を寒空に響かせながら綏中熱河街道を一路北進する、時に二十六日午前八時三十分、先頭の自動車には米山先遣隊長と並んで滿洲里一番乘りの殊勳者矢崎鬼參謀のごつしりした巨軀が見える、記者が「又今度もうんとやつて下さい」といへば「うん見てゐて呉れ、ウンとやるよ」とニッコリほゝ笑みながら自信に滿ちた眼を光らせる、米山先遣隊も必ず目覺しい動きをするに相違ない、行く手には雲霞の如き鄺桂林軍及精銳を誇る孫德荃軍が天嶮に據つて日本軍いざこい來れと頑張つてゐる

怨嗟の聲 熱河省に漲る
蕩將軍玉麟

【錦州二十六日發】苛斂誅求多年熱河全省民の骨の骨までしやぶり盡した湯玉麟に對する怨嗟の聲は今や全熱河の山野に滿ちみち最近質朴な熱河民衆の間にこんな民謠が非常な勢ひで流行してゐる

早去一天、天睜眼

晚去一天、地無皮

壯烈な遭遇戰展開

【綏中二十六日發】午前七時半綏中を出發した服部部隊の米山先遣部隊は午前九時半〇〇〇〇において敵の有力部隊に遭遇壯烈なる遭遇戰を展開目下激戰中

【綏中二十六日發】二十六日午前十時〇〇〇〇〇南方に聳ゆる山側に迫つた我米山先遣部隊は〇〇〇上流の溪谷を遡り前進又前進山峽より山砲、野砲を以て頑强に抵抗し來る敵の砲火を物ともせず猛射を敵に浴せかけた、敵は早くも浮足立ち我軍は遂に最前線の高地を奪取第二第三の敵陣地帶に猛擊を加へてゐる

我空軍掩護

【綏中二十六日發】〇〇〇〇〇一帶の天嶮に據り頑强に抵抗を試みつゝある孫德荃、鄺桂林軍を攻擊せる米山先遣部隊の攻擊を掩護する爲め今朝我航空隊森田矢木兩中尉の指揮する〇機編隊は〇〇〇〇上空を爆擊すべく急遽出動した

第〇〇團朝陽入城

【奉天電話】第〇〇團は二十六日午後一時久しく駐屯してゐた親しみある錦州を出發朝陽に威風堂々入城した

白雪を點々紅に染む
朝陽附近の戰鬪

【錦州特電二十六日發】第〇團發表＝鈴木部隊は二十五日拂曉正面の敵を驅逐した、この戰鬪は李家口北方高地より其の南方大凌河より南岸高地に亘る線に展開し、敵の主力陣地を攻擊した、井上部隊の主力は二十五日早朝より桃花園東方地區に集結中の敵匪を包圍攻擊しこれを追擊しつゝ朝陽西方の地區に迫つた、一方橋本部隊は羊牛營子を二十五日拂曉出發、早川、田中、三宅三部隊の戰鬪員に協力し主力をもつて分頭營子附近の陣地を占領し、早川部隊と協力しつゝ前進中である、三宅部隊は鳳凰山南方地方より敵の主力を攻擊し敵を壓迫しつゝあり、二十四日以來の戰鬪における我損害は前川大尉輕傷、下士以下七名負傷、田中部隊負傷下士以下五名砲兵下士一名であつた

【奉天電話】二十四日羊牛營子の戰鬪で敵が遺棄した死傷者は相當數に達したが夜間に乘じて殘匪が收容した模樣で、戰場は白雪を點々と赤く染め凄慘そのものであつた

北支方面を嚴重警戒
居留民保護に備へて

【東京二十五日發】海軍省公表＝昭和八年二月二十五日海軍では日滿軍の熱河掃蕩に伴ひ排日暴行の勃發することあるべきを考慮し居留民保護に備ふるため北支方面に對し嚴重なる警戒配備をなすると共に中南支に對しても相當の手當をしてゐる

戰意喪失
支離滅裂の匪軍

【東京二十五日發】＝二十五日午後陸軍省着電＝日滿軍の得た捕虜並に投降し來れる部隊長及び沿道民衆の陳述を綜合すれば熱河方面にある敵軍は既に戰意を喪失し續々退去中であるが何等の統制なく幹部は逸早く逃走し而も部下に退却目標等を示さないため支離滅裂の混亂狀態で同士打ちを演じ敗殘兵は沿道において掠奪暴行を働くので民衆も自衛上これ等匪軍を邀擊してゐる模樣である

警戒配備 海軍省發表

【東京二十五日發】海軍省公表 昭和八年二月二十五日海軍では日滿軍の熱河掃蕩に伴ひ排日暴行の勃發することあるべきを考慮し居留民保護に備ふる爲め北支方面に對し嚴重なる警戒配備をなすると共に中南支に對しても相當の手當をしてゐる

朝陽南方退却の敵匪を爆擊
徹底的打擊を與ふ

【新京電話】二十六日午前十時關東軍司令部發表＝朝陽に向へる鈴木部隊及び松田部隊は二十四日大白咬、石門子溝附近（朝陽東方約十キロ）の既設陣地に據り敵を擊退し二十五日午前十一時ごろその先遣隊を以て朝陽に進入せりまた同時刻飛行隊は朝陽南方約十二キロ馬飲池營子附近を建平方向に退却中約二千の敵に對し爆擊を加へ徹底的打擊を與へた

重要法案まだ衆議院に山積
三月十日ごろ貴院廻付をまち相當活氣を呈せん

【東京二十六日發】第六十四議會も既に半ばを過ぎアト一ケ月足らずとなつた、今日政府より提案の豫定でありながら未だ提案を見ずにある重要法案は

負債整理組合法案、關稅定率法改正案、擔保附社債發行法案、兒童虐待防止法案、滿鐵社債肩替法案、八年度追加豫算案等で更に重要法案にして提案されたのみで未だ委員附託にもならずにゐるものは選擧法改正案、製鐵合同會社法案、通信特別會計法案があり、このうち選擧法改正案は早くも握り潰しを豫想されて居り更に衆議院に於ては恩給法改正、爲替管理法、米穀統制法等の重要法案が未だ委員會で質問續行中で重要法案中豫算案不穩公債の外は未だ全部衆議院に山積されてゐる有樣である、また貴族院では分科會委員會等で審議中の外三月十日前後に至れば衆議院より相次いで貴族院に送附される諸法案で貴族院は法案の洪水に見舞はれ最初無風帶の如き議會は之等諸法案を迎へる貴族院で相當の活氣を呈するものと見られてゐる

米國務長官報告書支持

【ワシントン二十五日發】聯盟より二十一ケ國諮問委員會參加招請狀を接受した國務長官スチムソン氏は總會の報告書を原則的に支持する旨の回答を發するに決した

日本威嚇は無益
リ卿の演說

【ゴッダルミング（イギリス）廿五日發】支那調查團委員長リットン卿は本日當地で日支問題で演說をなし余は飽迄日本を反省せしむるやう努力すべきで日本を威嚇するも無益なりと說き左の如く述べた

現在最も必要な事は第一に國際條約違反の行動は何人もなし得ぬといふ事、第二に誠意を以て國際條約の範圍內で問題解決を圖る事が重大なるを日本に知らしむるにある、規約第十六條の制裁規定發動時期等を論じ日本を威嚇するも無益である

脫盟手續
臨時閣議で報告

【東京二十五日發】政府は二十五日午後四時半首相官邸に臨時閣議を開き齋藤首相以下全閣僚出席內田外相より松岡代表の反對聲明內容等を詳細に報告し、聯盟脫退手續については書類その他の整理上一週間乃至十日を要する旨を述べ整理完了を待ちこれが手續を執る事とし次いで製鐵合同法案を決定五時半散會した

脫退後措置
澤田局長に內訓

【東京廿五日發】松岡代表の聯盟引揚に伴ふ軍縮會議脫退問題、帝國事務局の存廢問題等に關し外務省は廿五日陸海軍當局と協議の結果帝國政府の脫退正式通告後の措置に關し大體左の方針を決定し廿五日午後其の旨在壽府澤田帝國事務局長に內訓を發した

一、脫退通告と共に在壽府帝國事務局を極度に縮小し二年後之を廢止す

一、正式通告後は理事會及總會に對しては缺席す、通告以前に於ては代表代理を必要に應じ出席せしむ

一、軍縮一般會議に對しては正式通告後と雖も軍縮事業に對する協力の誠意あるを示すため代表代理を參加せしめ專門委員會に對しては從前通り協力す、通告後二ケ年を經過した後は非聯盟國として招請された場合オブザーヴァを特派す

一、國際勞働會議世界經濟會議等の文化的事業に對しては協力の誠意あるを示すため通告後二ケ年間は正式代表を參加せしむべきも二年後は非聯盟國としてオブザーヴァを特派す

日滿經濟提携の具體的方策

【東京二十六日發】日滿經濟提攜に關しては曩にその根本方針の確立を見てゐるが今次更に製鐵事業に就き廿五日の閣議で日滿經濟ブロックを圖ることに一決した、その具體的方策としては滿洲國側は本溪湖と昭和製鋼所を合流せるものを一案とし我國は今次申請せんとする日本製鐵株式會社を一體として兩社における生產販賣の大方針に關しこれが具體的實行を審議決定實施するため日滿製鐵委員會を設置することになり滿鐵、拓務省、軍部、商工省の各役人その他によつて同委員會を構成商工省內に設置されるものと見らる

爲替管理に必要な經費

【東京二十六日發】今議會に提出された爲替管理法案はその權限が極めて廣汎に及んでゐるので衆議院の同法案委員會においても同法實施に當つては爲替管理委員會の如き機關を設置して適當にその處置を講ずべしとの意見が強いが今議會の協贊を得た八年度豫算には右に要する經費を計上しなかつたので今後萬一貿易管理にも及ぶ徹底した管理を必要とする事態發生するが如き事あらば差當り第二豫備金より支出して應急の間に合せる事となつた

首相葉山で靜養

【東京二十六日發】齋藤首相は二十六日午前八時五十分東京發夫人同伴葉山別莊に赴いた同地で一日靜養の上歸京する筈

熱河の大空に 滿洲航空會社が躍進

八十%の連絡成績をあげて 滿蒙開發に貢獻

【新京電話】滿洲航空會社では開業以來益々好成績をもつて滿洲の空を翔け廻り産業開發その他に資してゐるが、同會社副社長兒玉國雄氏は語る

目下滿洲における航空路は

一、新義州、奉天、新京、ハルビン、チチハル(毎日但し新義州奉天間は日曜日缺航)

一、大連、奉天間(毎日)

一、チチハル、ハイラル間(一週二回)

一、新京、敦化、龍井村(一週三回)

一、新京、佳木斯、富錦(一週二回)

一、ハルビン、海倫、克山、チチハル(一週三回)

最後のものは最近これを停止し三月上旬よりは拉哈、ハルビン間一週三回を開始することゝなつてゐる、尚熱河地方の航路は未定であるが新京、奉天、錦州、朝陽、熱河の二線の内に決する豫定で或はこれを巡回することになるかも知れない、尚飛行回數は一ケ月一千回で飛行距離は一ケ月十七萬キロに達し飛行成績は目下通信機關の不備のため缺航比較的多く飛行成績九十五パーセントであるが全體の連絡成績は八十パーセントにしかならぬ狀態である

赤字公債法可決

衆議院本會議(廿五日)

【東京二十五日發】二十五日衆議院本會議は午後一時十七分開會秋田議長　今日を以て會期三分の二を經過したよつて本會議は定例日に拘らず開き得ることとし委員會は院議に諮らずして本會議を開き得ることゝしたい又法律案は正規の日程を置かずして本會議に上程することにしたいと諮り異議なく決定日程に入り

一、日本興業銀行法中改正法律案(政府提出)

を上程高橋藏相の説明あつて委員附託

一、保險法中改正法律案(政府提出貴族院送附)

中島商相の説明にて委員附託

一、遞信事業特別會計法案(政府提出)

を上程高橋藏相の説明あり十八名の委員附託

一、意匠法中改正法律案(政府提出)

竹内委員長の報告通り可決

一、七年法律第六條中改正法律案(七年度一般會計歳出の財源に當る爲め公債發行に關する件)(政府提出)

三井委員長の報告あつて可決

一、船舶安全法案(同上)

一、船舶職員法中改正法律案(同上)

一括同井委員長報告あつて可決次いで日程を變更し

一、地租法中改正法律案(政府提出)(松岡外四十名提出)

外四件を緊急上程、菅原委員長の報告あり之に對し川口義久(政)西脇晋(民)小池仁郎(民)各君より本案に含まれてゐる東北北海道沖繩並に鹿兒島縣大島郡は他の地方に比し産業上の不利益多く民力疲弊してゐるから之等に對し負擔輕減の圖を速け極めて緊要な事である旨を述べ滿場一致可決日程を變更し議員提出水產會法中改正法律案二件を可決

一、建築師法案外七件を委員附託

一、大神都特別聖地計畫實施に關する建議案(島田俊雄外十名提出)を特に上程

濱田國松君(政)　中外非常時に際し國民精神の作興思想惡化防止對策として國民心理を我國の光輝ある三千年の歴史に結び何者にも侵されず動かされぬ民族精神を確立し拔本的の方法を講ずる事が必要である政府は速かに本案の趣旨に依り聖地計畫の調査具體化を急ぐべきである

齋藤首相　趣旨には贊成であるから愼重に考慮する

と答へ即決可決次いで議員提出

一、漁船保險法案外二件

委員附託殘餘の日程は延期し三時三十三分散會した

早川部隊の 戰傷兵

【奉天電話】當地特務機關發表によれば二十一日和北營子西方高地占領の際の戰傷者氏名左の如し

左腸關節破彈砲片創　特務曹長　高橋　鶴美

背部及び左肩砲彈破片創　上等兵　都島　長作

右上膊部及左肩砲彈破片創　上等兵　谷村　爲一

右上膊及び左手指砲彈破片創　一等兵　川崎　留藏

右上膊部及左肩砲彈破片創　二等兵　飛澤　義男

腹部及背部砲彈破片創　二等兵　大弓　勘吉

金融紊亂者は 嚴罰に處す

【奉天電話】滿洲中央銀行では最近錢鈔等が國幣の法定換算率を無視し投機的に出づる者あるので、今後若し斯る者を發見した場合は金融紊亂罪として嚴罰に處する旨を各關係方面に通達し公示した

中國共産黨員 北滿で活躍

【新京特電】穆稜附近の滿鐵沿線に散在する赤系露人は日本軍の同地駐屯により積極的活動をなさず單に櫟報蒐集の程度に過ぎざるも今回新たに派遣された中國共產黨員の一部は日本軍の駐屯地を巧に避けつゝ黨の再組織に着手せんと目下頻に活躍中である、彼等宣傳員は漸次細胞組織の擴大につとめ努力を拂ひつゝある一方、穆稜を追はれた鮮人共產黨員の殆ど全部は密山方面に逃走し日本軍の撤退期を窺ひ依然黨の再建を圖りつゝあるが、最近一部指導員は密山國境を突破して潛入し附近各地に……

參謀本部緊張

矢矧少佐の好謔

【東京二十五日發】光榮ある孤立の第一日松岡代表が堂々たる反對宣言を投げつけて聯盟議場から引揚げた廿二十五日滿を持してゐた我が陸軍省、參謀本部では愈々此日熱河討伐宣言を帶く中外に發すべく早朝から極度の緊張に包まれ眞崎參謀次長、柳川次官等孰も讀し切れぬ興奮の色をうかべ電報班は刻々に打電來る關東軍よりの情報に忙殺され廊下を馳せ廻る給仕連の面まで再び當面した非常時の興奮に輝いてゐる、正午新聞班の矢矧少佐が一山程の書類を抱へて新聞記者室に現れると三十餘名の記者がサッと緊張裂ち彈丸のやうに鉛筆が火花を散らす、痛いやうな緊張の幾分が過ぎ發表を終へた矢矧少佐はホッと電衛を卸した面持で好謔一番

「死」に移つたわけさ、自ら墓穴を掘れる聯盟は寧ろ笑止の至……

昨日の聯盟の表決は實に愉快だつた此前の時は十三對一キリスト最後の晩餐の不吉な數だつたのが今度は更に不吉で四二郎ち……

馮占海匪軍の 最後も近し

日滿軍の疾風的前進により 留守居の部下大狼狽

【新京電話】關東軍司令部發表=疾風迅雷的の皇軍の進出により曾て一大勢力をなしてゐた馮占海匪軍も頭目馮の不在中の事とて早くも總崩れならんとする形勢を示すに至つた、馮占海は一萬有餘の部下を有し興隆地一帶の地方に蟠居し匪軍中の一勢力を形成してゐるので學良もこれに多大の期待をかけ軍費、軍需品の補給等相當の財力を拂つてゐた、張作相を引具して學良が宋子文、湯玉麟の所に來た時を利用して親しく指令を受けるため承德に行つたその不在中偶々日滿兩國軍が疾風の勢ひを以て勝營、朝陽に進出したために歸路を遮斷されるに至つた狼狽したのは殘された部下で突然頭目を失つた上に周圍の匪軍が續々として滿洲國に歸順するので早く逃げ後さなつてゐるから名代の馮占海匪軍の最後も見越しがついたわけである、又湯玉麟も最近關內の變化に逃却準備を始めたさいふことである

滿蒙研究會解散

……

社告

熱河方面の風雲俄然急なるものあり本月二十一日未明、奉山線北票支線附近における彼我の壯烈なる衝突を契機として、戰局漸次發展の形勢となつたにつき、本社は取敢ず左記七名の記者並に寫眞班員を特派從軍せしめたが、右は何れも既に前線に到着し、夫々各部署に就いて活躍中である。本社はなほ戰局擴大に伴ひて、引續き特派員を現地に送ると共に、一方關係各地における支社、支局その他あらゆる通信網を總動員して、廣大なる各戰線に亘る各種の狀況並に正義公道に基づく日滿兩國軍の壯烈なる行動を、記事に、寫眞に細大洩らさず敏速且つ正確に報道すべく、既に各般の準備を整へた。今日以後の紙上は爲めに一段の精彩を放つであらう、期して刮目せられんことを望む。

二月二十五日

滿洲日報社

本社特派員

記者　五百旗頭佐一

記者　島田一男

記者　板屋猛

記者　立上武三

記者　白石繁雄

記者　山代文二

寫眞班　山口晴康

八面相

投書歡迎　五十行以内　匿名はさらす

送迎に努めよ　愛市生

◇四十二對一の結末、我が同胞青年達よ君等の血は愛國の心で沸き返るであらう、ダンス排撃運動に於て君等の憂國精神は確に無自覺なる彼等の覺醒を促した

◇然し想へ、今尚肝腎な非常時大連の恥辱として取り殘されたる問題がある、軍隊の送迎、傷病兵の歸還送迎がそれである。

◇何故々之れに對し不言實行の赤誠の眞心を表現せざる、君等より婉き小、中學校生は嚴寒の夕、晨交互に送迎してゐる涙ぐましい光景をどう思ふか、君等よ更に奮起せよ。

◇そしてダンス排撃運動に大童になつた熱以上に昔のダンス黨も共に／＼彼等小學生と共に送迎の實を擧げる樣諸官衙會社の團體に向つて呼びかけよ。

◇一度埠頭に送迎の實狀を見るがよい、在鄕軍人の外大會社の旗幟竿がある、社員らしきものあるや、町内會旗を持つものは滿洲國人にあらずんば棒杭である何たる痛恨事であらう、起てよ大連の靑年學生諸君。

郵便配達に就て　移轉狂生

◇私は年に一、二度大連市内で住居を移轉します、勿論移轉通知は關係方面へ出しますが、それと同時に必ず「大連郵便局配達係」宛葉書で新住居を通知し郵便物の轉送をお願ひしてあります。

◇それにも拘らず常に舊住所へ配達すると見えて數枚の附箋付で廻り廻つてやつと配達されて來ます。

◇配達係へ移轉先を豫め通知しておいても何にも効用のないものでせうか、お尋ねします。

お答へ

さういふことは絶對にないとは申し上げられませんが、郵便局の方でも充分注意してゐますから殆どないとは思つてゐます、住居移轉に當つて住居移轉通知を出されることは最も必要なことでその點非常に結構です、移轉通知に接しました時は帳簿にも記入し又全配達人に通知して萬遺漏なきを期して居る次第です、然し移轉通知に接しない郵便物が舊住所の方へ廻るのではないかと存じますがなほ充分注意致します(大連郵便局)

警務主任會議

……

代表へ謝電

時局後援會より

……

商議書記長問題

……

香港丸船客

……

人事

……

聯盟脱退の後に來るもの

制裁の發動は 絶對に期しがたい

……

五、制裁に關する規定

六、第十六條と中立

七、第十六條適用上の困難

八、結論

滿鐵社員會の 幹事選擧

方面委員成績

商議役員會

後任書記長問題

受附け好成績

鮮銀と化工株

丁士源氏歸滿

大觀

津田勇三儀豫て大連病院で病氣加療中の處藥石効なく廿六日午前七時半永眠致候此段生前辱知の諸君に謹告仕候

友人　木船要太郎　中村猛夫　橋本喜代治

親戚　藤井啓輔　能勢政秀

ご家庭へ警告！
☆チフテリヤが流行
お子様へ萬全の注意を

可愛い 幼兒の生命を蝕むヂフテリヤが年を逐ふて增加して參ります。昭和元年には東京市内で罹病千四百名死亡者四百名内外に過ぎなかつたのが、昨年度は約三倍の四千名以上に達し、然もその症狀も漸次惡性となり死亡率も非常に增進して居ります。
一月から四月頃がもつとも多いのですが、今年も又早くもヂフテリヤ蔓延の兆が現れ、昨今かなり重症なものが流行して居ります。罹病者も昨年より一層多數に上つてゐるのは寒心すべきことです。

この重 症なのは單にヂフテリヤ菌が傳染するばかりでなく連鎖狀球菌が混合して來るのですから油斷がなりません。
又ヂフテリヤが治つてもそのヂフテリヤ菌の毒素のために心臓を冒され、一寸したショックを受けただけで倒れて仕舞ふことがあります、一二歳の赤ちやんから六歳位迄のお子様をお持ちになるお母様には恐ろしい敵です。

ヂフテ リヤの症狀は初期には三十八度位の熱が出て次第に四十度位に上り、身體がだるく、食慾が進まず、咽喉が痛みます。次いで扁桃腺が赤く腫れ、白い斑點又は線狀のものが見えて、これが後に厚い義膜となります。これが咽頭「ヂフテリヤ」の大體の經過であります。

かうし た怖ろしいヂフテリヤに愛兒が脅かされぬ用心には、まづ身體を平常から丈夫にして置くことが第一です。
お天氣のよい時にはなるべく日光に當らせ、適當な運動をさせること、皮膚を丈夫にするために、乾いたタオルで毎朝起きた時に摩擦してやることも大變よろしいのであります。

小兒の命取り　痛ましい百日咳
◇手當と豫防法について

嚴 寒から早春にかけて乳幼兒を冒すもつとも悲慘な病氣は百日咳でありませう。毎年一月から二月三月は百日咳の最も旺盛を極める時であります、一度この病氣に罹ると經過が長く、その苦しさは側の見る眼も痛々しく、殊に夜になつてからひどく咳が出るので睡眠不足になり勝です、かうして次第に衰弱して悲慘な結果を見ることも少くありません、百日咳は恐ろしい小兒の命取りです。

百 日咳はホルデー・ジャング氏が發見した百日咳菌から起るものです生後第一日からでも罹ることがあり七八歳以上になると餘り冒されません、潜伏期には何の異狀もなく、カタル期になると日に二三回の咳をします。段々咳の數が殖え、また強くなります、しかしまだこの時は熱もなく普通の氣管支カタルと間違へる位ですが、日を經るに從づて咳は夜分に多く出るやうになり、なほ咳の性質がコンコンと長く續き同時に顔を赤くするやうになります此時は最早疑ひなく百日咳の痙咳期に入るものと見なければなりません。

「こ」 のやうな咳を十日も續けてゐる間に一種獨特の咳の發作が起ります。その發作の有樣はたてつづけに出る咳で、その間は殆ど呼氣、即ちつく息のみで、吸氣、即ちひく息がないのですから小兒の苦しみは想像以上です。顔や頸は全く暗赤色に口唇は紫色になり、目からは涙が流れ、食物を吐いたりします。
今すぐにでも息をひき取るのかとハラハラしてゐる中に、暫くすむと平氣な顔をしてゐるのです。

以 上の如き發作が二三週間もつゞいて輕快期に入ります。段々咳も減つて來ますが、この時です、恐ろしい餘病を併發するのは――特に體質の弱いものや榮養不良の小兒は百日咳で身體の抵抗力がスッカリなくなりますから、其處につけ込んでカタル性肺炎や小兒結核が起るのです。

「こ」 のやうに百日咳は小兒を苦しめ、又親達の心を苦しめるものですが、未だこの病氣に百パーセントの特効藥はありません。只家庭で治療するには昔から有名な小兒藥として宇津救命丸などが多く用ひられて居ります。この藥は小兒の神經興奮を鎭めて、咳の發作を少くする效果があり、榮養になりますから、身體の抵抗力の減退を防ぐ作用があります、しかしもつと有效な方法はかういふ優秀な保育藥を常に與へて小兒を丈夫にし百日咳などに罹らぬ用心をするに如くはないのです、又さうした豫防的な意味で用ひるなら、宇津救命丸などは最もすぐれたキキメを見せる譯であります。

（宇津救命丸は定價二拾錢、三拾錢、五拾錢、一圓、二圓、三圓、五圓その他で藥店デパートでお求め下さい）

お母さまへの福音

育兒日記

わが子を健かに賢く育てることは母に課せられた大きな責務です。この責務を完全に果す爲には正しい育兒の智識が必要です。さうした育兒の正しい智識と愛兒の發育の狀態の記錄を兼ねた母の相談相手があつたらどのやうに便利でせう。さういふ意圖で編輯されたのがこの「育兒日記」です、この日記は赤ちゃんの生れた時いつからでもつけられる新形式の日記です。お子様のあるご家庭や最近赤ちゃんの生れるお母様には無二の育兒羅針盤でしやう。（この日記は宇津救命丸一圓以上お買上げになつた方にだけ藥店から無代で差上げることになつて居ります）

す、又腺病質な弱いお子様には小兒の強壯藥として有名な「宇津救命丸」などを與へて榮養をよくし、からだを強くして置くことが何よりと思はれます。

宇津救 命丸は皆様御承知の通り昔から有名な子育て藥でカン、ムシケ、チエネツ、ヒキツケ、百日咳、胎毒、消化不良による青便等にすぐれたキヽメがあり、特にからだの弱い子供を丈夫にし、抵抗力を強め、呼吸器官を健全にする藥として有名です。小粒でのみ易く、小兒藥として理想に近いものでございます。

育兒のメモ

□總じて子供はあまり可愛がりすぎて我儘に育てゝもさうかと言つても嚴重すぎてもいけません。殊に神經質の子供は多くは體質も虚弱ですから、その手加減が餘程大事だと思はれます。

□俗に疳が強くてムシの起り易い子供は神經質ですから、成べく刺戟を與へないやうにすることです、又一般の家庭で最も樂しい食事の時に叱言を仰言る御主人がありますが、あれは榮養上からばかりでなく幼兒の神經を尖らせますから甚だよくない事で氣持よく食事をさせることが必要です。

□又常々子供の顔色に注意してやることも肝心です。丸々と肥つてゐても血色のわるい子供はどこか身體に惡い部分があるものですから、時々「宇津救命丸」のやうな小兒強壯藥を與へて、體質を改造してやるべきです。

□「宇津救命丸」は和漢藥の粹を集めた優秀な小兒藥で、その主治効能はカン、ムシケ、智惠熱、胎毒、百日咳、メマヒ、ヒキツケ、消化不良による青便、虚弱小兒の強健化等に優れた効目があります。赤ちやんの健やかな生育とより健康を望まるるお母様の忘れてならぬ子育て藥として評判を頂いて居ります。

滿日各地版

綏東王府の蒙古王 赤峰進撃を願出づ 部下一千名を率ゐて

【奉天】開魯に入城した第○團の先遣部隊騎兵は豫定の方向に進撃中であるが、蒙古各府の王族は皇軍の勇姿を認めていづれも歡喜し蒙古民族が舊軍閥から眞に解放される秋が來たと喜び、綏東王府の蒙古王は部下一千を率ゐて赤峰進撃の先陣たることを願出た、今や成吉思汗來久しく漢民族のために壓迫されてゐた彼等は王道主戰の滿洲國家實現に衛安の夢から覺めた、既に○○○名の蒙古軍は赤峰に向け進發したと

阿片暴騰 熱河動亂で

【撫順】當地滿人間に愛用されてゐる阿片は西土を初め東土及關東土等各種あるが最近は吸食者増加せる一方熱河の動亂で西土の大手筋密輸入が杜絶したため、俄然相場暴騰し先頃まで一兩(十匁)三、四圓程度であつたのが昨今は七、八圓臺により恐慌をあたへてゐる

滿洲國教育行政に力を注ぐ

【奉天】奉天省教育廳では各縣の縣立學校は縣教育局にて直轄せしめ省立は教育廳が統轄するが主として教育行政に力を注ぐことになつた、尚ほ日滿教育者代表會議には教育體系とその方針に關する意見を提案するため目下起案中である

通化縣民の建國記念日催し 大に王道政治に謳歌

【奉天】反滿抗日軍の根據地であつた通化もその後全く治安維持回復し縣民は王道政治を謳歌してゐるが來る三月一日の建國記念日は左の如き催しを盛大に擧行すると

一、縣下各民家にある青天白日旗を押收し官民環視の下に燒却式を行ふ
二、午前十時より縣公署に於て各機關各校聯合して擧式
三、旗行列
四、各戸に國旗掲揚
五、各門縣公署前庭電燈裝飾を設備
六、旗行列に參加せる兒童に菓子を與ふ
七、祝賀宴開催

尚記念事業として通化、奉天間の航空路開設の諸願書を提出することゝ縣道路中の幹線を修造することになつた

建國記念に 日語學校開設

【奉天】滿洲國協和會通化辨事處では建國一周年記念日の三月一日建國精神普及並に記念祝賀の傳單及びパンフレットを配布し日語學校生徒を旗行列に參加せしめ、第二日目には慶祝式典に參加した村長を招待し座談會を開き新國家に對する要求を聽き國際聯盟等についても講演をなす事になつてゐる尚當日は元唐聚五の指揮下にあつた遼寧民衆自衛軍婦人宣傳隊長張首贇女史を隊長として婦人宣傳隊二班を組織し一日から三日間街頭講演をなさしめる事になつてゐる因にこの建國記念事業として二十五日日語學校を開設したと

小匪賊を撃退

【撫順】二十三日午前七時半頃開原縣城西方三十支里第五區八寶屯に於て滿人劉某は長銃携帶十二人組の匪賊に襲はれ馬三頭を強奪されたが、急報により同地自警團は非常召集を行ひ賊團を追跡昌圖縣境に於て發見交戰一時間の後撃退したが、調査の結果右賊團は昌圖縣第二區自警團長馬子耀を首領とする一味なる事判明し、開原自警團は馬の實弟子良を逮捕縣城に押送取調べ中である

建國一周年を前に各種宣傳物の發送に忙しい滿洲國協和會

奉中卒業式 廿五日に擧行

【奉天】奉天中學校第十回卒業證書授與式は二十五日午前十時から同校講堂に於て擧行されたが來賓として粟野地方事務所長、總領事代理、天谷守備隊長、增田憲兵隊長、鈴木中佐、石田地方委員議長、閻奉天市長、韋教育廳長、黃省長代理、各學校長その他多數父兄の出席があり着席、一同敬禮、勅語捧讀後、卒業生八十四名に對し卒業證書並に優等生、皆勤者等に夫々賞品賞狀が授與され名和校長の式辭が終つて粟野所長は滿鐵總裁の告辭を代讀し、來賓總領事代理の祝辭があり向坊隆君は在校生總代として送辭を又山上丈夫君は卒業生總代として答辭を朗讀し山上氏の卒業生父兄總代の挨拶に次ぎ校歌を合唱して正午頃終了したなほ當日賞品賞狀を受けたものは左の通りである

品行方正學術優等につき總裁賞を受けたもの山上丈夫、總領事賞を受けたる竹本益重、學校長賞を受けたもの山上丈夫、竹本益重、布施志乃夫、藪岡小太郎、武田勝治、朴英秀、柴田英三、學業の進歩顯著なるを以て褒賞を受けたもの小島三郎、光井邁、加藤博美、日野傳三郎、秋永滿、五ケ年間皆勤を以て褒賞を受けたもの百崎健太郎、級長功勞賞狀を受けたる竹本益重

靖安遊撃隊に獨立生徒隊

【奉天】靖安遊撃隊では第一軍内に士官候補生日滿人百三十三名を採用して目下教育中なるが來る三月一日更に百名の少年隊員を採用入隊せしめて日本式の軍事教練を施し將來獨立生徒隊を編成すべく計畫中にて生徒隊の兵舍は舊東北講武堂が充てられる筈である

奉山線列車に警乘員

【奉天】奉天省城警察廳では奉山線により學良系の便衣隊潛入の危險あるので二十五日から奉山線旅客列車に數名の警乘員を乘車せしめることにした

小學生を先生に 滿洲國歌を練習 日系官吏は何回もやり直し 國務院官吏が退廳後

【新京】鄭總理の力作になる滿洲國國歌が愈々作曲成り政府は之が普及に努め既に二十萬枚の印刷物を全國各地の官廳、學校、音樂會社及日本軍樂隊等に發送し各方面で練習されて居るが、國務院では來る三月一日迄には全官吏に覺え込ませる樣二十五日から向ふ三日間退廳直後國務院會議室に全員集合し、公學校からオルガンを借入れ音樂教員や早くも覺え込んだ公學校生徒の來院を求め小さな生徒を先生に(天地內有了新滿洲)と猛練習を開始した、曲は明るい如何にも新興國歌らしい感じのものであつて滿洲人諸君は大喜び、さすがに言葉はお國のものだけに進境も亦一段とすばらしい之に反して日系官吏は宇佐美顧問、阪谷廳長、三宅局長等その發音に最も苦しみ小さな先生に何回も何回もやり直しさせられてゐる、皆川秘書處長抔はやらぬ前から完全にカブトをぬいでゐる何といつても成績の良いのはタイピスト孃で本譜をスラ〳〵とよみこなす所取つた杵づか斷然ものだといつてゐる

鄭垂氏追悼會 執政、扁額を贈り專使を派す

【新京】故鄭垂氏の追悼會は滿洲國航空會社並に各方面の親友の發起に依り二十六日午後二時より西四馬路般若寺内で施行せられた、當日執政は故人の生前の功績殊に建國當時の偉業を認められ賚志入冥の扁額を贈り、又特に專使を會場に派し奠醊儀式を以て故人を追悼するの好遇を以てしたが、奠醊儀式は最も功勞者たるものゝみの特別の儀式にてその專使たる執政府官吏は最初に祭祀を行ひ直に執政府に歸り、旨を執政に報告する等格式重きものにして之を要する執政が如何ばかり故人の偉業を追念せらるゝの重き表れである

"非常時日本"の奉天市民大會 二十六日奉中講堂で

【奉天】既電——全國民の血を沸かしめた國際聯盟脱退と非常時日本の現狀に勇憤した奉天市民大會は二十六日午後六時から奉天中學校講堂において左記プログラムにより大會を開催した

一、開會の辭、一、君が代合唱、一、座長の推薦、一、座長の挨拶、一、宣言及決議の審議決定其れより帝國萬歳を三唱の後各地よりの代表者の演說會に移る

鐵嶺の一周年記念建國祝賀

【鐵嶺】來る三月一日の滿洲建國第一周年記念祝賀會日本側の行事を確定する爲め、二十五日午後一時より地方事務所樓上に於て時局後援會理事、各機關代表幹部有力者相寄り第二回協議の結果左の如く盛大な祝賀を催すに決定した、尚當日は興儀執政と武藤長官に祝電を發する筈

△午前九時、滿洲側祝典參列(招待を受けたる者のみ)
△午後零時三十分 鐵嶺神社に集合(官民全般)報賽祭參列
△午後一時 忠魂碑參拜、同一時十分 旗行列出發
(往路)松島町、櫻町、敷島町、大手町、縣政府
(歸路)大手町、五條通、領事館前にて解散
△午後三時 公會堂に日滿官民合同祝賀宴(祝辭石塚領事堀長)

なほ右の外五條通り松島町角には日滿大國旗を交叉して商店は電飾その他の方法により出來得る限り裝飾することゝ、旗行列には各戸必ず一人以上參加することを申し合せた

北平在留邦人引揚説は無根

【奉天】北平の在住邦人天津引揚げ說に關し右は全然無根なる旨北…

驚くべき殘忍な罪惡の數々 奉天を荒し廻つた十五人組の强窃盗團

【奉天】附屬地から城內外を股にかけて荒してゐた殘忍なる強盜團馬寶全(三〇)以下十四名は奉天署の必死的大活動により一網打盡に逮捕されたことは既報の通りであるが引續き取調べの結果、左の如き驚くべき犯行を遂一自白したので身柄は二十五日午後三時滿洲國警務廳に送つた

この一團は更に二、三人づゝ小團を組織し各組とそれ〴〵完全なる連絡を保ち警戒陣を尻目にかけて神出鬼沒してゐた、その巧妙なる手段には驚かされてゐるが彼等は二月六日江ノ島町一番地高子修、二月二日八幡町片桐三郎、一月十五日彌生町社田俊輔方に侵入し短銃、拳銃等で脅迫し金品を強奪せる外一月三日青葉町二十番地雜貨商王茂林一月二十日末廣町附近辻強盜、昨年十一月十九日皇姑屯毛織會社に通ずる道路上で日吉町麥粉商店員同春林を射殺、昨年十月十四日八幡町六番地陸煜圻、同夜柳町八番地劉玉民、昨年九月一日信濃町二十一番地都德三郎同四月二十三日稻葉町宇治田宗七、同四月二十一日橋立町田中勘左衛門、同一月二十六日奉天驛構內機關車詰所、同六月南市場、同十一月三日皇姑屯某綿米舖、本年一月十七日民業市場雜貨店、同一月二十二日卵店、一月十三日皇姑屯雜貨店等に侵入し金品を強奪逃走せる犯行も全部彼等の仕業であることが判明した、この外滿洲國側の犯行を加へると實に五十餘件の多きに達する有樣である

興津領事來奉

【奉天】新京の全滿領事館會議に出席し二十四日はさて來奉した通化の興津領事は語る

會議に列した者は間島から滿洲里に到る二十一名のものであるが、今回の會議により關東軍と外務省關係の連絡事務上の統制のみならず吾等に與へられた精神上の圓滿なる關係が一層これによつて徹底するに至るよい結果を齎すことができると思はれた、大使と軍司令官、關東長官の三位一體の實がこれにより一層徹底することになつた、各地領事からは色々の意見も出たが今後は新京の大使を中心として各地出先の領事とが所謂協力一致、事務の連絡と統一をはかる隔意のない討議が行はれたことは實際意義ある會議であつたなほ會議の席上齋藤博士の講演は非常によい參考となつた

小關、大木兩氏送別宴

【旅順】警察官練習生第二期から專心劍道教士として全滿警察界の恩師である小關教政氏並に多年柔道教士として小關教士と共に滿洲武道界の双璧とうたはれた大木圓治氏兩君は今回退職する事となつたが、在旅子弟は二十五日夜新花月において送別宴を催し大木教士に對しては目下病氣引籠り中なので記念品を贈呈の筈であると

南滿中學堂卒業式

【奉天】南滿中學堂では二十八日午前十時から卒業證書授與式を擧行するがその式次第は左の如し

一同着席、式辭、學事報告、卒業證書授與、賞品授與、學堂長訓辭、總裁告辭、來賓祝辭、在學生總代送辭、卒業生總代答辭

旅順高公中學部卒業式

【旅順】旅順高等公學校中學部第一回卒業證書授與式は二十五日午前十時から同校講堂に於て擧行、樣偶校長からそれ〴〵卒業證書並に賞狀授與を行ひたるのち一場の訓示を與へ參列の田邊學務課長は長官代理として告辭を述べ、次で來賓より米岡市長、張大連市商會長、麗西商會長の祝辭あり、保護者總代、在校生總代の挨拶送辭の後卒業生一同を代表孫德信君の答辭を以て閉會した、今回の卒業生は十九名にて此內優等生は孫德信(金州)王文開(普蘭店)孫玉璣(瓦房店)孫長津(金州)閻家深(金州)の五名にて卒業生の志望を見ると山口高商一名、名古屋高工一名、就職十名、旅順工大豫科一名、奉天醫大一名、早大鐵道教習所一名、同大學二名、東京商大二名尚第四學年修了者は六名で、旅順工大へ五名、奉天醫大へ一名入學する

養女を虐待 燃える薪木で所嫌はず毆る

【鞍山】鞍山南四番町一丁目七二ノ二農業鄭裁軒(四八)は昭和七年一月十八日撫順平康里居住の妾相烈から金六十圓にて次女美寶貞(一二)を養女として貰ひ受け、將來は長男義鳳の妻とすべく養育して居たが裁軒の妻徐氏(三七)は日頃から邪慳な風評があり、二十一日朝養女寶貞が云ふ事を聽かぬからと無法にも燃えつゝある薪木をもつて泣き叫ぶ養女寶貞の兩足、腓腸部及手、背、親指、人差指等に一錢銅貨大の火傷を負はせる等毎日の如く虐待して居る事實が判明したので、二十四日鄭夫婦を呼出し嚴重說諭する處あつたが今後養女に對し虐待を續行する時は嚴重處分する方針であると

千代田通の三人組强盜

【奉天】去る二十二日夜市內千代田通り十四番地吳服雜貨商老宗豐祥事許庠有方に侵入せる三人組強盜に關しては奉天署に於て嚴探中二十四日午前十一時ごろ北市場鮮人質店興源富方に贓品入質に來た滿人あるを聞きこみ奉天署から時を移さず後藤警部補以下現場に急行し逮捕したが、この奴は河北省生れ袁玉明(二七)と稱し自白により彼の連累者山東省生れ臨祥元(二七)が市內殿町一番地に潛伏してゐたことが判り同日正午頃彼の居所を包圍し彼をも顧みる隙も與へず彼に組つき大格鬪の上逮捕した、嚴重取調べの結果、千代田通りの强盜犯人であることを自白したので引續き餘罪取調中であるが、彼等が强窃盜を働いてゐた贓品及び兇器支那刀二挺も臨祥元方に隱匿してゐたゝめ全部之を押收し引揚げた

鐵嶺卓球大會 五日開催

【鐵嶺】鐵嶺體育協會主催の下に來る三月五日小學校講堂に於て全鐵嶺卓球大會を開催しチーム戰、個人戰の選手參加を歡迎する由、試合方法左の如し

チーム戰 一チーム五名
三名勝者を出した組を勝とす
個人戰 全員を數組に分ち其勝者のみのリーグ戰を行ふ
ルール 神宮卓球ルールによる
サーヴ一本、五回ゲーム
會費 一人廿錢(晝食準備費)
試合開始 五日午前十時
申込期限 三月三日まで
申込場所 地方事務所社會係

窃盜の鐵工御用

【奉天】市內彌生町七番地鐵工張威三(二四)は藤浪町七番地杉山繁方物置の施錠を破壞し松二十枚、鐵棒二本を窃取し逃走中平安廣場に於て警邏中の安田巡査に發見せられ平安通り十六番地先で逮捕されたが餘罪ある見込み

社員會撫順聯合會選擧

【撫順】社員會撫順聯合會幹事は評議員會に於て互選の結果左の諸氏當選就任した

△會長伊藤清△幹事伊藤清、加藤作三郎、藤井勇、兼安長左衛門、田崎淺次郎、松本重平、川上榮五郎

レヴイツカヤ夫人の門下生試演會

【奉天】レヴイツカヤ夫人の門下生試演會は二十六日午後七時から千代田町小學校講堂に於て開催されるが入場無料で多數來聽を歡迎すると

鐵嶺大同汽車公司營業繼續

【鐵嶺】二十四日不慮の失火によつて全燒せる城內大同汽車公司は幸ひ運轉中の自動車二臺が災厄より免れ、且つ補充自動車も交渉が纒まつたので從前通り法庫門往復の營業を續ける由尚事務室全燒のため乘車券代賣は當分の間向ひ側の世合堂に於て取扱ふと

旅順放送

▲伴民政署長は左記日割に依り管內初度巡視を行ふ
▲三月二日方家屯▲三日日本鹽業、山頭會▲六日水師營▲七日三澗堡▲九日營城子▲十日王家店
▲旅順民政署庶務課長として貔子窩より來任する平井齊三氏は家族同伴二十七日午後二時十分旅順驛着列車にて着任する
▲貔子窩署へ轉任した篠田前地方主任は二十八日午前九時三十五分發列車にて出發する
▲米岡市長は廿八日午後五時から昭和園に於て旅大官民約三百餘名を招ぎ市長就任披露宴を催す
▲過日燒死した衛戍病院附故角田武郎氏の遺骨は三月三日午後一時三十分旅順驛發列車にて郷里へ護送される事となつた

衛生口錠 口中殺菌劑 カオール

AROMATIC CACHOUS KAOL TRADE MARK THROAT EASE AND BREATH PERFUME INVALUABLE TO SINGERS AND SPEAKERS

一金貳拾萬圓也提供

(カオール 定價 拾錢包 貳百萬個にて)

カオール發賣卅五週年記念事業として愛用者諸君と協力し一大『國民保健運動』用の爲

カオール拾錢包を洩れなく進呈致します

此の運動に御參加の御愛用者は

一、カオールの効能書を御熟讀の上、定價廿錢以上のカオールに添付の効能書を東京市日本橋區水天宮前本舗株式會社安藤井筒堂藥品部保健運動係宛お送り下さい（開き封にして二錢切手貼付、住所氏名、明記のこと郵税未納、不足は受付ません）

二、すると本舗は直ちにカオール十錢包をお送り致します

三、其カオールを受取つた方は先づ親しい方々へ數粒づゝ差上げて

イ、病氣にかゝらぬやう

ロ、病氣の主なるものは口より入ること

ハ、口より入る病を防ぐために汽車、電車、その他人込に居る時、外出の時飲食の後にカオールを口中にする事

等、其他保健、衛生に御氣付の點を御説明願ひます

斯く皆様の御盡力に依り一般保健衛生の思想が高まり、人生最大の幸福を得られる譯です是非御協賛を願ひます

カオールの配劑と其効用

製劑顧問 ドクトル 松尾道

一、口中殺菌劑を配合す 從つて空氣又は飲食物と共に口腔より侵入し來る黴菌、例へばチブス、コレラ、流感、結核菌等その他の病菌病毒を口中に於て完全に殺菌し、依つてこれ等傳染病を豫防す。

二、健胃整腸劑を配合す 從つて胃を健全にし、且その消化力を亢進し食慾を増進せしめ下痢、腸カタル等に整腸劑は殺菌劑と相協力してこれを治療す。

三、興奮劑及強壯劑を配合す 從つて心身の疲勞衰したる時には各機能を興奮せしめ氣力を回復旺盛にし、健胃劑と相まつて肉體の強壯を計らしむ。

四、清涼劑及美香劑を配合す 從つてその特有の芳香により口中の惡臭、惡熱を除き、袪痰劑は咽喉の乾燥を潤し、音聲を美化し從つて精神を爽快ならしむ。

◎故に皆様の保健の爲に

◇惡疫流行の時 ◇飲食の後
◇他人に接する時 ◇汽車電車に乘時
◇執務勉強の時 ◇遠足運動の時
◇口中の臭き時 ◇酒莨を召上る時
◇禁煙を望む時 ◇音聲を使ふ時
◇氣分惡しき時 ◇疲勞したる時

カオールの一二三粒を口中されたし、本劑を口に含めば、マスク、ウガヒの必要なきと同時に心身を爽快にし、胃腸を健全になすの効あり

◎本日より直ちにカオールの御常用をおすゝめ致します

▶定價と容量◀

品名	定價	容量
袋入	(十錢)	百粒
同	(二十錢)	二百五十粒
ポケット容器付	(三十錢)	三百粒
丁字形容器付	(三十錢)	三百粒
御勾玉形容器付	(五十錢)	五百粒
鞄形容器付	(五十錢)	五百粒
徳用瓶入	(五十錢)	八百粒
同	(一圓)	二千二百粒

本舗 東京市日本橋區水天宮前 株式會社 安藤井筒堂 藥品部

新發賣 光輝茶金石製 美術容器

五百粒入 金五十錢

船首をへしまげ「濟通丸歸る」

大汽所有天津ライン就航の濟通丸（船長久保田吉雄氏千三十七噸）は去る二十三日白河を天津へ逆航の途恐ろしい北風に見舞はれ、天津の下流二十哩の地點において折柄附近航行中の支那汽船日昌號（千三百噸）と衝突、濟通丸は船首をグサツと日昌號の船腹に割込んだので、目下日昌號はサルベーヂその他の手によつて復舊救助作業が續けられてゐる、一方濟通丸は二十六日午後二時、第二埠頭二十番バースに繋留された、無殘にも船首が「く」の字を二つ續けたやうにへシ曲げられ船内から穴にあてた絆創膏の樣に見えみじめな有樣だ久保田船長は恐縮して語る

酷い風でしたが、どつちが惡いなんて云ふ事も、又どの位で修理出來るなんて云ふ事も私には今云へません、只いつもパイロットなしでやつてゐたので時局柄會社の方の命令もありパイロットを乘せたんでしたがその最初の航海に飛んだ事をやつたものです、何しろ相手船には千餘名のデッキパッセンヂャーが居るので萬一の事があつてはと懸念しましたが、幸ひ一名の怪我人もなかつた事が不幸中の幸ひだと思つてゐます、いづれ海事審判に移されるでせうが御心配を掛けて濟みません（寫眞はゆがめられた同船船首）

骰子は投げられた　聯盟脱退に心躍る　巷の聲を聽く
ルビコン河は渡らざるべからず

骰子は投ぜられたり、ルビコン河は渡らざるべからず――松岡代表は反對の一票を手榴彈のやうに投げつけ聯盟脱退は「鐘の間」の鐘のやうに明となつた、あたかも熱河進軍の號外がガリヤ戰記のやうな愉快さをもつて巷の心を躍らした、どこへ行つても非常時の非常談ばかりだ

事態は三番叟だ　先づ内を固めよ
河本滿鐵理事語る

日本は日清戰爭以來、世界に甘やかされて大きくなつて來た、しかしやがて一億にもならうといふ大國家になると先進國から憎まれるのは當然で、日本もここらで裸一貫、世界に一人立ちして見るのもよいことだ、しかし事態は未だ三番叟で本統のところはこれからだ河本理事の意見によると戰に戰爭にでもなりさうな危機は一九三六年の海軍條約更改期か一九三七年のソヴエートの第二次五箇年計畫完成期にある、故にそれまでの期間は日本が滿洲と共に準備をする大事な時期だといふのである

この間に日本は中堅階級を基礎とした實力のある清新な分子が政治の局に當るんだね、そして資本主義も社會主義も解消して眞の擧國一致でガッチリと内を固めて突進するんだ、さうすれば世界に恐ろしいものは何もないよ

さすれば國民は擧つて膺懲すべきである、先日我等が主催したダンス排撃演說會もこの意味からの主催に外ならない

大和魂再認識の絶好の機會
小野實雄氏談

聯盟脱退に因る名譽ある世界の孤立は失ひかけた大和魂の再認識を興へる絶好の機會として吾人は寧ろ喜ぶべきであり……

兩立せぬ封鎖と資本主義
濱尾保氏談

日本海員組合大連支部濱尾保氏の話

脱退、正義日本としては當然な出方でせう、影響、萬一經濟封鎖なんて事になればともかくですが現在の如き資本主義國家の集まりではそんなことは出來つこない、一部強硬論者がいくら頑張つても結局は資本家達がその不可能を說くであらう、資本主義時代といふのはそんなものだ、隨つて我々海員も覺悟は極めなくてはならぬが驚くことはない……

正義には敵はぬ
小川大連市長語る

國際聯盟が何と言はうと日本は東洋永遠の平和のため最善の策を採つた迄である、之が日本の國是であり正義の行爲である以上絶對に他の容喙を許さない、脱退によつて經濟封鎖等の杞憂も傳へらるゝが容易に斯くの如き事は行はるべきでなく、萬一最惡の場合が來たとしても日本は飽くまで正義を楯とし堂々對抗して行くばかりである、正義の前に敵はない、日本人は何時でも正義の爲めなら擧國一致の用意と覺悟がある、今後種々なる難局に遭遇するとも動ぜず臆せず之れに善處すべきである

甘い追憶と苦い追憶
錢莊での饒舌

ある錢莊で拾つた銀をはる人達の話

「聯盟は見限かねながい材料でした、おかげで相當儲けました、聯盟にしろ當事國にしろ日毎夜每宣傳や空威張りに終始しただけに、さういふ場合裏の意味を讀んでなまじつか利口ぶらず、吹く笛について行つたのが良かつたんでせう脱退＝當然だよ、私はこうなると初めから睨んでゐました、脱退してみれば聯盟クソ喰へでもう用はありません、殘るは甘い追憶位のもんでさあ」

「フフン、私は弱りましたよ、スチムソンといふ出しやばり者が文句をつけたのが私にとつてもケチのつき初めとなり、リットンでも隨分苦勞したよ、どうも聯盟は苦手で聯盟のレの字も嫌になつて今日か明日かと待ちこがれた脱退だから人一倍嬉しかつた、それは國民としての私の非常時感慨だが、同時に私の相場もこれでサッパリして氣が直るらしい」

聯盟よ米國よ勝手にし給へ
店員の氣焔

濱町の某洋品店の店員の怪氣焔

これで氣が晴れ〳〵します、聯盟の低氣壓で一喜一憂する氣苦勞も大變なものでした、もうこうなれば聯盟がどう言はうと問題ではない、勝手に吠えさせておけばよい、經濟封鎖なんて六ケ敷いことはわからないが、今後滿洲國と堅い握手をして行けば世界にどこも恐れるところはないアメリカがお節介をいふなら言はせておけばいゝ、最……

滿洲人側も別に驚かぬ
遲子祥氏談

後の解決は腕の問題、何もアメリカなんか恐れることはない

滿滿側では最初日本の聯盟脱退を氣にした向もあつたが、最近の情勢では到底免れないといふ事が判つてゐましたからいよ〳〵脱退が決定しても別に驚いた風もありません、只脱退後日本に對し列國が經濟封鎖をやるかどうかが問題であるが、一般滿人側は結局經濟封鎖などはあり得ないと觀測してゐる向が多いので今の處非常に平穩な人氣にあるやうです、熱河問題も支那軍は到底日滿軍の敵ではないから問題ではないが矢張り事件中は一般に氣迷ひ商賣が出來ないから早く平定される事を希望してゐます

經濟封鎖OK
特產屋の決意

わからずやの揃つた聯盟なんかさつさと脱退した方が宜いですよ、經濟封鎖やるならやつたつて一向差支へませんね、向ふで特產物を買はんといふなら自然相場も下りませう、値段さへ安くなつたら何處へだつて賣捌く方法はいくらでもありますよ、少しも心配いりませんね

成層圈

日記帳から金鑛

亡き父の古い日記から金鑛を發見したといふ夢のやうな話――神戸市新宮町向井熊彦氏の實父正吉氏は鑛山に趣味を持ちあちこちと鑛山を踏査して昨年十一月三重縣南牟婁郡尾呂志村の山中で墜落慘死を遂げたが最近熊彦氏が父の古い日記を整理したところその中に南牟婁郡神川村と西山村の境界山腹に金鑛のある旨が記載してあるので、熊彦氏は夢かとばかり喜び同町小瀨清成氏の後援で實地踏査をしたが神川村の不動山中にそれらしいものを發見、試掘をその筋へ願ひ出た

琵琶湖から陸地

大藏省の五ケ年計畫、官有地の調査のために滋賀縣長濱稅務署員が琵琶湖岸を見廻つたら東淺井郡大郡村大字南濱地方に三萬坪、坂田郡六莊村大字田村地先に三萬坪、以上六萬坪が陸地に干上つてゐるのを發見、素晴らしい財源が降つてわいたと大喜びだ

紅茶啣き商賣

日本には「酒啣き」と云つて酒の種類や等級を味はひ分ける人がありますが、これは英國のマーガレット・アーヴィング孃と云ふ「紅茶啣き」とでも云ふべき人です、彼女は何百種と云ふ紅茶を味はひ分けるのが職業ですが、これは英國でも唯一人しかなく、この爲めに同孃は月俸一千ポンド（一萬四千圓弱）の高給を享けてゐるとは一寸羨ましいではありませんか！

肛門で密輸入

肛門から二千圓の金塊……文字通りお尻がばれたゴールドラッシュ時代の密輸ナンセンス……、新義州から安東に向ふ三等列車に乘込んだ不審の朝鮮婦人客があるので警官が取調べた處此の女は平壤倉田里康承明の妻鄭成實（三）で百六十匁時價約二千圓の金塊を肛門に挿込んで密輸を企て一儲けせんとしたがお尻がばれてその儀御用

神都皇紀運動

三重縣桑名郡西桑名町では大成小學校の兒童家庭が相呼應して「神都皇紀運動」をやりだした、つまりカレンダーの西暦年を全部塗りつぶして一々紀元二千五百九十三年と書改める運動

畑から勾玉

三重縣度會郡東外城田村字東原農口野彦造が自己所有の畑を開墾中地下數尺のところから古刀、鉾、勾玉など二十餘點を發掘し山田署へ屆出たが神宮司廳大西源一氏の鑑定によれば一千數百年を經過したものである

佳木斯移民團　匪賊を蹴ちらす

【ハルビン特電二十六日發】チャムス移民團の一部百七十名は去る二月十七日以來農場を豐饒に赴き本年の播種準備をしてゐるが、附近を荒してゐる頭目周萬青の率ゐる賊は十二日農場を襲撃せんとして馱運子に集結したので移民團は十三日積極的に攻擊し追散らした敵の遺棄死體は十名、我損害戰死一名を出した

……の調査に來滿したのですが、三千萬の民衆を有する滿洲には一萬人に一人としても三千人の販賣人を置かなくてはならないが三、四月頃には實現に着手し度いと思つてゐる

學校醫會議
第二日は眼科

州外學校診療醫會議第二日は二十五日午前九時より社員倶樂部において眼科醫會議を開催したが山西理事、中西地方部長、千種衞生課長、診療醫五氏出席、協議事項に就て逐條協議午後四時半終了した

……し各地衞戍病院、海軍病院にある傷兵に對しては常に慰問をなし、來る三月十日陸軍記念日には全國滿洲、朝鮮、關東州衞戍病院並に海軍病院宛慰問袋贈呈の豫定であり、更に又負傷戰士を勞はるポスター一萬枚を作成中にて之は各師團管下、官衙、軍隊、中等學校等に配布の豫定であると

大連非常警戒

大連署では關東廳警務局より時局に鑑み今後一層嚴重に大連港、大連驛、沙河口驛を固め、滿洲新天地へ一歩たりとも不良分子を潛入せしめぬやう充分注意ありたき旨の通報に接し、二十五日午前十一時係員三十餘名を集め、訓示を行ひ今後晝夜の別なく内偵を嚴重にし各關門を監視する重要打合せを行つた

建國日のお祝に人形を贈呈
執政夫人に全權夫人が

【新京電話】嚢に全滿婦人團體聯合會の會長に就任した武藤大將夫人は三月一日滿洲建國記念日を卜して執政夫人に人形を贈呈し建國のお祝ひと會長就任の挨拶をなすことゝなつた、人形は大將夫人が東京三越に命じて謹製せしめ大連婦人團體聯合會に送り、二十六日關東軍司令部と事務打合せのため來京した滿鐵總務部長石本憲治氏がこれを攜帶して新京婦人團體聯合會に渡した、人形は高さ二尺縮日本風の振袖を着た美しい娘の立姿で、同役員の手から執政夫人に贈呈の手續をする筈である、因に全滿婦人團體聯合會は全滿各地の日本婦人團體の大同團結であつて滿洲事變の勃發以來出動軍隊、警官などの慰問、罹災鮮滿人の救濟その他に全力を擧げ現に奉天、新京ハルビンの各地に兵士ホームを作り、家郷を離れた兵士のため母となり姉となつて慰安を與へ、又近く奉天に隣保館を建て、育兒、出產、助產など鮮滿窮民のため溫かい手を伸ばさうとしてゐる

牛骨肥料を整理中　雷管爆發して慘害
埠頭で苦力一名卽死

二十六日午後二時半、埠頭構内東部野積場第二詰所裏の廣場において市内西公園町十七天心洋行雇人……（三）外苦力三名で

アンペラ

掛け牛骨肥料の整理中、麻袋入り牛骨の中から眞鍮の金屬を發見、苦力馬某が拾ひ上げもてあそんでゐる瞬間該金物は轟然と爆發し馬某は頭部胸部を粉碎卽死、同じく苦力張志寶（三）は顏面に負傷、周圍は鮮血で生々しく彩られ牛骨は四散して二目と見られぬ慘狀を呈した、當時同所に居合はした前記關鐵範外數名は幸ひ怪我なくこの椿事に仰天して埠頭詰所水上署に急報水上署よりは時を移さず綠田高等係主任を始め各係員が出動取調べるところあつた、それによると

該貨物は

二十二日奉天を積み出され一日埠頭に到着したもので前記關鐵範が二十五日一日五十錢で雇つて來たので今のところ名前も判然としない、なほ馬の死體は滿洲醫大に送り……

揮下に二十六日朝より麻袋中の骨の選分けをしてゐたところ馬が眞鍮の金屬を三個拾ひあげ「妙なものがある」といぢつてゐる時爆發したもので、調査の結果、同金屬は砲彈用の雷管で骨中に混つてゐたらしく高等係員は奉天の同牛骨の出所を調査する事となつたが、或は一緒に運ばれて來た他の袋中にも雷管が混つてゐるのではないかといはれ、萬一船積後この椿事が惹起したら飛んでもないと麻袋仲介商の一同戰々兢々としてゐる

港橋附近

のルンペン苦力

一件を重大視して天心洋行主吉本常一氏等に仕入先その他につき取調べるところあつた（寫眞は慘狀の現場×は死體）

いぢり廻してゐる中に爆發

負傷した苦力張志寶（三）は語る「二十五日のお晝ごろ港橋でゴロ〳〵してゐると關と云ふ人が雇ひに來たので自分と死んだ男と趙と云ふ男と三人で運ばれたのだ、自分が骨を麻袋に移す役で、馬がそれを受ける役、冗談を交しながら仕事をしてゐると馬が金物を拾ひ出し自分も一緒になつていぢくつてゐるうちに恐ろしい勢で爆發したので氣が遠くなつた」

殘る麻袋を檢査

牛骨入り麻袋の爆發で萬一他の麻袋にも混つてゐるかも知れぬと懸念があるので二十七日改めて水上署では他の全部の牛骨入麻袋を檢査することゝなつた

左樣なら榊丸
淋しい船姿できのふ内地へ

去るに去り兼ねてゐた大連におなじみの榊丸、賣られて行く彼女は其の後漸く諸般の準備をとゝのへ二十六日午後一時頃靜かに、淋しげな船姿をひきずる樣にして出帆した、ボウ〳〵と出帆汽笛がはかない、顧みれば永い滿洲生活だ、神戸の船具商宮地商店の手によつて轉て大阪木津川工場でバラ〳〵に解體されるのであらうが、嘗ては義勇艦隊に所屬してそのスピードの點で覇をと稱へた彼女だ、佛しよる汽笛は聲はれない「左樣ならタイレン」「左樣なら榊丸」だ

販賣店を設く
星一氏離滿談

【安東電話】滿洲の賣藥狀況視察中であつた星製藥會社々長星一氏は廿四日午前過安南行したが語る滿洲に私の會社の製品販賣店を設立……

弔慰金一萬元改めて會社へ
鄭總理贈る

【奉天電話】嚢に逝去せる滿洲航空輸送會社々長鄭垂氏に對し同社では其の功績を偉として弔慰金國幣金一萬元を贈つたが、これに對して嚴父鄭國務總理は同會社成立未だ日淺く斯の如き金員を贈らるべきでないとて鄭垂氏遺族一同の名を以て改めて航空會社へ附託して今後滿洲航空事業による死傷者のため有益に資したいと申出があつたので、同社では痛くその德にうたれ、へて右金員を滿洲中央銀行へ預金とし鄭垂氏航空事故者慰助資金として其の利子をもつて今後の滿洲航空事業の犧牲者に對して有益に使ふことゝなつた

海軍機墜落
福森大尉慘死

【東京二十六日發】海軍省公表＝帝國航空母艦鳳翔乘組海軍大尉福森義雄氏は二十五日午前九時四十分九州豐後水道で飛行訓練中墜落慘死した

事變傷痍軍人後援會の活動

昨年三月一日設立された支那事變傷痍軍人後援會は堀内文次郎氏を會長とし慰問資金募集に不斷の努力を續けると共に一面傷痍軍人を勞ると云ふ觀念を全國民に普及徹底せしめたが之等の費用は森永製菓會社において負擔し、資金はキャラメル空函及チョコレート包紙を集めたる金額を貯へてゐるが最近までの主なる事業を擧ぐれば全國主要都市五十七ケ所において大講演會を開き又北方的に小講演會を開きたる事四百五十三回、又は全國二百六十五回に亙り「映畫の講演の夕」を開き滿洲事變、上海事變の映畫及實戰談によつて世人をして痛切に戰士の辛苦を知らしめ其他チラシ、ポスター等によつて負傷戰士慰問の宣傳廣告をなしたが、近くは陸軍省を中心として今回傷痍軍人會設立に際しては其の設立費として金三千圓を寄附……

街のギャング

二十五日午後八時二十分市内王陽街三番地雜貨商劉興福方へ年齡二十二、三歲の滿人が闖入し拳銃やうのものを擬し主人林英恒を威嚇し小洋取交ぜ二圓餘を強奪、同壽病院方面へ逃走したので沙河口署では訴へにより直に犯人嚴探中

沖原氏宅下げ

下請負人に告訴され大連署に留置取調べられてゐた市内天神町八番地大連建築現業員組合長沖原盛藏氏は取調一段落となり二十五日正午宅下げを許された

小火

二十六日午後三時四十分市内御牟町二十六番地小川太兵衞方の炊事場から出火し天井に燃え移りあはや大事に至らんとしたが消防隊の出動が早かつたゝめ直に消止めた、損害約十圓

安樂椅子へ

林總裁と並び銀盤上の英雄にモ一人重役がある、河本理事だ、蒙より既に……まだ軍服を着た腕がない時代からだ、參謀會議の前でもちよつとの合間を縫んで軍服のまゝ、スケートをひつかけてあの旅順練兵場のリンクを子供等に交つてスースー

今でも河本さんの折柄に重要書類の間にスケート靴がかさばつてゐることがある、口の惡いのが「河本さん十八番の飛行機振も銀盤上に曲線を畫がく足の粉そのまゝだ」と感服、たしかに。

公告

左記船荷證券紛失の旨出荷主より屆出により爾今無效たる事公告候

一、昭和七年五月十日門司建大連濱揚

一、船名　照國丸

一、船荷證券番號　參拾六番

一、荷印品名數量　キング印 鳳ノ秋 瀧返紙壹個

一、出荷主　角　次郎殿

受荷主　林洋行殿　以上

照國丸船主　原田汽船株式會社

昭和八年二月二十六日

開店御挨拶

謹啓初春の折柄御尊家愈々御清榮の段慶賀の至りに存じ奉候

陳者私儀永年津及大連丁子屋洋服店裁斷長職長として勤務中は一方ならぬ御厚情御引立を賜り誠に難有厚く御禮申上候就ては此度主家の御諒解を得圓滿退店左記の場所に於て獨立營業致す事と相成候に付き今後一層技術に精進可致候間格別の御庇護御引立を賜り度此段伏して御願ひ申上候　敬具

先は取敢へず御厚禮旁々右御挨拶迄

二伸、無税港大連では、服地を御持參下さつて仕立をお命じ下さいますのが、最も合理的であります　弊店は喜んでサーヴイス致します

大連市敷島町澤ビル一階
赤津洋服店
赤津秀雄
電話二一三三三番

海と空と (123)

高杉晋一郎作
橋本淸史畫

明暗(十二)

暢は深く首垂れたまゝ何も云はなかつた。裏も長くは兄を見てゐる事が出來なかつた。
暫く沈默が重く續いてゐた。
「ありがたう」
突然、兄は口を切つた。彼は恥入つた中にきつぱり決心した表情を見せてゐた。
「そんな、禮を云ふのは止めて下さい」
瑞枝の接吻に應じたかどうかも辯解がましくは口に出さなかつたのに、さう云つて來た暢に裏は初めて喜んだ。と同時に彼は立上つて、時計を見た。
これで濟んだのだ。矢張今夜去らう。
「出るのか?」
兄は少し淚をためてゐた。
「えゝ――多分永久に」
「…………」
「大袈裟かな」
自嘲的に裏はふつと笑つて、出てゆく自分、それからの自分を想像してみた。決して大袈裟ではなかつた。再びはこの家庭へ歸つて來ることはないだらう――。
「さう。最後にお願ひしませうか。旅費をひとつ」
「旅費? ぢや大連にもゐないつもりか?……何處へ……」
「訊かないで下さい」
暢は暫く沈默した。さうして默つて肯いた。彼は、まだ父を說き伏せてゐるらしい母の處へ行かうとした。
「あ」
と裏は止めた。
「お母さんの處ですか。それは止して下さい」
母に遠い旅立だとは思はせたくなかつた。
「兄さんのお小遣ひ位でいゝんです。三等旅費です」
兄も母の事は悟つたか、そのまゝ留まつて、書棚の方から貯金してゐたらしい十圓札の束を取出して來た。
「今これだけしか殘つてないんだけど」
數へて見ると丁度百圓あつた。
「えゝ、結構です、これで充分です」
二人は默つて顏を見合せた。感謝も別れも總ての言葉を眼だけが語つた。
裏は靜かに自分の部屋へ行つた。
暫くぶりの自分の部屋だつた。搜索の爲か少し樣子が變つてゐる

たが、歸鄕の當時しみじみと感じた此の裏好みの部屋。彼は暫時敷口に立つて眺めた。それから靜かに机に近寄つて行つた。獨りになると、直ぐ思ひ出されるのはポールの事だつた。逸見の事だつた。
逸見にはもつとよく自分の心を說明してから去りたい氣持は山々だつたが、再び逸見と顏を合せればどんな事になるかゞ心配だつた。
逸見のことだからきつとポールを自分に託さうなどゝ云ひ出すだらう。それが厄介だつた。今朝組合に行つて聞いた話では彼は此の一週間ほど顏を出さないと云ふ。苦しんでゐるのだらう。或ひは何か手紙が來てゐるかも知れない。
彼は机の脇に溜つてゐる留守中の手紙の束を一寸不安に探つて見た。然し逸見のはなかつた。全部今更讀まなくともいゝものばかりだつた。
よし、ぐづぐづしてはゐられない。逸見の事は自分が去りさへすればよくなるだらう。彼は部屋の隅からトランクを引き出した。何にも持つて出ないつもりだつた。裸一貫の世界へ。然し身の廻りの必需品だけはトランクへ詰め始めた。
彼は遠く去る前に、旅順へ寄つて谷に逢ふつもりでゐた。谷にだけはどうしても逢ひたかつた。谷はきつと、此の自分の「生活への門出」を喜んで呉れるだらう。
窓の外には雪が頻に降つてゐた。もう窓の外ぶちに溜つてゐる雪の背が硝子を通してほの白く見えるほどだつた。
彼は忙しく時計を見た。旅順への終列車に間に合ひたい。
そこへ嚢神したやうな母のみちが入つて來た。

けふの放送

大連 JQAK 二月廿七日

▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二
▲午前七時 ラヂオ體操第一
▲午後六時 ニュース
▲滿洲國々歌練習(六時三十分)大同技藝學校生徒、伴奏村岡樂童
(以下内地中繼、七時)
▲放送舞樂劇「敵討噂高松」場景(第一景)丸龜濱の場(第二景)大師堂前の場(第三景)西光寺門前の場(第四景)同本堂の場(第五景)西光寺和尚部屋の場(第六景)同裏手の場(第七景)高松仇討の場―田部上運平(市川若猿)參詣の客(中村吉三)守山辰次(中村吉之丞)船宿の亭主(中村吉十郎)諸藝指南(市川紅若)坊主才念(坂東大三郎)刀屋治右衛門(尾上梅笑)宮崎丸一郎(中村七三郎)比良井才次郎(中村吉之進)和尚隨願(中村又藏)捕手頭有坂又之進(尾上多賀藏)捕手一(中村播次)同二(中村吉丸)鳴物連中杵屋社中、解說大橋秀花
▲講談(七時五十分)仇討傳の四「伊賀越仇討」神田伯治
(以下大連放送局より 八時三十一分)
▲職業紹介事項
▲ニュース
▲氣象通報

ジョセフイン・ベーカー 川畑文子嬢

ジョセフイン・ベーカーとしての川畑文子嬢はアメリカ第三世の一女性だ、同嬢はロスアンゼルスでラム・スタンデウエルに舞踊を學び一躍して琥珀色のジョセフイン・ベーカーの名を恣にした、同嬢の唄はディートリツヒ張りの名手でコロンビア、レコードに「いつあかり」「三日月娘」「南京豆賣」を吹込んだ、舞踊家として又歌手として同嬢の出現は吾藝術界の偉才だ

電機學校の制度と設備

東京、神田、錦町所在の財團法人電機學校は創立二十五周年記念として水力發電實驗室を新設して陣容を完備し、目下晝、夜間電氣科及び夜間機械科生徒の募集中である、同校は既に二萬四千七百九十一名の卒業者と遞信省電氣事業主任技術者試驗合格者四千一百二十七名を有してゐる、同校の特長は現代に適應した學制の下に短期間に有爲の電氣及び機械技術者を作り上げた事を以て專一として居る、なほ同校には校外生の制度があり高等及び初等電氣講義錄の二種を發行してゐる、詳細は同校に規則書を申込まれよ

幼年倶樂部(三月號)

◇卷頭の特別ページ「漫畫のお國」記事讀物にも嚴選主義が充分に徹底し、附錄の「子供繪芝居」は一寸紙芝居に似せたもので、子供達の關心を覗つたもの、いつもながら、この雜誌編輯者の手に入つた編輯ぶり、子供達に親切で行届いた注意ぶりに非常に快よいものを感じさせる

現代(三月號)

◇滿鐵、安田、明糖、三菱、日本麥酒、報知、三井、內務省の新採用方針を述べ「社會各界採訪記」は結婚媒介所を探る、丸ビルの解剖、國際遊步場ダンスホールなど特種があり、新歸朝鶴見祐輔氏の「風雲兒ヒツトラーの聲を聽く」や「太平洋をめぐる列國の魂膽」「帝國陸海軍明日の巨星」「張學良」「非常時帝都を護る警視廳の陣容」等ガツチリした所を見せてゐる

雄辯(三月號)

◇「世界の旅より歸りて祖國日本の將來を想ふ」鶴見祐輔「生存上に於ける三つの闘ひ」永井柳太郎「二つの特輯「人氣者、人氣者を語る」「世相を映す名裁判珍裁判物語」等「滿洲に跳梁する匪賊馬賊の群」「政黨の萎縮と今期議會の形相」「次々に起る小問題大問題」「フイリツピン獨立案の正體」等々は時節柄名記事「就職戰線探訪記」「初對面に於ける話方」(座談會)「式辭挨拶卓上演說例」「全國青年雄辯大會」があり「雄辯研究室」は例によつて安藤季雄氏の親切な解答が光つてゐる

正義の盾に勇み立つ皇軍の威武堂々

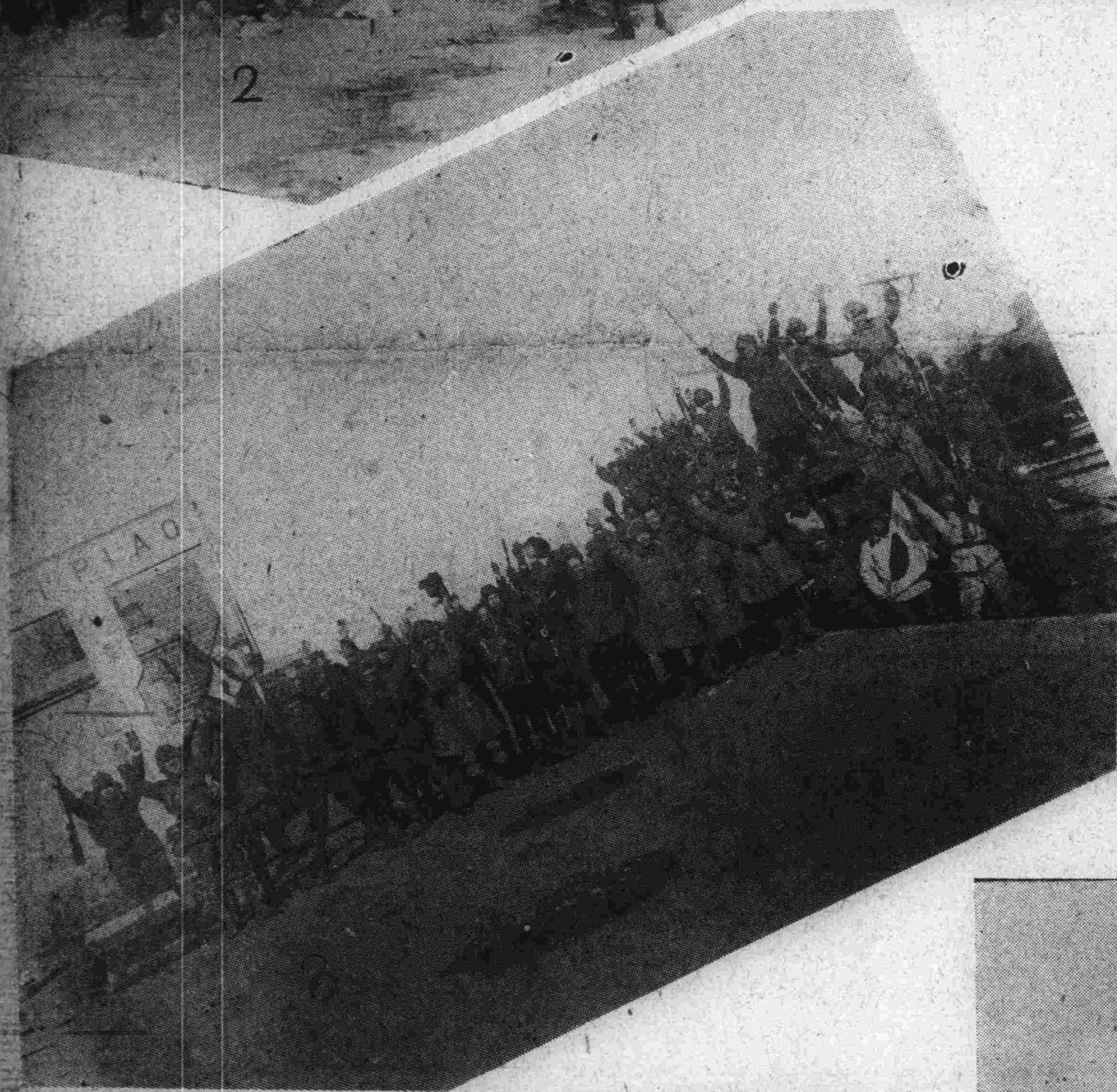
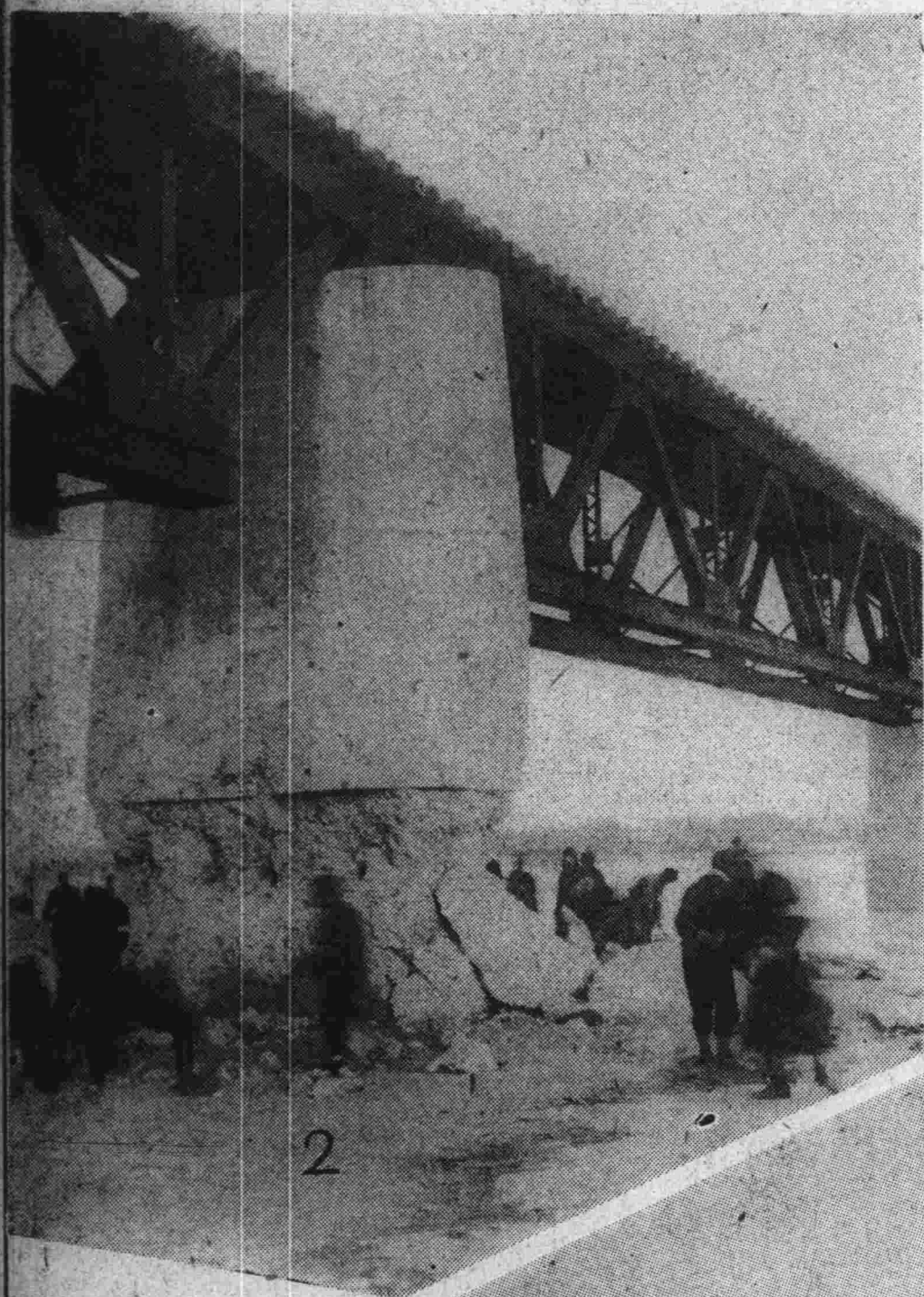
＝満洲國熱河省の反満軍討伐グラフ＝

號外

本號外は本紙に再錄致しません

發行人　鈴木　昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　滿洲日報社

寫眞說明

（1）朝陽城外に立てる第〇團長（2）敵匪に橋脚を破壊された大凌河鐵橋（3）北票驛に一番乘りのわが富田部隊（4）前進また前進の鐵道修理車（5）出動前における第〇團長の幕僚に對する悲痛なる訓示（錦州にて）（6）わが軍の手に奪還したる北票市街

寫眞の說明

1難なく奪還したる南嶺驛、2、3南嶺附近におけるわが鐵道部隊の破壞された鐵道の修理、4北票驛におけるわが鐵道隊、5北票に向つて前進を敢行するわが裝甲列車、6固く氷結した大凌河にかゝる大鐵橋の遠望